

平成 22 年度
「食育」に関する
市民アンケート調査
報告書

平成 22 年 11 月

松 戸 市

目 次

第 1 章. 調査の概要	1
第 2 章. 調査結果の分析	9
第 1 節 食育に関する意識	11
第 2 節 食品の安全性への意識	24
第 3 節 健康に関する意識	30
第 4 節 歯科の健康に関する意識	34
第 5 節 環境問題への意識	46
第 6 節 生活について	51
第 7 節 子供の食育に関する意識	59
第 8 節 農産物の購買行動	88
第 3 章. 質問と回答（単純集計結果）	95
付録. 調査票	121

第1章. 調査の概要

1. 調査の目的

松戸市では平成 20 年 3 月に松戸市食育推進計画を策定し、「命の大切さと郷土のすばらしさを知り、生涯を通じて健やかに生きる」ことができるよう食育を推進している。本調査にて、市民の食に関する意識や実態を知ることにより、計画の進行状況を把握し、今後の食育推進施策の基礎資料とすることを目的とした。

2. 調査の方法

- (1) 調査地域……市内全域
- (2) 調査対象……市内在住の 20 歳以上の市民 3,000 人
- (3) 抽出方法……住民基本台帳より無作為抽出
- (4) 調査方法……郵送による配布、回収
- (5) 調査期間……平成 22 年 8 月 28 日～9 月 10 日

3. 調査項目

項目	内 容
食育に関する意識	食育の言葉の認知、関心度、ボランティア活動、バランスの取れた食事の意識、伝統的行事の実施、冷凍食品の利用状況
食品の安全性への意識	食品購入時の意識、産地チェック、食材購入場所、安全性の基礎知識、子供の食育の場
健康に関する意識	メタボリックシンドロームの言葉の認知、定期的な運動の有無
歯科の健康に関する意識	現在の歯の本数、入れ歯の有無、口腔内の健康状態、歯科治療の状況、食事の満足度、噛みにくい食品
環境問題への意識	ゴミ排出量、買い物袋の持参、生ごみ処理容器の使用の有無
生活について	家を出る時刻と帰宅時刻、地域活動への参加、農作業体験、市に期待する施策
子供の食育に関する意識	食事内容、食生活、子供部屋の有無、子供の基本属性、規制、就寝時刻と起床時刻、家事への参加状況、外食の頻度、サプリメントの摂取、学校給食の食材への意見、食育の重要性
農産物の購買行動	(仮想的に) 長ネギの購入意欲、安全性の考え方
基本属性	性別、年齢、松戸市居住年数、居住地域、職業、家族構成

4. 回収結果

- (1) 調査票送付数 3,000 人
- (2) 回収数 948 人
- (3) 回収率 31.6%

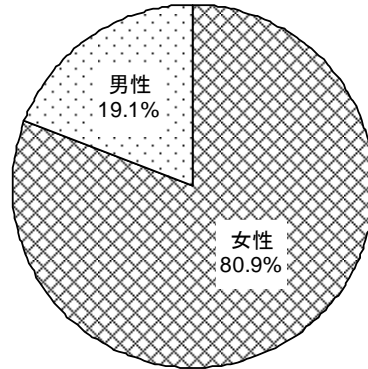
5. 集計にあたって

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%ちょうどにならず、1%の範囲で増減することがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) n (Number of Cases の略) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示す。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化している。
- (5) クロス結果の帯グラフや表について、設問に対する「無回答」がある場合にはこれを表示しないため、基数nは設問により異なる。また、性別の合計件数・年齢別の合計件数は「無回答」を表示していないため、全体の件数と一致しないことがある。
- (6) 性別・年齢別の表について、設問の各選択肢における年代間の最大回答数を網掛け、各年代の最大回答数を斜体太字にて示している。
- (7) 集計は、①単純集計、②回答者の属性とのクロス結果、③設問間のクロス集計の3種類を行なった。
- (8) 前回の調査結果(平成19年実施、回答率42.1%)と比較することで、市民の食育への関心や傾向を検討している。また、国の調査(内閣府が平成22年3月実施した「食育の現状と意識に関する調査」、回答率58.7%)と設問項目が一致するものに関しては、国の調査結果と比較検討している。

6. 回答者の基本属性

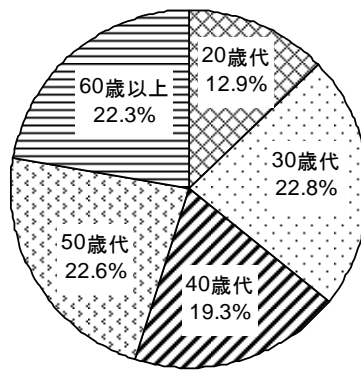
【性別】 (n=947)

性別は、「普段食材購入者・料理担当者」に調査票記入をお願いしたためか、女性が8割と大半を占めている。



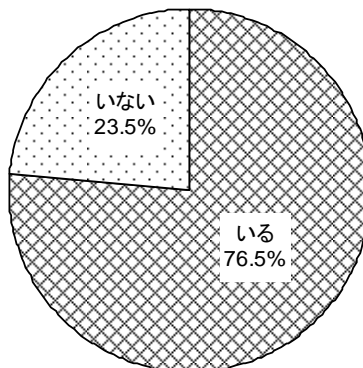
【年齢】 (n=946)

年齢は、20歳代で12.9%と割合が低いものの、30歳代から60歳以上までほぼ2割を占めており、世代間での極端な偏りはみられない。



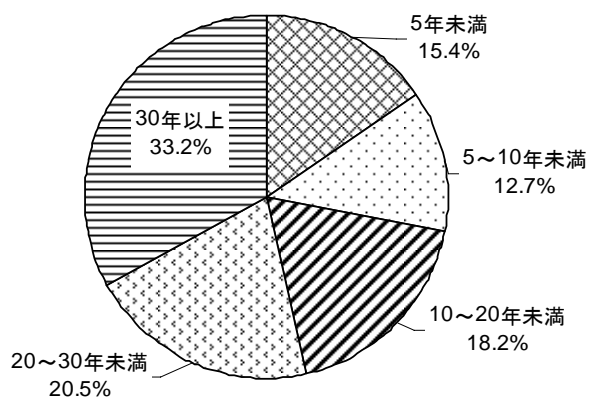
【配偶者の有無】 (n=944)

配偶者の有無は、4分の3が配偶者を有している。



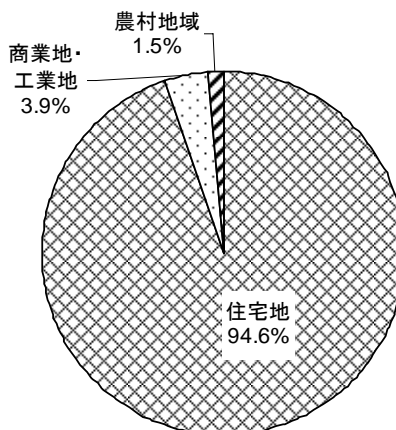
【居住年数】 (n=946)

居住年数は、5年未満が15.4%、5～20年未満が30.9%、20年以上が53.7%となっている。



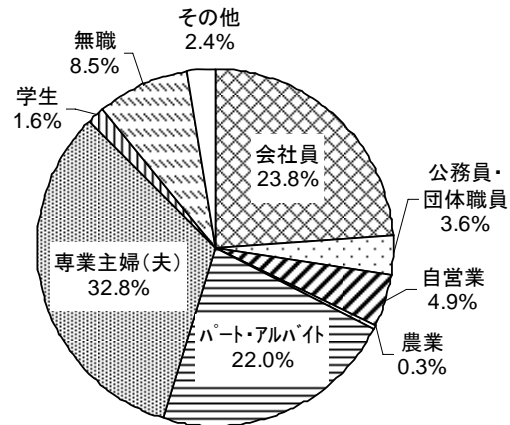
【居住地域】 (n=944)

居住地域は、住宅地が大半を占めている。



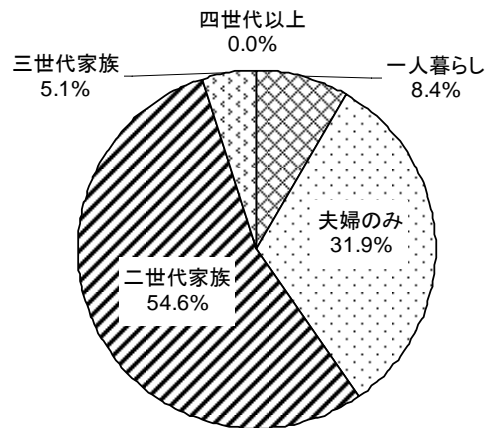
【職業】 (n=944)

職業は、専業主婦(夫)が32.8%で最も多く、次いで会社員が23.8%、パート・アルバイトが22.0%となっている。



【同居世代】 (n=925)

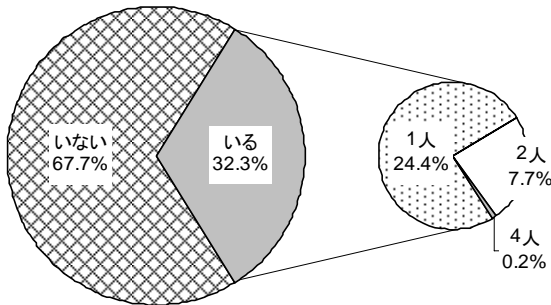
同居世代は、二世世代家族が5割半ばを占めている。次いで夫婦のみが31.9%、一人暮らしが8.4%の順で、三世世代家族以上は5%程度と少ない。



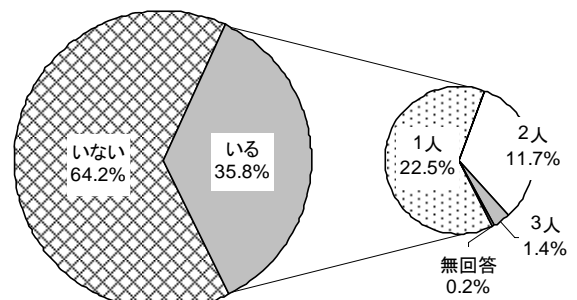
【同居家族の年齢別人数】

同居家族の年齢別人数は、回答者ベースで、20～64歳の同居家族がいる世帯が最も多く9割を占めている。これは同居世代の「夫婦のみ」「二世世代家族」「三世世代家族」の合計値にほぼ等しくなっている。また、65歳以上の同居家族がいる世帯は約5割となっている。

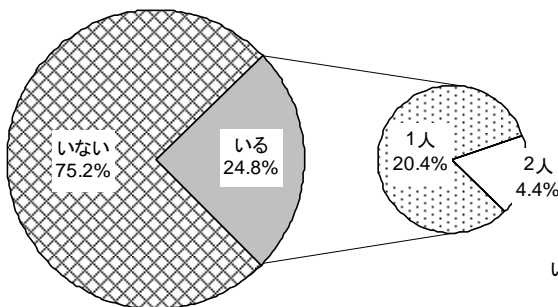
0～5歳 (n=439)



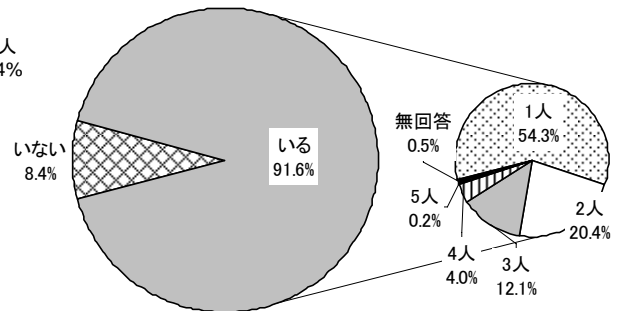
6～14歳 (n=436)



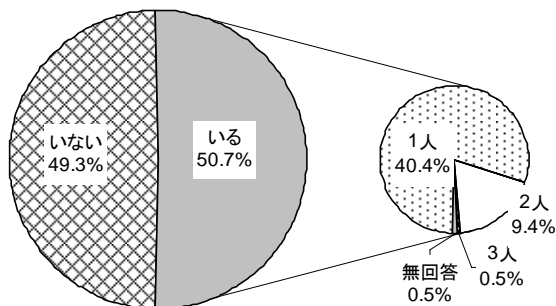
15～19歳 (n=387)



20～64歳 (n=808)



65歳以上 (n=438)



第2章. 調査結果の分析

第1節 食育に関する意識

1-1 言葉の認知

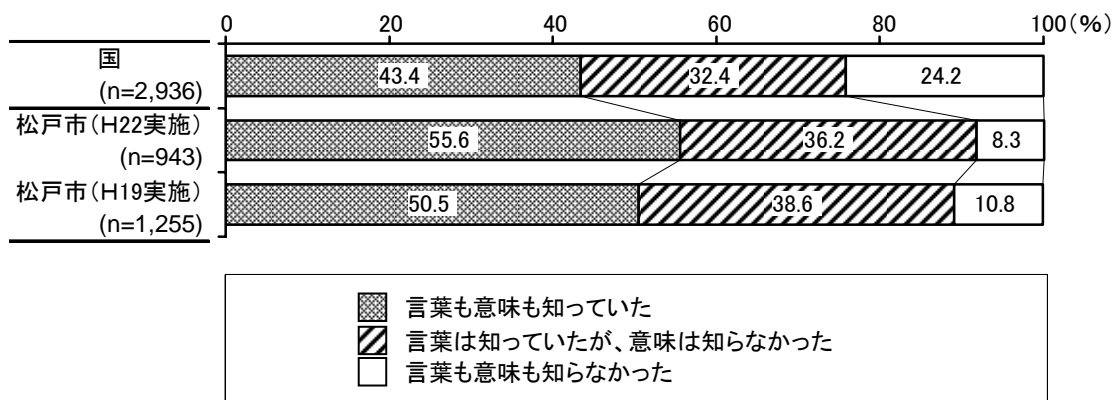
◎ 言葉自体の認知度は約9割。

問1 あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていましたか？(1つに○)

食育という言葉や意味の認知度を聞いたところ、「言葉も意味も知っていた」が5割半ばを占めている。「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」を合わせた言葉自体の認知度は91.8%で高いといえる。また、国との比較では、「言葉も意味も知っていた」は12.2ポイント認知度が高くなっている。

前回調査との推移をみると、「言葉も意味も知っていた」は5.1ポイント増加している。

図 1-1-1

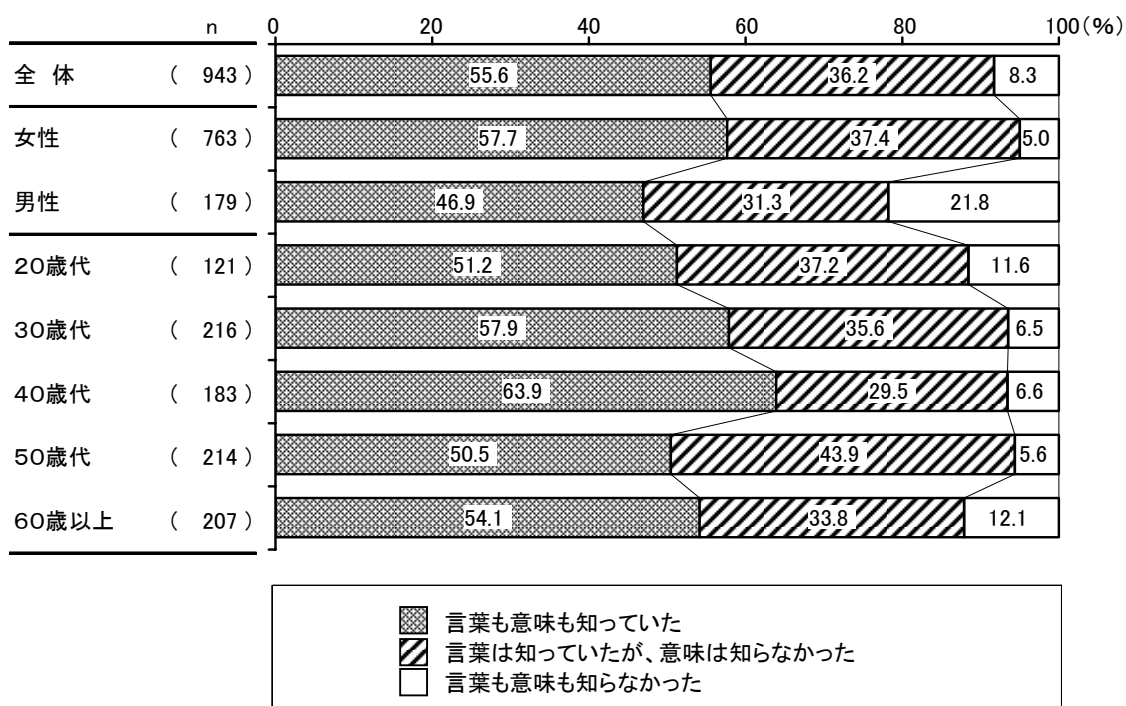


性別では、女性は「言葉も意味も知らなかった」が5.0%であるのに対して、男性は21.8%であったことから、男女間での認知レベルに差があるとみられる。

年齢別では、30歳代と40歳代の食育の言葉の認知度は他の世代と比較して高くなっている。また、50歳代では「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が他の世代より高くなっている。

男性への食育の普及が今後の課題であると思われる。

図 1-1-2 性別・年齢別



1-2 食育への関心

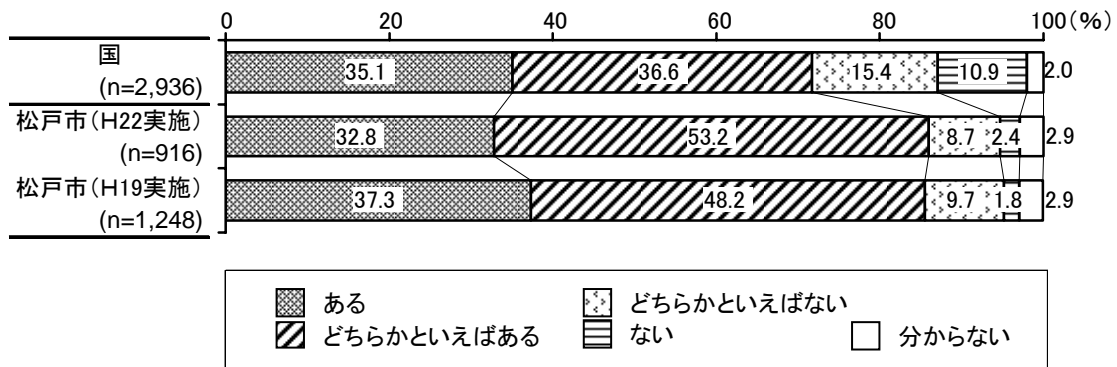
◎ 食育への関心度は8割半ば。理由は「心身の健全な発育」のため。

問2 あなたは「食育」に関心がありますか？(1つに○)

食育への関心を聞いたところ、「どちらかといえばある」が53.2%と半数を超えている。「ある」を合わせた関心度は86.0%であるため、食育への関心度は高いといえる。また、国との比較では、関心度（「ある」+「どちらかといえばある」）は14.3ポイント高くなっている。

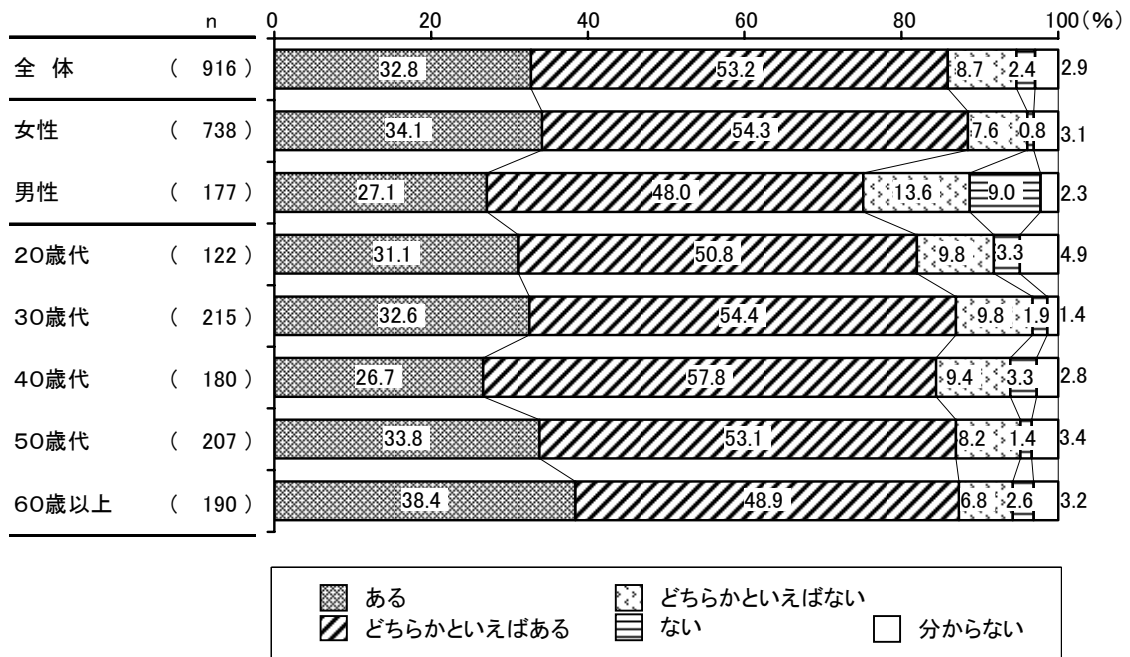
前回調査との推移をみると、関心度（「ある」+「どちらかといえばある」）は85.5%で横ばいとなっている。

図 1-2-1



性別では、女性は男性よりも関心度は13.3ポイント高くなっている。
 年齢別では、40歳代の関心が「ある」は他の年代と比較して若干低くなっているものの、全世代を通じて関心度に大きな変化はみられない。

図 1-2-2 性別・年齢別

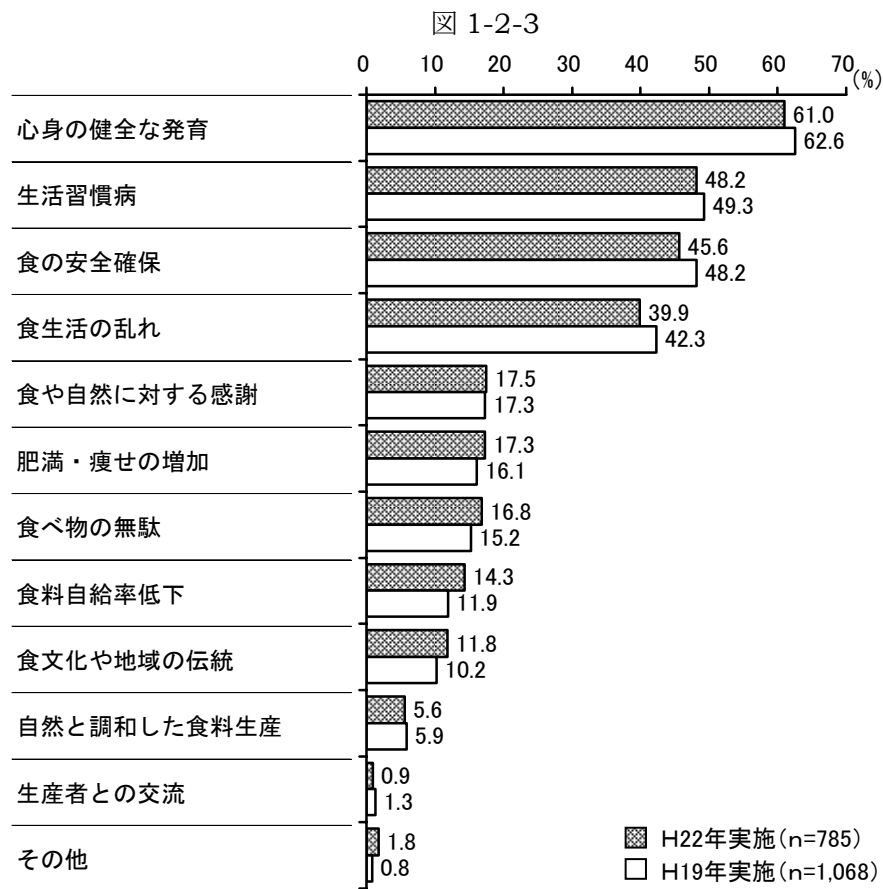


【問2で「ある」、「どちらかといえばある」と答えた方に対して】

問3 食育に関心がある理由は何ですか？(3つまで○)

食育に関心がある理由を聞いたところ、「心身の健全な発育」が61.0%で最も多くなっている。次いで、「生活習慣病」が48.2%、「食の安全確保」が45.6%、「食生活の乱れ」が39.9%の順となっている。健康面に関する関心が高いのに対して、食べ物の無駄や自給率、食文化や地域の伝統などに関する関心は低くなっている。

前回調査との推移をみても大きな差はみられない。



性別では、女性は男性よりも「心身の健全な発育」が 16.3 ポイント、「食生活の乱れ」が 7.4 ポイント、「生活習慣病」が 4.6 ポイント高く、男性は女性よりも「食料自給率低下」が 9.1 ポイント、「肥満・痩せの増加」が 5.4 ポイント、「食べ物の無駄」が 4.3 ポイント高くなっている。女性は健康面に関して関心が高いのに対して、男性は食料自給率や無駄に関する関心が高くなっている。

年齢別では、「食生活の乱れ」は 50 歳代と 20 歳代で、「生活習慣病」は 60 歳以上と 40 歳代で、「食の安全確保」は 50 歳代と 60 歳以上で、「食や自然に対する感謝」は 30 歳代で関心が高くなっている。

図 1-2-4 性別・年齢別

	全体 (人)	心身の健全な発育	食生活の乱れ	肥満・痩せの増加	生活習慣病	食の安全確保	食文化や地域の伝統	食料自給率低下	生産者との交流	生産者と調和した食料	食べ物の無駄	食や自然に対する感謝	その他
全体	785	61.0	39.9	17.3	48.2	45.6	11.8	14.3	0.9	5.6	16.8	17.5	1.8
女性	651	63.7	41.2	16.4	49.0	45.3	11.7	12.7	0.8	5.5	16.0	17.4	1.4
男性	133	47.4	33.8	21.8	44.4	46.6	12.8	21.8	1.5	6.0	20.3	18.0	3.8
20歳代	100	56.0	44.0	28.0	41.0	33.0	16.0	14.0	1.0	1.0	20.0	16.0	5.0
30歳代	187	65.8	39.0	19.8	40.1	35.3	15.5	11.8	1.6	5.9	17.6	26.7	1.1
40歳代	152	66.4	40.8	13.2	53.9	37.5	13.8	9.9	0.7	5.9	13.8	17.8	2.6
50歳代	179	53.1	45.3	18.4	49.2	52.0	8.4	20.7	-	3.4	20.1	11.2	1.1
60歳以上	165	61.8	32.1	10.9	55.8	65.5	7.3	14.5	1.2	10.3	12.7	14.5	0.6

1-3 ボランティア参加

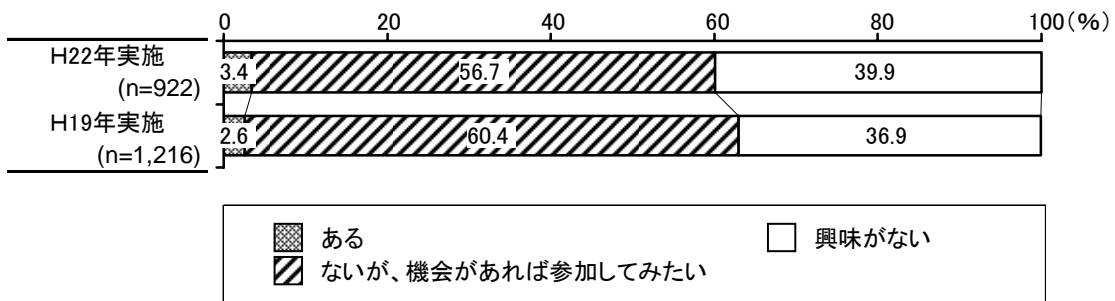
◎ 「機会があれば参加してみたい」は5割半ば。

問4 食育に関するボランティアに参加したことがありますか？(1つに○)

食育に関するボランティアへの参加経験を聞いたところ、「(参加したことは) ないが、機会があれば参加してみたい」が 56.7%と最も多く、参加経験が「ある」はわずかに 3.4%となっている。

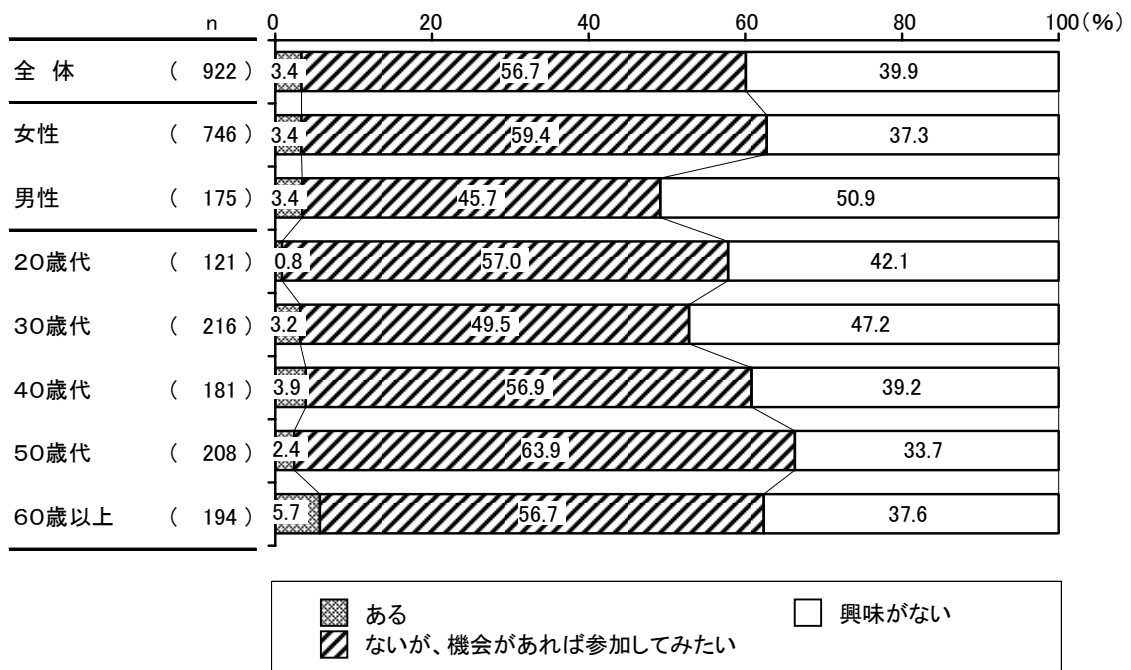
前回調査との推移をみると、「(参加したことは) ないが、機会があれば参加してみたい」が 3.7ポイント減少し、「興味がない」が 3.0ポイント増加している。

図 1-3-1



性別では、男性の半数がボランティアに「興味がない」を示している。

図 1-3-2 性別・年齢別

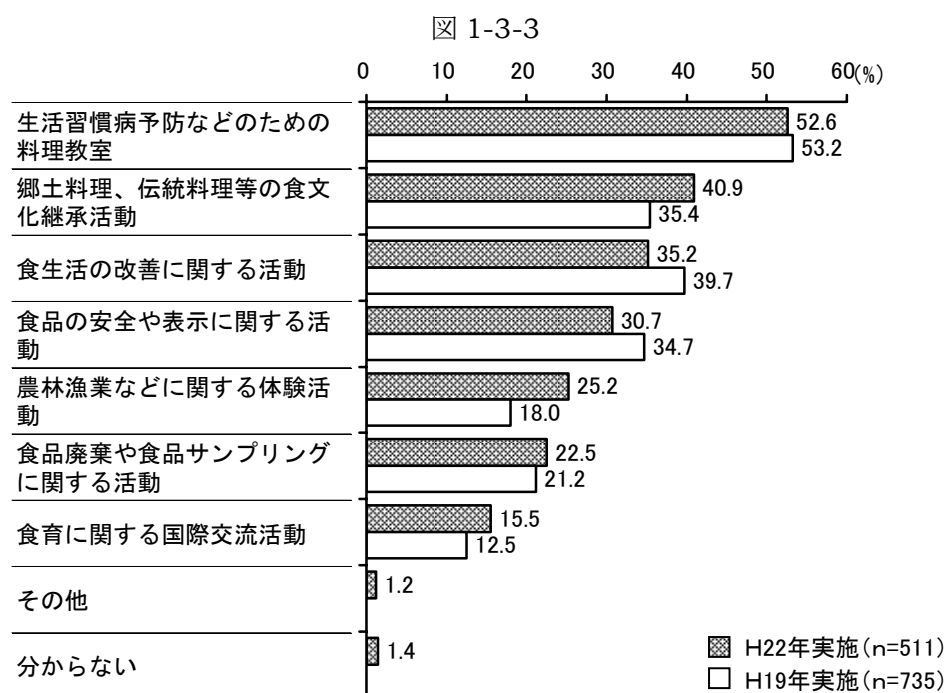


【問4で「ないが、機会があれば参加してみたい」と答えた方に対して】

問5 どのような活動に参加してみたいですか？(3つまで○)

参加してみたい活動について聞いたところ、「生活習慣病予防などのための料理教室」が52.6%で最も多くなっている。次いで、「郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動」が40.9%、「食生活の改善に関する活動」が35.2%の順となっている。料理や食事に関連する活動への参加意欲がみられる。

前回調査との推移をみると、「農林漁業などに対する体験活動」は7.2ポイント、「郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動」は5.5ポイント増加している。一方、「食生活の改善に関する活動」は4.5ポイント、「食品の安全や表示に関する活動」は4.0ポイント減少している。



性別では、女性は男性よりも「郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動」が 5.3 ポイント高く、男性は女性よりも「農林漁業などに関する体験活動」が 16.2 ポイント、「食品廃棄や食品リサイクルに関する活動」が 13.3 ポイント高くなっている。女性は料理教室や料理の継承に興味が高いのに対して、男性は農林漁業の体験活動や食品廃棄・リサイクル活動など身体を動かす体験的な活動に興味を示している。

年齢別では、60 歳以上の「食品の安全性や表示に関する活動」が他の年代と比較して 5 割後半と最も多く、安全性を追求する活動に高い興味を示している。

図 1-3-4 性別・年齢別

	全体 (人)	郷土料理、 伝統料理	農林漁業 などに関する 体験活動	食生活の 改善に 関する活動	生活習慣 の予防に 関する活動	食品廃棄 や食品リ サイクル	食品の 安全性や 表示に 関する活動	食育に 関する 国際 交流活動	その他	(%) 分からない
全体	511	40.9	25.2	35.2	52.6	22.5	30.7	15.5	1.2	1.4
女性	434	41.7	22.8	34.8	53.5	20.5	30.9	15.0	0.9	1.2
男性	77	36.4	39.0	37.7	48.1	33.8	29.9	18.2	2.6	2.6
20歳代	66	51.5	36.4	34.8	53.0	18.2	19.7	19.7	1.5	1.5
30歳代	107	42.1	38.3	29.0	40.2	29.0	11.2	22.4	1.9	2.8
40歳代	101	47.5	29.7	23.8	46.5	15.8	26.7	19.8	1.0	1.0
50歳代	132	36.4	12.9	41.7	61.4	25.8	34.1	12.9	-	1.5
60歳以上	105	32.4	16.2	44.8	60.0	21.0	57.1	4.8	1.9	-

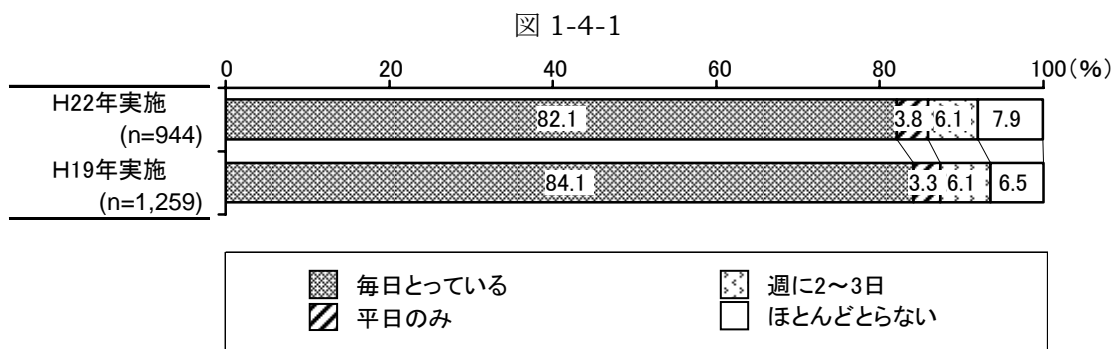
1-4 朝食の頻度

◎ 「毎日とっている」は8割。

問6. あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか。(1つに○)

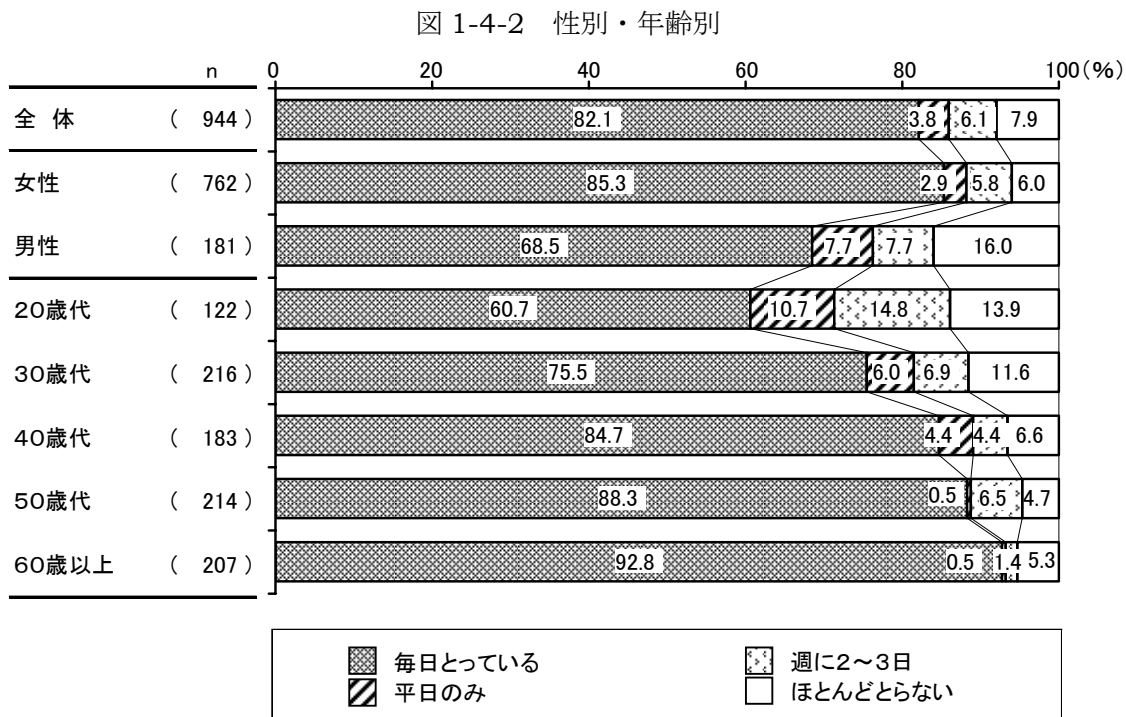
朝食を摂取する頻度を聞いたところ、「毎日とっている」が82.1%で最も多くなっている。

前回調査との推移をみると、「毎日とっている」が2.0ポイント減少しているが、あまり変化はみられない。



性別では、男性は「ほとんどとらない」が16.0%となっている。

年齢別では、20歳代は「毎日とっている」が6割と最も少なく、年齢とともに増加傾向にある。男性と20歳代は朝食摂取率が低い。



1-5 食事バランスガイド

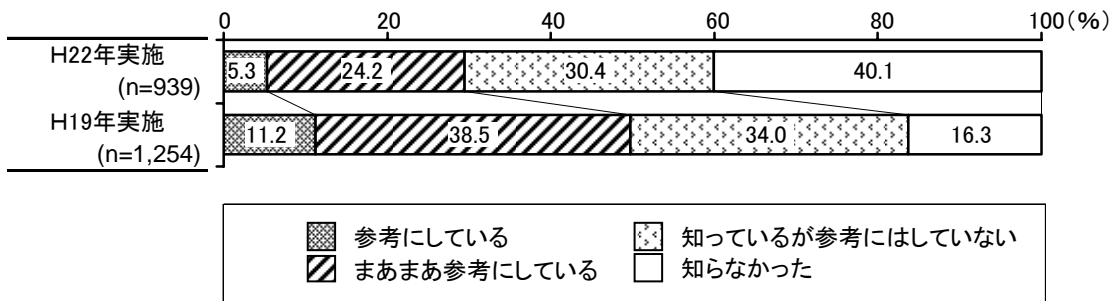
◎ 参考にしている割合は3割。知らなかったが4割

問7. 食事バランスガイドを参考に食生活を送っていますか。(1つに○)

食事バランスガイドの活用の有無を聞いたところ、「知っているが参考にはしていない」が30.4%で、「参考にしている」と「まあまあ参考にしている」を合わせた参考頻度は29.5%となっている。また、4割がバランスガイドを知らなかった。

前回調査との推移をみると、参考頻度が20.2ポイント減少している。

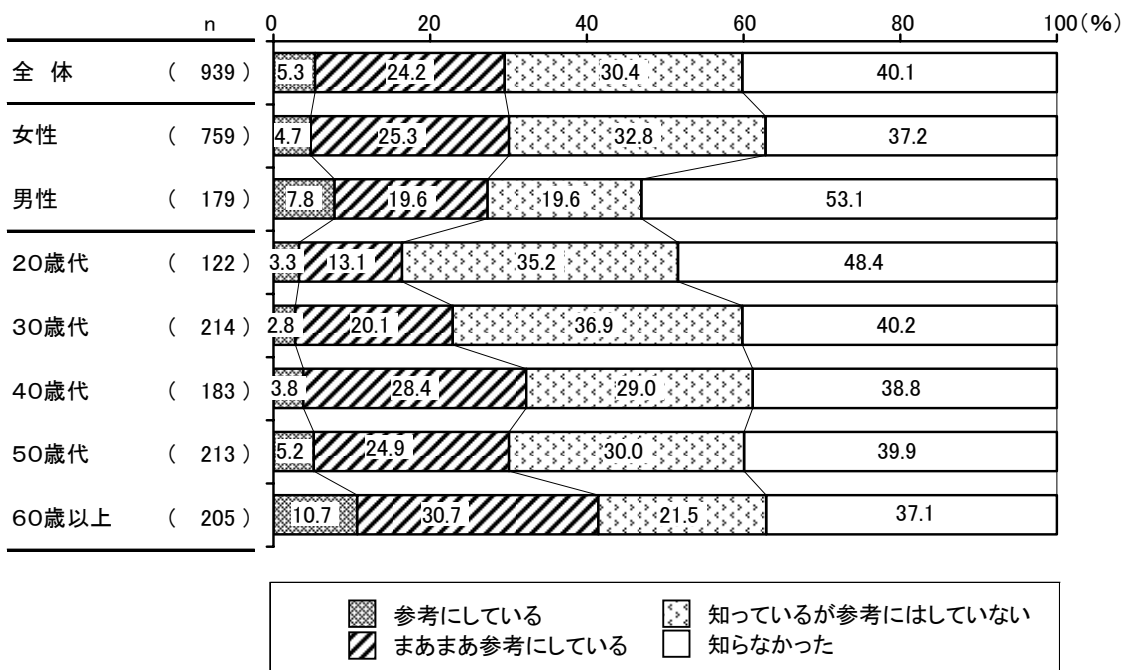
図 1-5-1



性別では、男性の半数以上にバランスガイドが認知されていなかった。

年齢別では、20歳代の参考頻度が16.4%で最も少なく、年齢とともに概ね増加傾向となっている。

図 1-5-2 性別・年齢別



1-6 行事食

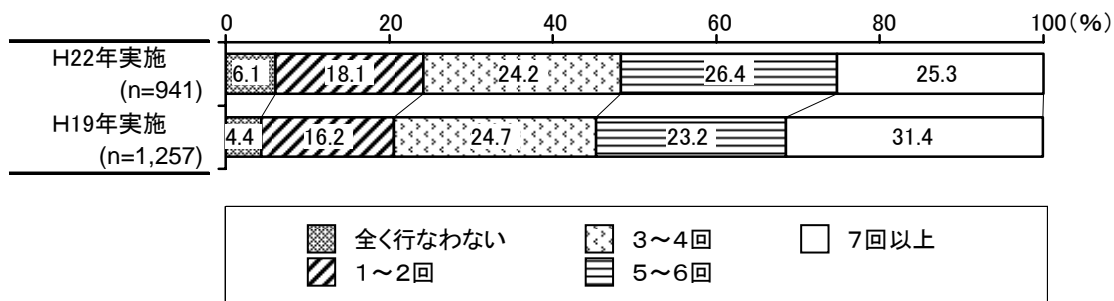
◎ 行事食の実施頻度は5回以上が約5割。

問8. ご自宅で行事食を伴う伝統的な行事を年にどの程度行なっていますか。
(1つに○)

自宅で行なう伝統的な行事食の頻度を聞いたところ、「5～6回」が26.4%と多く、次いで、「7回以上」の25.3%、「3～4回」の24.2%となっている。

前回調査との推移をみると、行事食を行なう頻度が減少しているといえる。

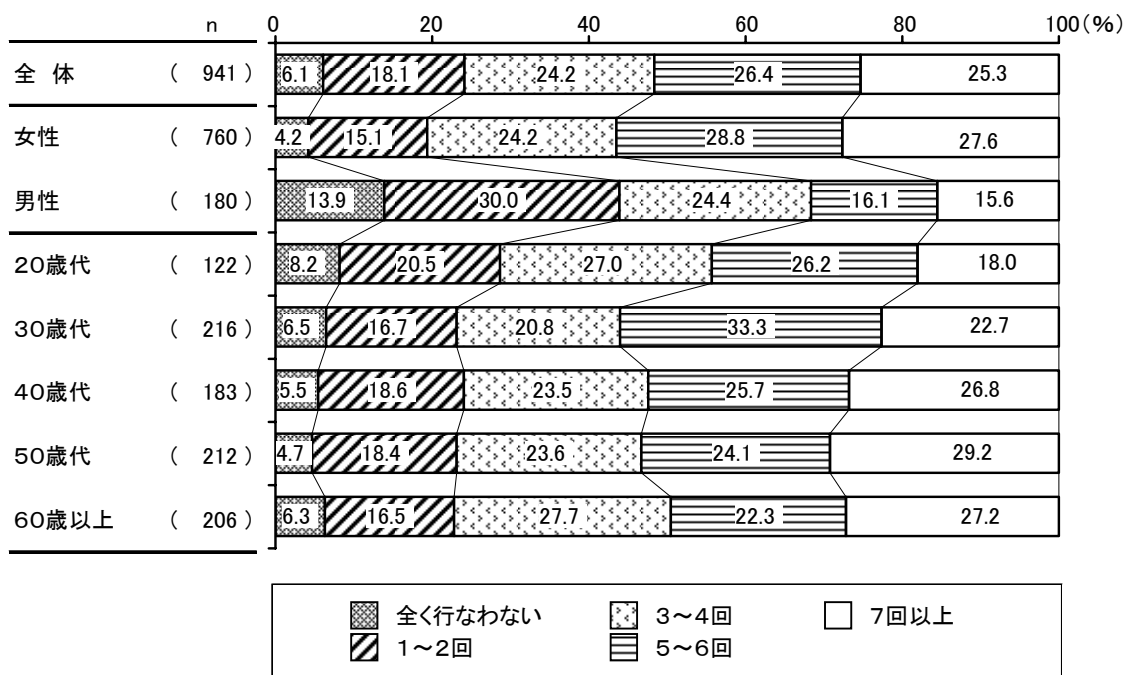
図 1-6-1



性別では、女性は男性よりも行事食の実施頻度は高くなっている。

年齢別では、20歳代は行事食の実施頻度が少ない。

図 1-6-2 性別・年齢別



1-7 冷凍食品の利用頻度

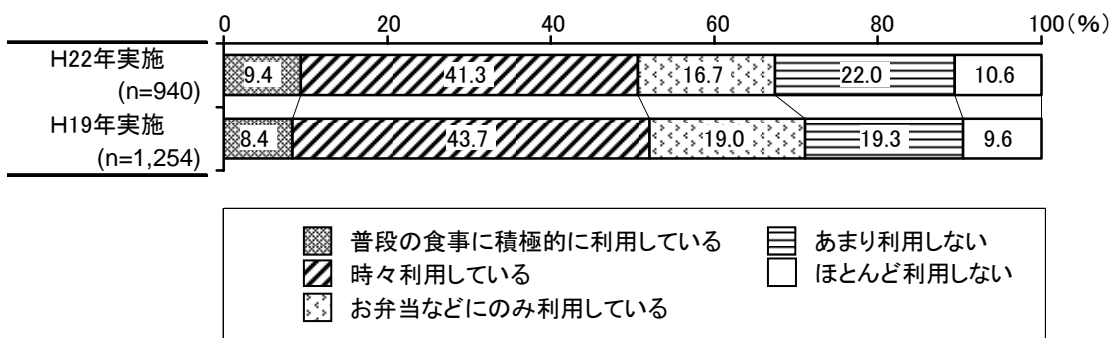
◎ 冷凍食品の利用率は6割後半。

問9. 冷凍食品の利用状況についてお聞かせください。(1つに○)

冷凍食品の利用について聞いたところ、「時々利用している」が41.3%で最も多く、「普段の食事に積極的に利用している」と「お弁当などにのみ利用している」を合わせた利用率は67.4%となっている。

前回調査との推移をみると、利用頻度は3.7ポイント減少している。

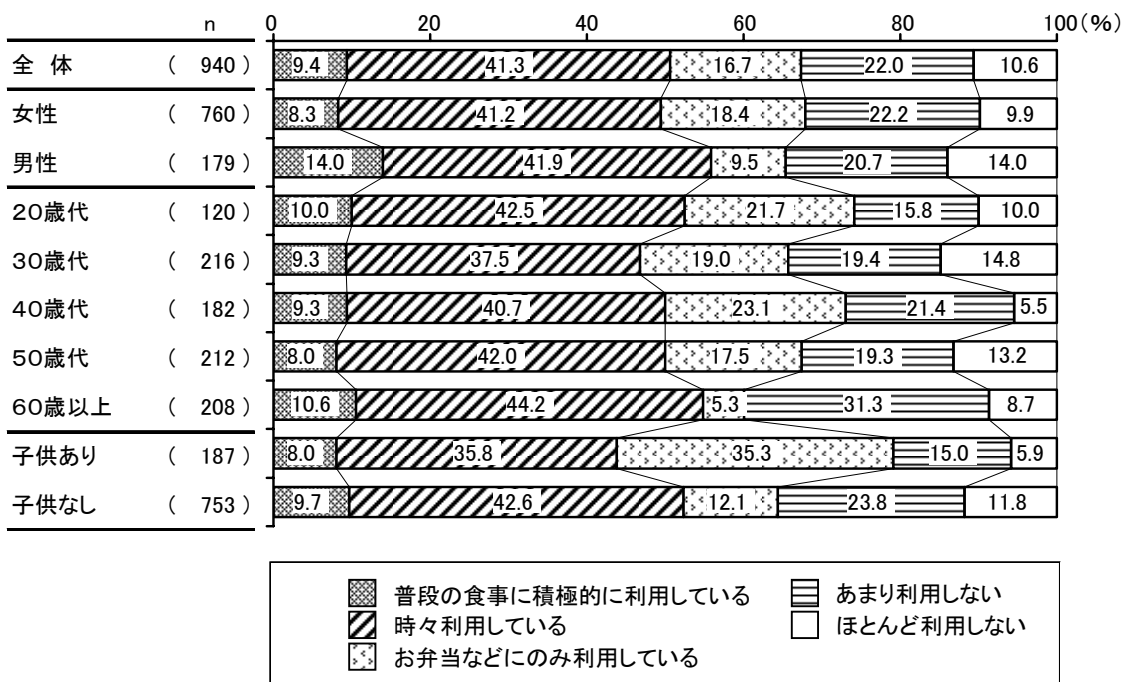
図 1-7-1



性別では、男性は女性よりも「普段の食事に積極的に利用している」が3.7ポイント高くなっている。

子供の有無別では、子供のいる家庭は冷凍食品のお弁当利用率が、子供のいない家庭よりも23.2ポイント高くなっている

図 1-7-2 性別・年齢別・子供の有無別



第2節 食品の安全性への意識

2-1 食品購入時の注意点

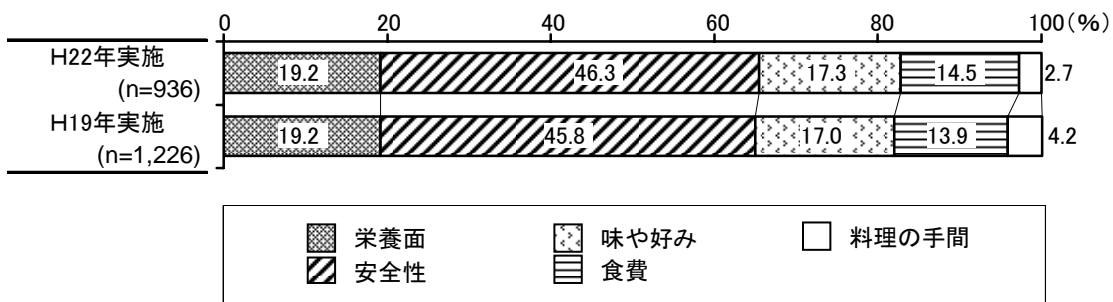
◎ 「安全性」が4割半ば。

問10. 食品を購入するときに、もっとも気をつけていることは何ですか。
(1つに○)

食品購入時の注意点を聞いたところ、「安全性」が46.3%と最も多くなっている。次いで、「栄養面」が19.2%、「味や好み」が17.3%の順となっている。

前回調査との推移をみると、大きな変化はみられず、安全性を重視する傾向は変わらないといえる。

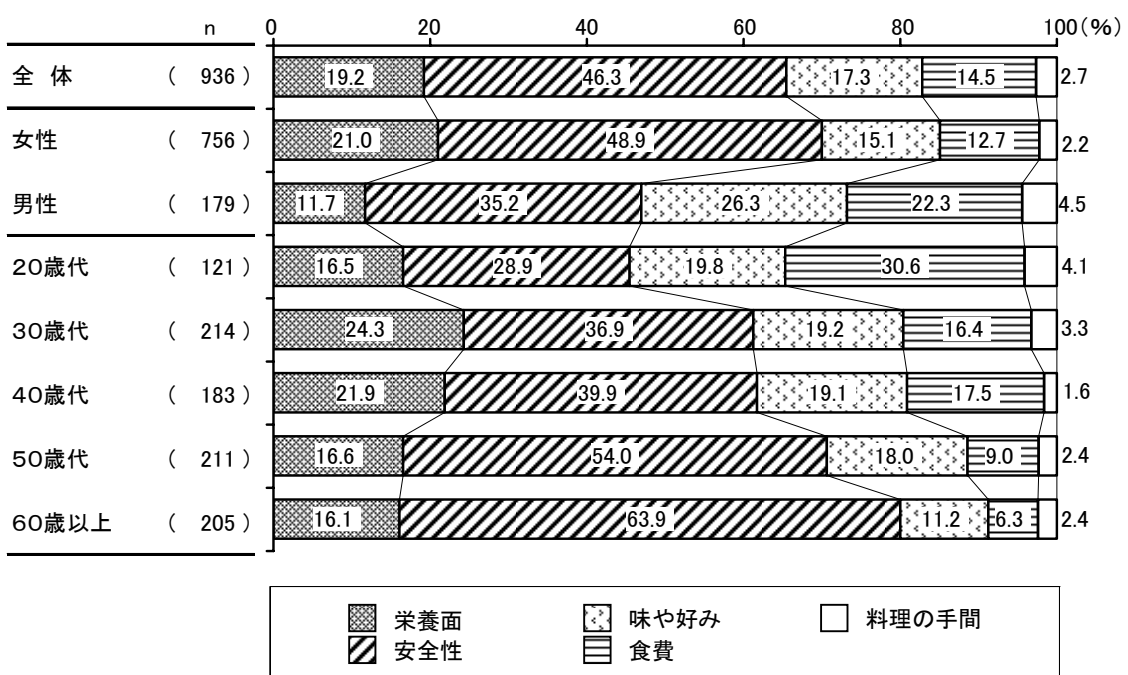
図 2-1-1



性別では、女性は「安全性」を重視する傾向がみられる。

年齢別では、20歳代は「食費」を重視しているが、年齢とともに「安全性」が増加傾向となっている。

図 2-1-2 性別・年齢別



2-2 産地チェックの有無

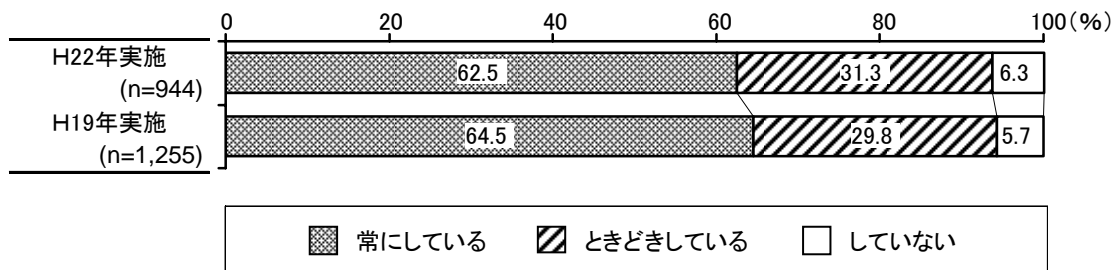
◎ 産地チェックを「常にしている」が6割前半。

問11. 野菜や肉などの生鮮食品の購入時に産地はチェックしていますか。
(1つに○)

食品購入時の産地チェックの有無を聞いたところ、「常にしている」が62.5%となっている。安全性への意識が高いとみられる。

前回調査との推移をみると、「常にしている」は2.0ポイント減少したが、ほぼ同じような傾向であるといえる。

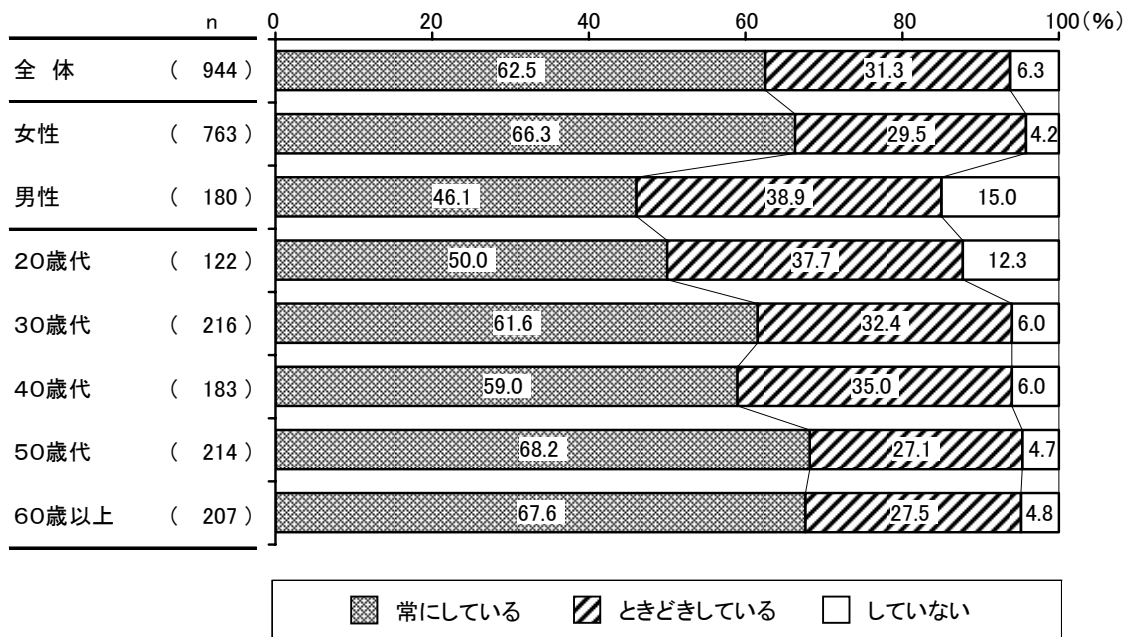
図 2-2-1



性別では、女性の6割以上が常に産地チェックをしている。

年齢別では、50歳代や60歳以上は他の年代と比較して産地チェックをする割合が高くなっている。

図 2-2-2 性別・年齢別



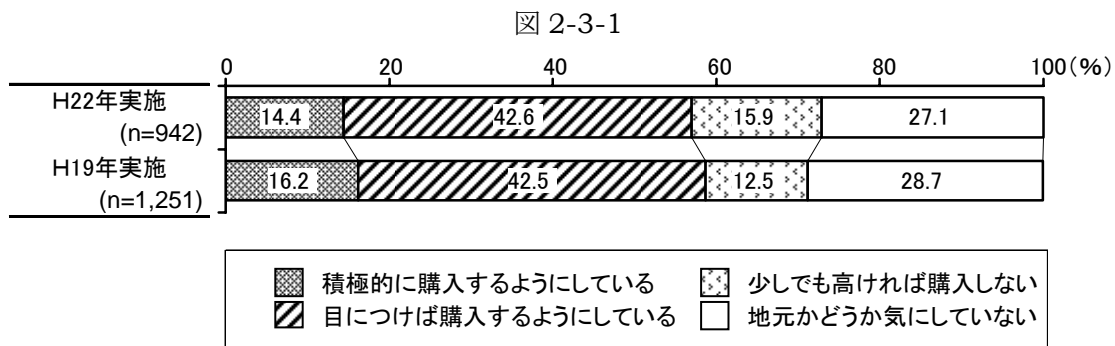
2-3 地元産の食材の購入

◎ 「目につけば購入するようにしている」が4割前半。

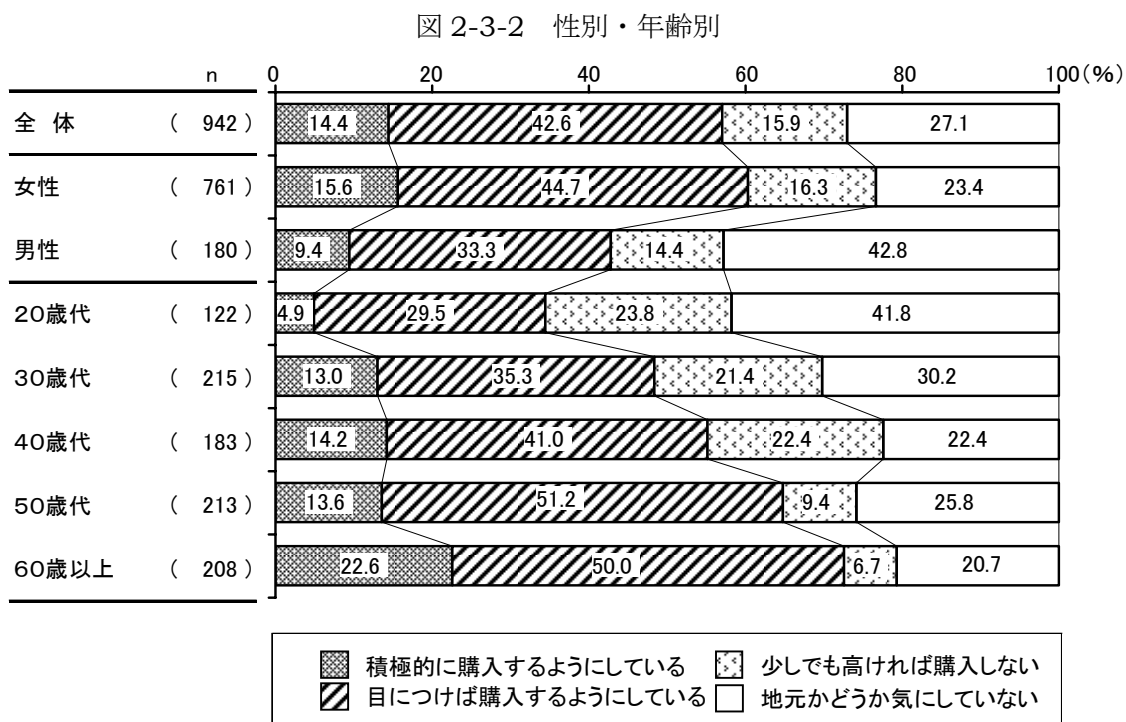
問12. 地元産の食材を購入していますか。(1つに○)

地元産の食材の購入を聞いたところ、「目につけば購入するようにしている」が42.6%と多い一方、「地元かどうか気にしていない」が27.1%と次いで多くなっている。

前回調査との推移をみると、「少しでも高ければ購入しない」が3.4ポイント増加している。



男性や20歳代では、地元産の食材購入にあまり積極的ではないといえる。



2-4 食品安全性の知識

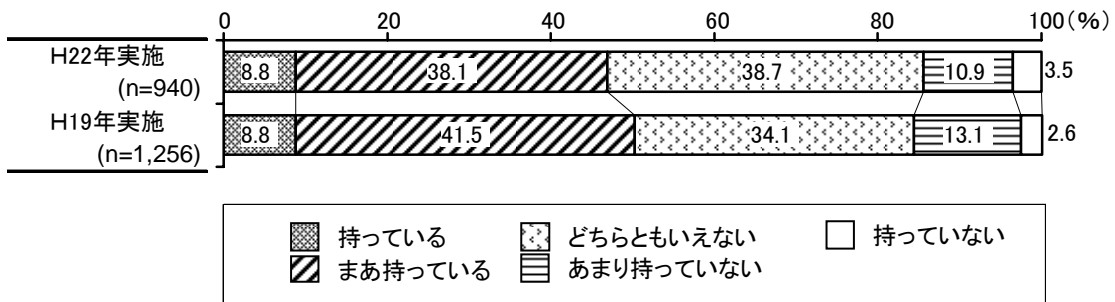
◎ 基礎知識所有者は4割半ばで、前回より減少。

問13. あなたは食品の安全性に関する基礎的な知識を持っていますか。
(1つに○)

食品安全性に関する知識の有無を聞いたところ、「持っている」は1割未満で、「まあ持っている」を合わせた基礎知識所有率は46.9%となっている。

前回調査との推移をみると、基礎知識所有率は3.4ポイント減少している。

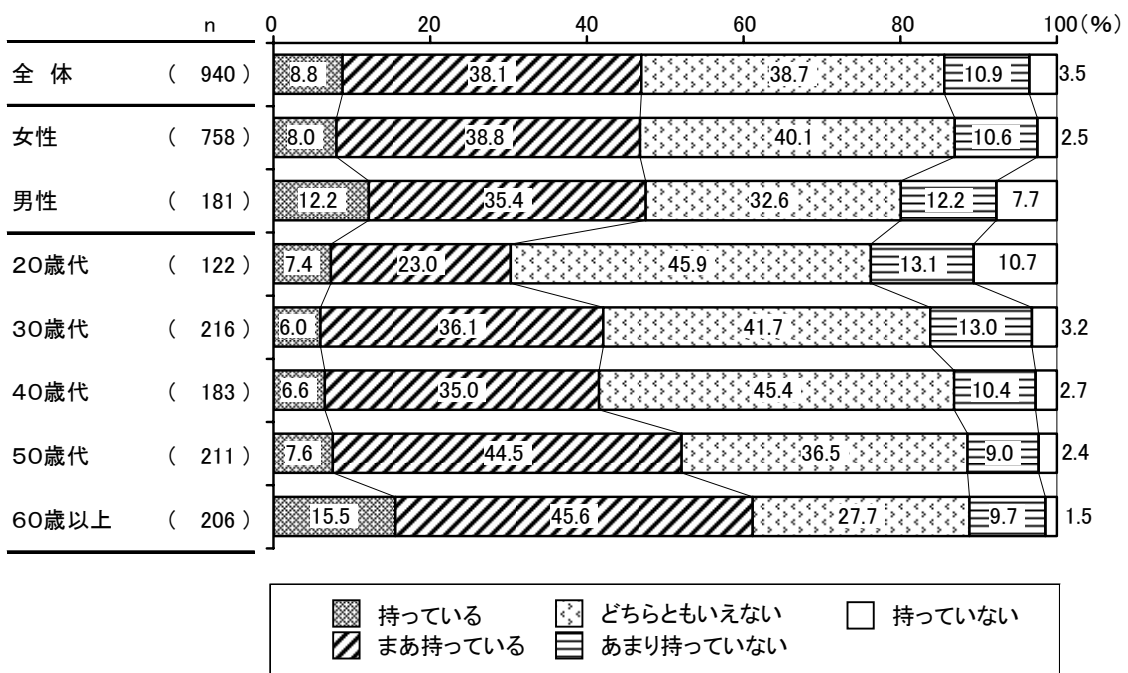
図 2-4-1



性別では、基礎知識所有率に男女差はあまりみられない。

年齢別では、基礎知識所有率は20歳代で3割程度であるが、年齢とともに増加し、60歳以上では約6割を占めている。

図 2-4-2 性別・年齢別



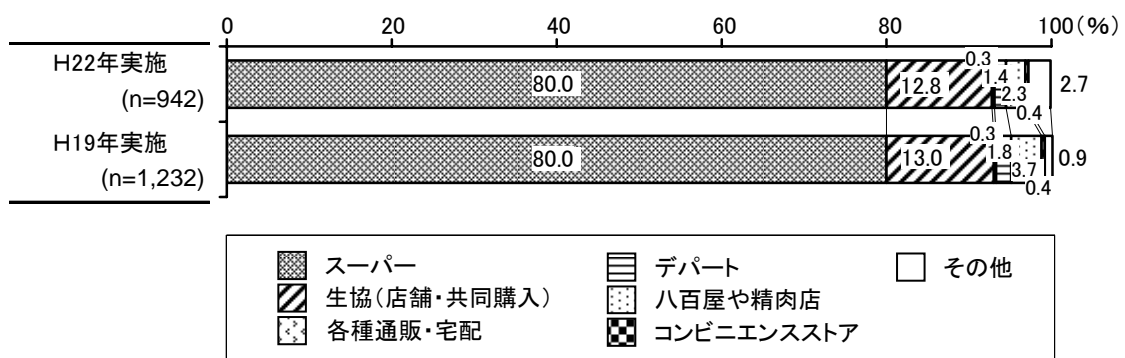
2-5 食品購入場所

◎ 「スーパー」での購入が8割。

問14. 普段、生鮮食品は主にどこで購入していますか。(1つに○)

生鮮食品の購入場所を聞いたところ、「スーパー」が80.0%で最も多くなっている。前回調査との推移をみると、「スーパー」購入の割合は変わらないが、「八百屋や精肉店」がわずかに減少している。

図2-5-1



性別では、男性の「スーパー」購入が女性よりも6.0ポイント高くなっている。年齢別でも「スーパー」購入が8割半ばから7割半ばで最も多い。50歳代は「生協」について他の年代より利用している割合が多い。

図2-5-2 性別・年齢別

	全体 (人)	スーパー (%)	生協(店舗・共同購入) (%)	各種通販・宅配 (%)	デパート (%)	八百屋や精肉店 (%)	コンビニエンス (%)	その他 (%)
全体	942	80.0	12.8	0.3	1.4	2.3	0.4	2.7
女性	762	78.9	14.2	0.4	1.3	2.4	0.1	2.8
男性	179	84.9	7.3	-	1.7	2.2	1.7	2.2
20歳代	122	84.4	9.0	0.8	1.6	-	0.8	3.3
30歳代	214	82.2	11.7	0.5	1.4	1.9	0.5	1.9
40歳代	183	81.4	12.6	-	1.1	3.3	0.5	1.1
50歳代	214	76.2	17.8	0.5	0.5	1.4	-	3.7
60歳以上	207	77.8	11.6	-	2.4	4.3	0.5	3.4

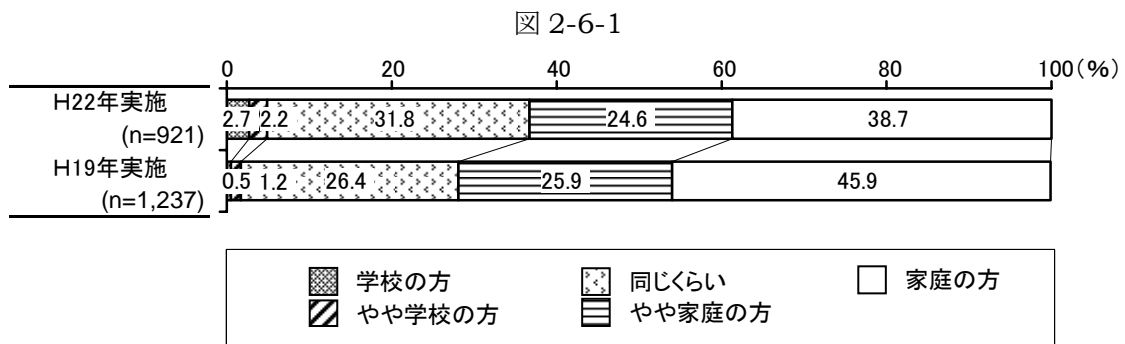
2-6 子供達への食育の場

◎ 家庭が重要と考える割合は6割。

問15. 子供達への食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要だと思いますか。(1つに〇)

子供達への食育の場を聞いたところ、「家庭の方」が38.7%と多く、「やや家庭の方」を合わせた『家庭』は63.3%となっている。家庭での食育を重要視する傾向がみられる。

前回調査との推移をみると、『家庭』が8.5ポイント減少し、「同じくらい」が5.4ポイント増加している。学校での食育が重要と考える人が増加傾向にあるといえる。



性別では、男性よりも女性のほうが家庭での食育を重要視する傾向がみられる。年齢別では、年配ほど家庭での食育を重要視する傾向がみられる。

図 2-6-2 性別・年齢別

	全体 (人)	学校の方	やや学校の方	同じくらい	やや家庭の方	家庭の方 (%)
全体	921	2.7	2.2	31.8	24.6	38.7
女性	748	1.7	1.9	31.0	26.2	39.2
男性	172	7.0	3.5	35.5	18.0	36.0
20歳代	122	4.1	3.3	40.2	17.2	35.2
30歳代	216	1.9	4.6	34.7	28.2	30.6
40歳代	182	3.8	1.1	37.9	26.4	30.8
50歳代	210	1.4	1.4	25.2	25.7	46.2
60歳以上	190	3.2	0.5	24.7	22.6	48.9

第3節 健康に関する意識

3-1 メタボリックシンドロームの認知度

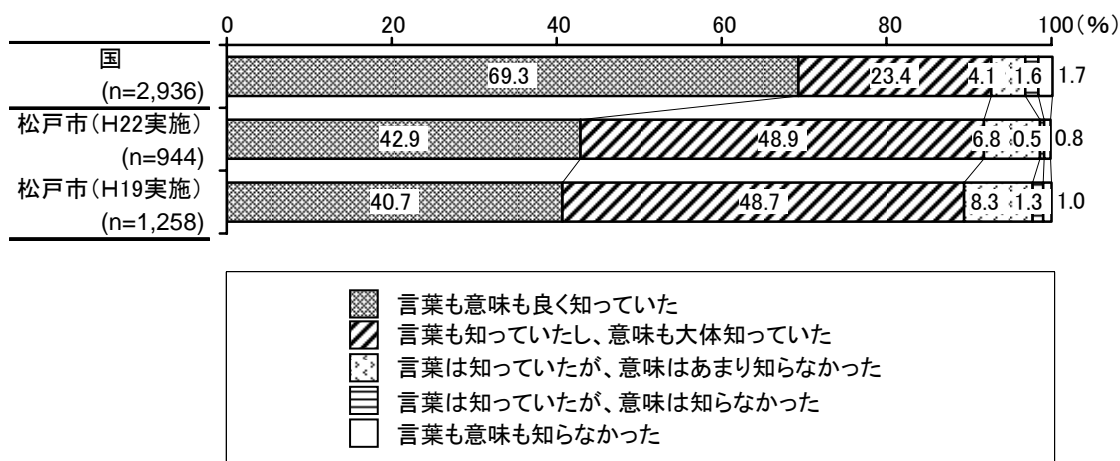
◎ 「言葉も知っていたし意味も大体知っていた」が4割後半。

問16. あなたは、メタボリックシンドロームという言葉やその意味を知っていましたか。(1つに○)

メタボリックシンドロームの認知度について聞いたところ、「言葉も知っていたし意味も大体知っていた」が48.9%で最も多く、「言葉も意味も良く知っていた」を合わせた認知度は、91.8%となっている。国との比較では、「言葉も意味も良く知っていた」は26.4ポイント少ないが、認知度はほぼ同じ割合であることから、メタボリックシンドロームの認知度は高いといえる。

前回調査との推移をみると、ほぼ同じような傾向となっている。

図 3-1-1



性別では、男性は「言葉も意味もよく知っていた」が女性よりも 11.1 ポイント高くなっている。男性のほうがメタボリックシンドロームへの関心が高いとみられる。

年齢別では、30 歳代の認知度が他の年代と比較して若干低くなっているものの、全世代を通じて 8 割以上の認知度となっている。

図 3-1-2 性別・年齢別

	全 体 (人)	良 く 知 つ て い た	意 味 も 大 体 知 つ て い た	意 味 は あ ま り 知 ら な か つ た	意 味 は 知 ら な か つ た	知 ら な か つ た
全 体	944	42.9	48.9	6.8	0.5	0.8
女性	762	40.8	51.4	7.0	0.5	0.3
男性	181	51.9	38.1	6.1	0.6	3.3
20 歳代	122	41.0	52.5	5.7	0.8	-
30 歳代	216	35.2	51.4	12.0	0.5	0.9
40 歳代	183	41.0	51.4	6.0	1.1	0.5
50 歳代	213	50.7	44.6	4.2	-	0.5
60 歳以上	208	46.2	46.2	5.3	0.5	1.9

3-2 メタボリックシンドロームの該当の有無

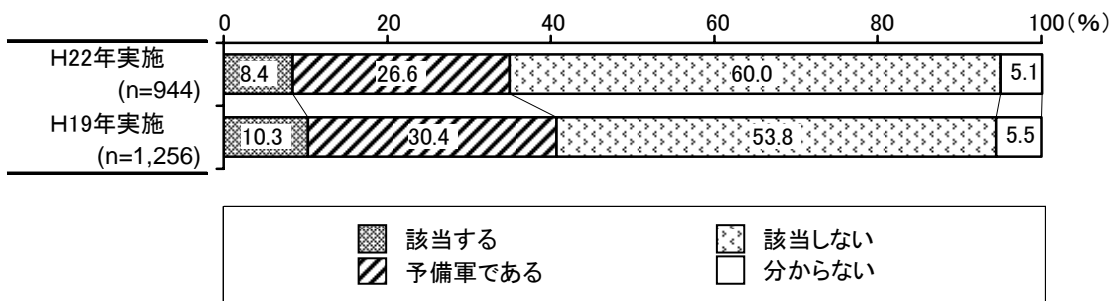
◎ 「該当しない」が6割。

問17. あなたご自身はメタボリックシンドロームに該当すると思いますか。
(1つに○)

回答者自身がメタボリックシンドロームに該当することについて聞いたところ、「該当しない」が60.0%となっている。

前回調査との推移をみると、「該当しない」が6.2ポイント増加している。

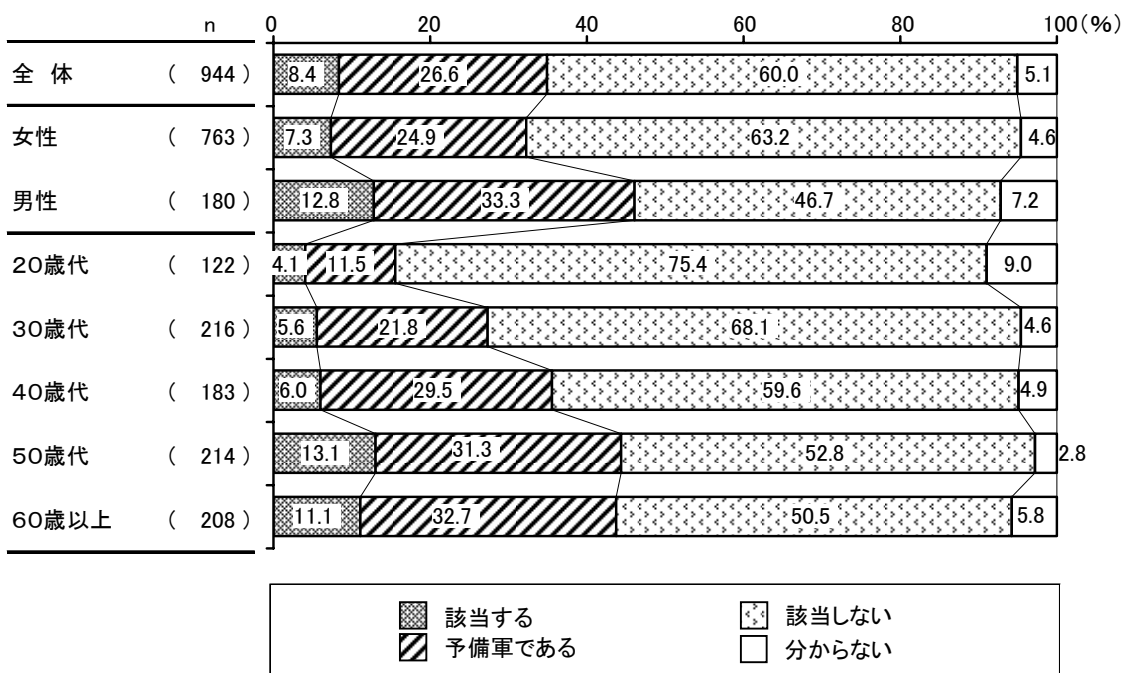
図 3-2-1



性別では、男性は「該当する」「予備軍である」とメタボリックシンドロームを自覚している傾向がみられる。

年齢別では、年配ほど自覚している傾向がみられる。

図 3-2-2 性別・年齢別



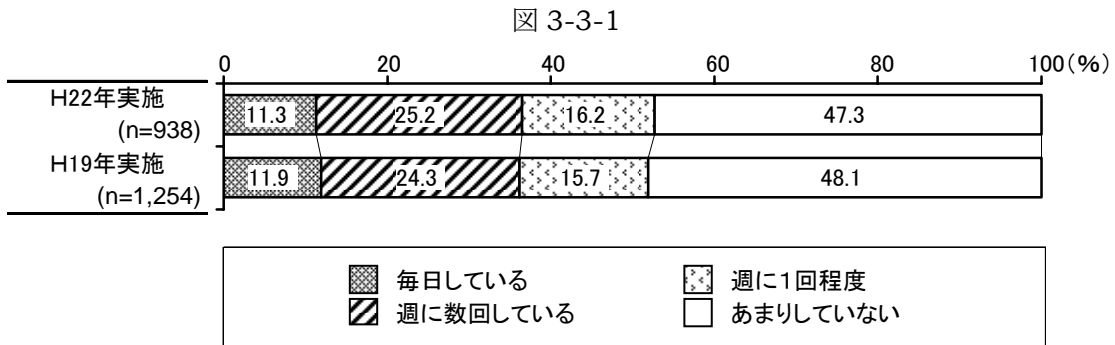
3-3 定期的な運動

◎ 週に1回程度以上の運動をしている人は5割。

問18. あなたは散歩や水泳など、定期的に運動をしていますか（1つに○）

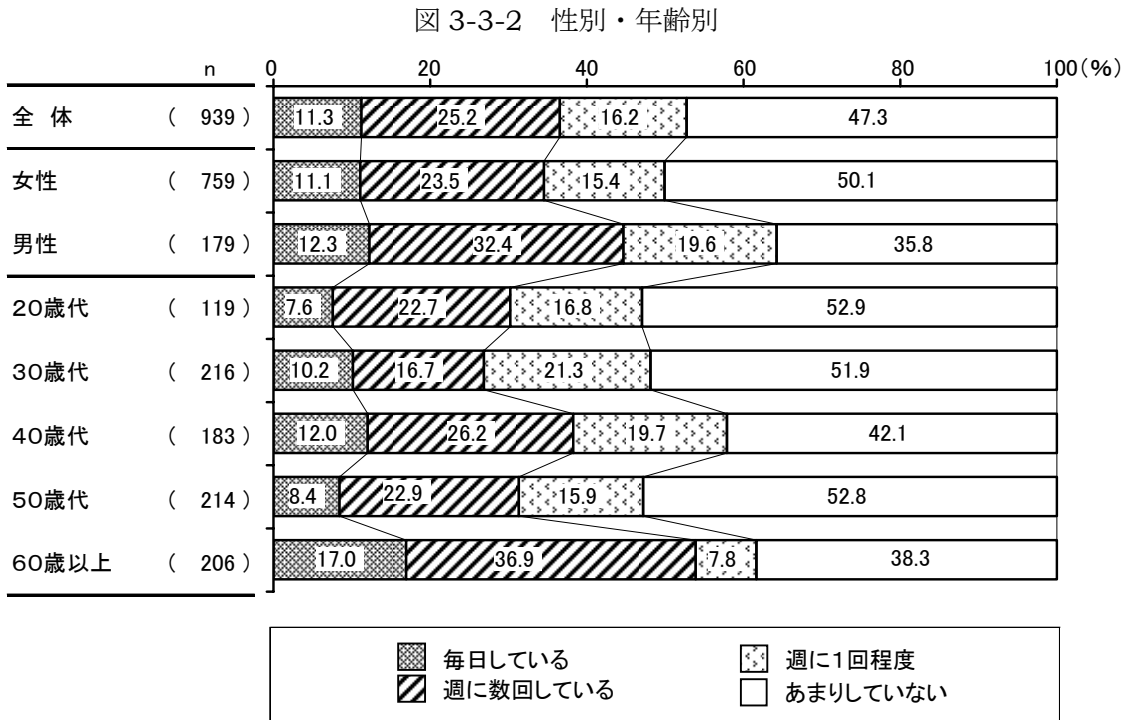
定期的な運動の有無について聞いたところ、「あまりしていない」が47.3%と最も多く、「毎日している」が約1割程度にとどまっている。

前回調査との推移をみると、ほぼ同じような傾向となっている。



性別では、女性の半数が運動をしていない。

年齢別では、60歳以上は他の年代と比較して運動をしている傾向がみられる。



第4節 歯科の健康に関する意識

4-1 現在の歯の本数

◎ 本数の平均は27.3本。

問19. あなたの歯の数は現在何本ですか。

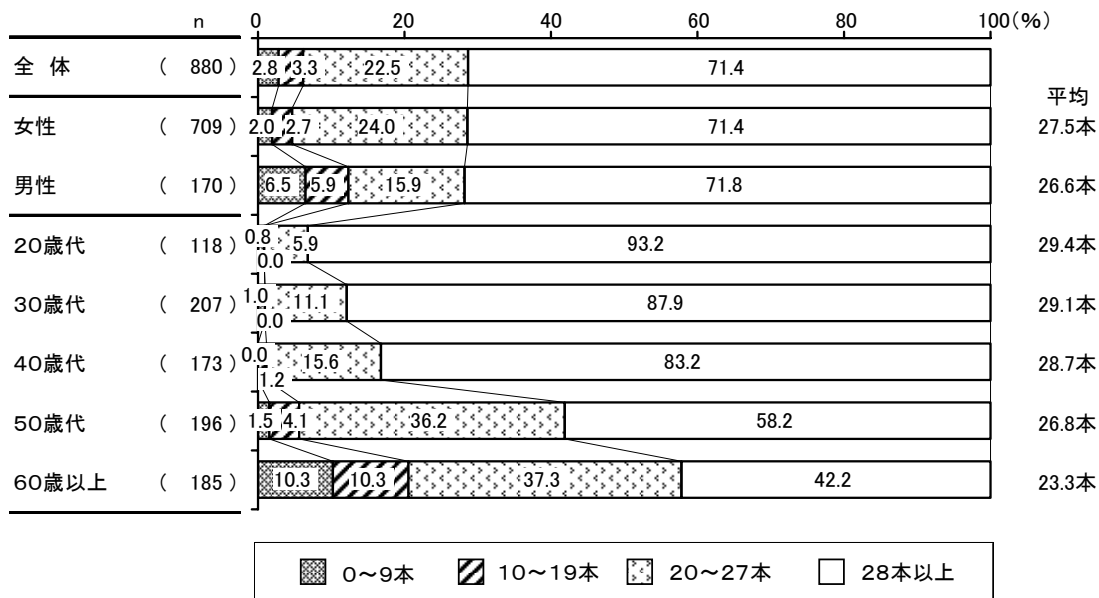
現在の歯の本数を聞いたところ、平均で27.3本であった。
 前回調査との推移をみると、本数の平均値に差はみられない。

(27.3)本 ※平均

(27.1)本 ※平均(H19実施)

性別では、男性の1割が20本以下と回答しているのが目立つ。
 年齢別では、20歳代では「28本以上」が9割以上となっているが、年齢とともに減少している。60歳以上では2割が20本未満となっている。

図4-1-1 性別・年齢別



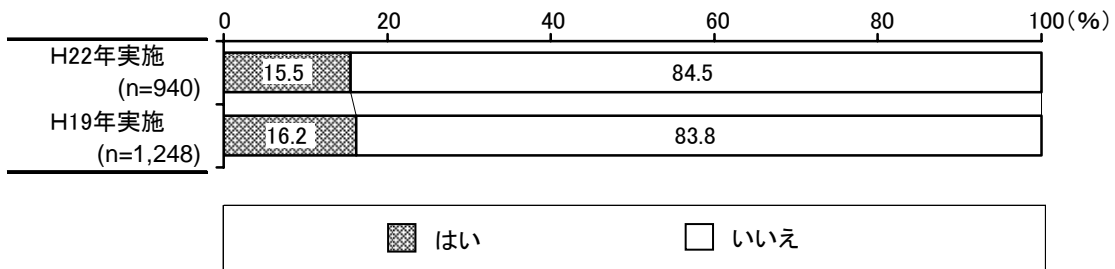
4-2 入れ歯の有無

◎ 入れ歯を「使用していない」が8割半ば。

問20. あなたは入れ歯を使用していますか。(1つに○)

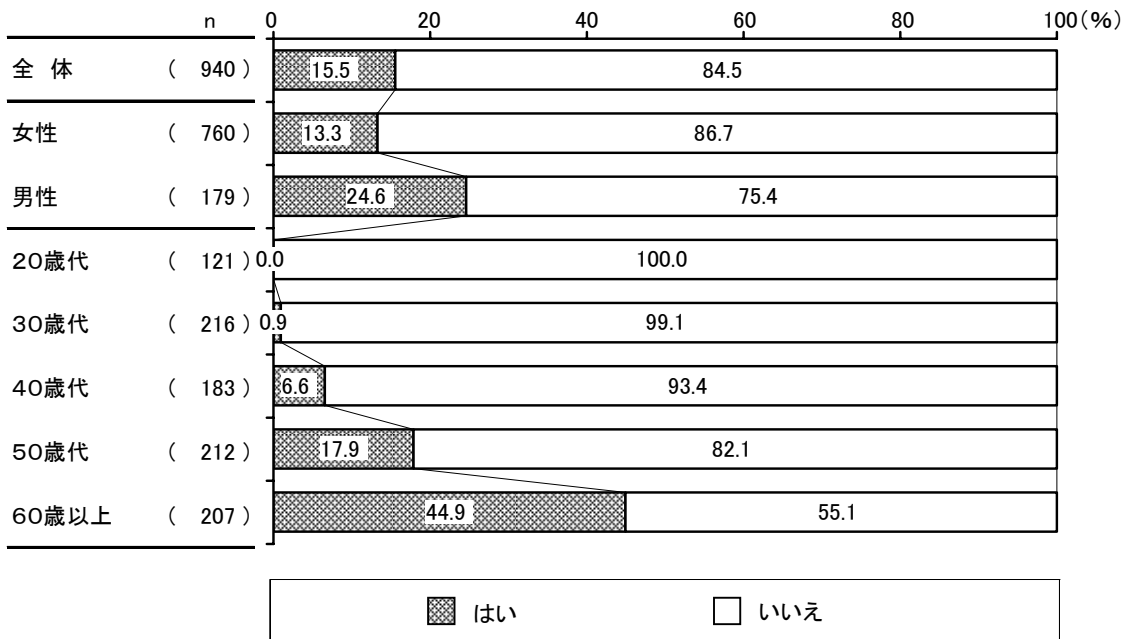
入れ歯の使用について聞いたところ、入れ歯未使用が84.5%となっている。
 前回調査との推移をみると、使用の有無に差はみられない。

図 4-2-1



性別にみると、男性の使用率は女性よりも11.3ポイント高くなっている。
 年齢別にみると、20歳代と30歳代では入れ歯を使用していないが、年齢とともに増加し、60歳以上では4割半ばの使用率となっている。

図 4-2-2 性別・年齢別



4-3 口腔内の全体的な健康状態

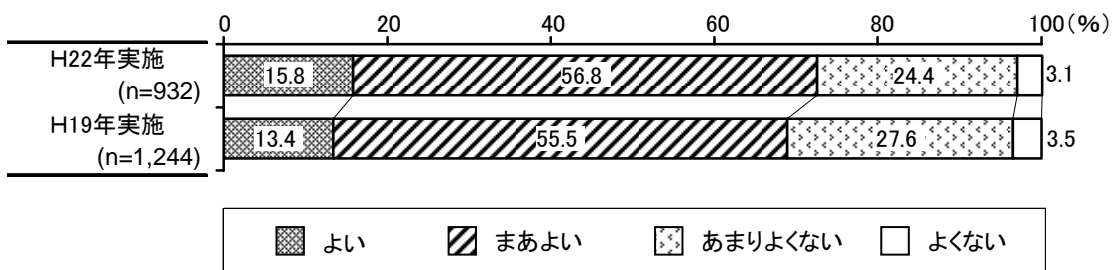
◎ 「まあよい」が5割半ば。

問21. あなたの現在のお口の全体的な健康状態はどうか。(1つに○)

口腔内の健康状態について聞いたところ、「まあよい」が56.8%で、「よい」と合わせると、72.6%が健康状態がよいと感じている。

前回調査との推移をみると、健康状態がよいと感じる割合は3.7ポイント増加している。

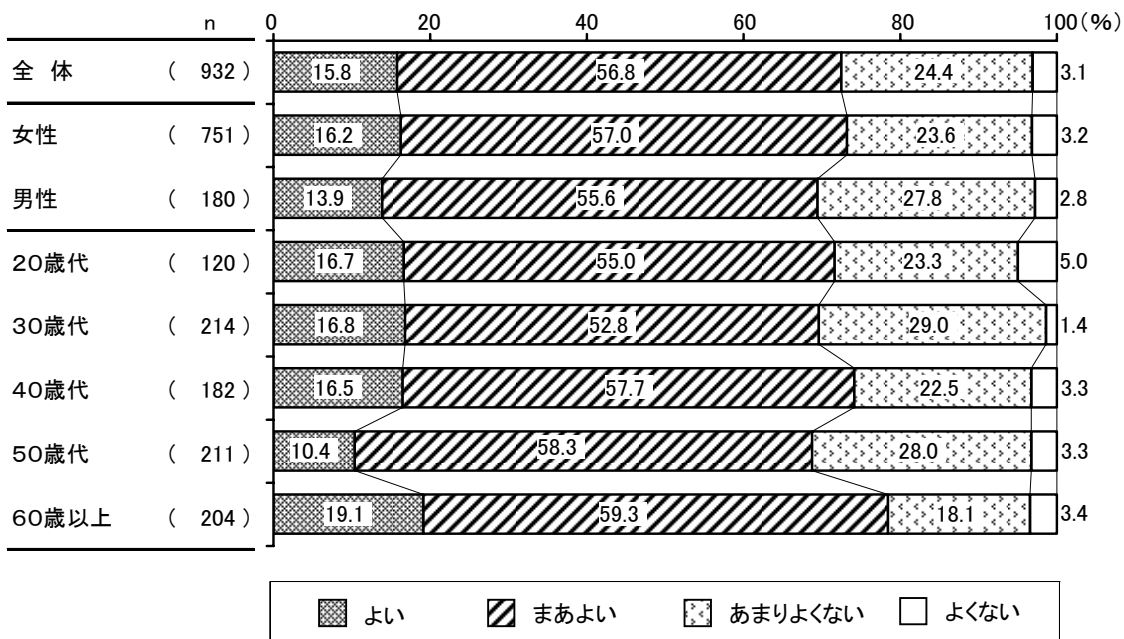
図4-3-1



性別では、女性は男性よりも3.7ポイント健康状態がよいと感じている。

年齢別では、60歳以上は他の年代と比較して健康状態がよいと感じる割合が多くなっている。

図4-3-2 性別・年齢別



4-4 前回の歯科治療

◎ 前回の歯科治療の間隔の平均は2年10ヶ月前。

問22. 前回、いつ歯科治療を受けましたか。

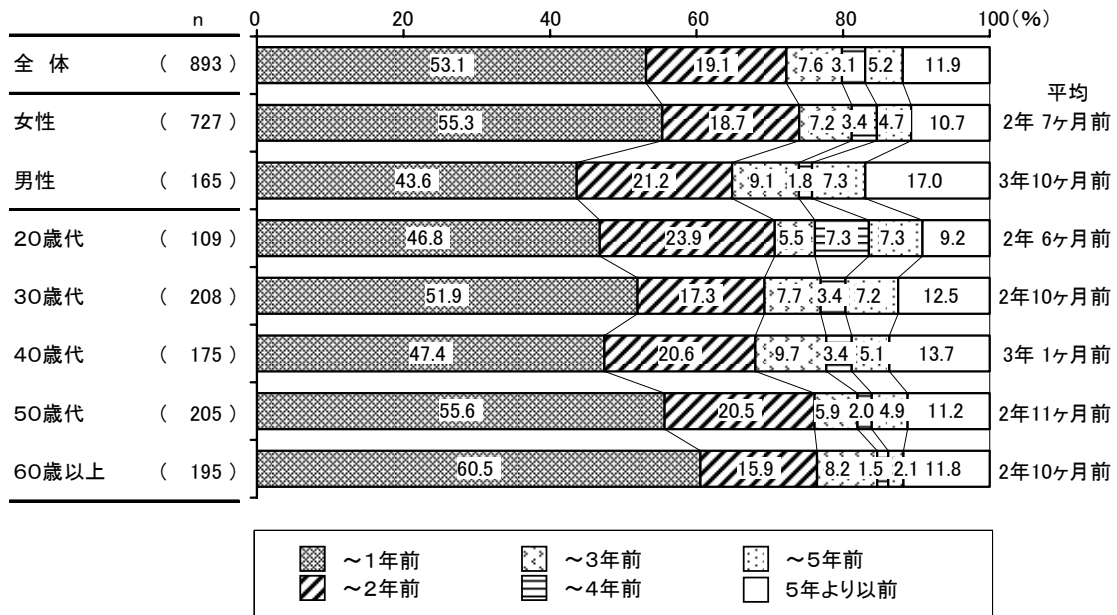
前回受けた歯科治療について聞いたところ、およそ2年10ヶ月となっている。前回調査との推移をみると、歯科治療の間隔が広がっている傾向がみられる。

およそ(2)年(10)ヶ月前 ※平均
およそ(2)年(3)ヶ月前 ※平均(H19実施)

性別にみると、男性は女性と比較して歯科治療の間隔の平均が長い。

年齢別にみると、60歳以上では6割が1年間以内に治療を行なっている。定期的な治療をする人もしくは治療中の人が多いとみられる。

図4-4-1 性別・年齢別



4-5 歯の健康診査の有無

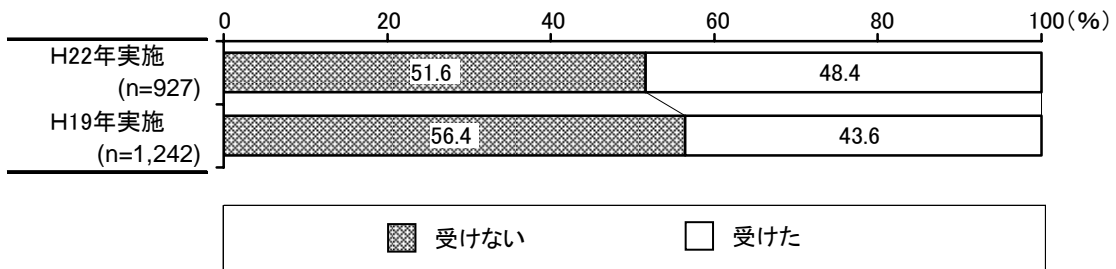
◎ 定期診査受診は4割後半。その理由は「歯科治療のついでに」が4割半ば。

問23. この1年間に歯の健康診査を受けましたか。(1つに○)

この1年間に歯の健康診査を受けたことについて聞いたところ、「受けた」が48.4%となっている。

前回調査との推移をみると、「受けた」が4.8ポイント増加している。歯科治療の定期診査受診率が増加している傾向がみられる。

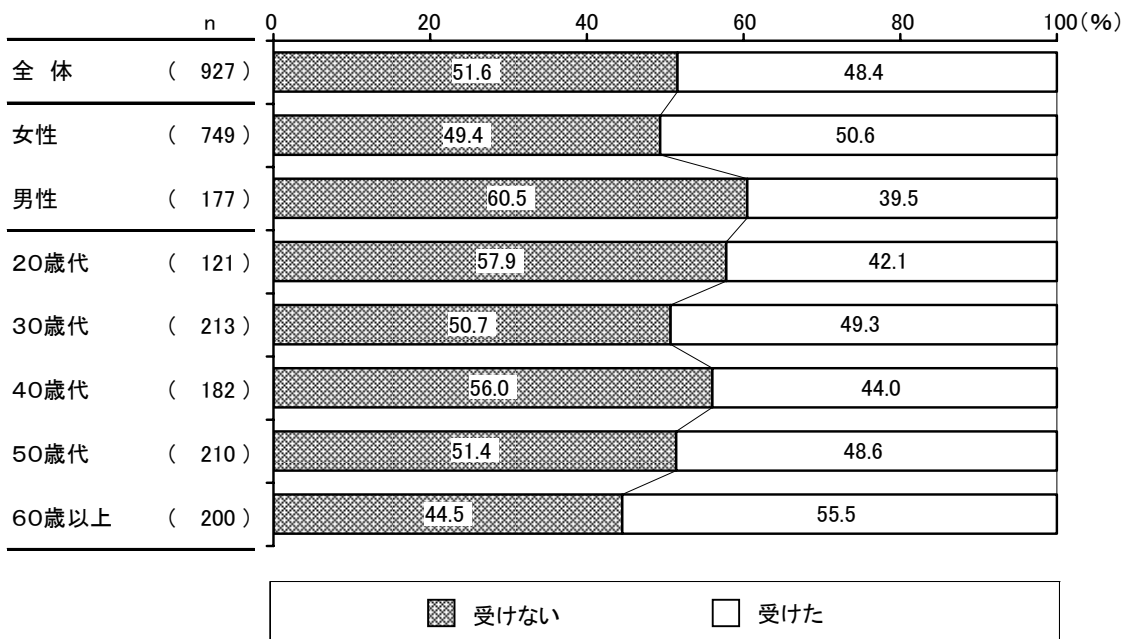
図4-5-1



性別では、女性は半数が受診し、男性よりも11.1ポイント高くなっている。

年齢別では、50歳代までは半数以上が受診していない。特に20歳代と40歳代の受診率の低さが目立っている。

図4-5-2 性別・年齢別



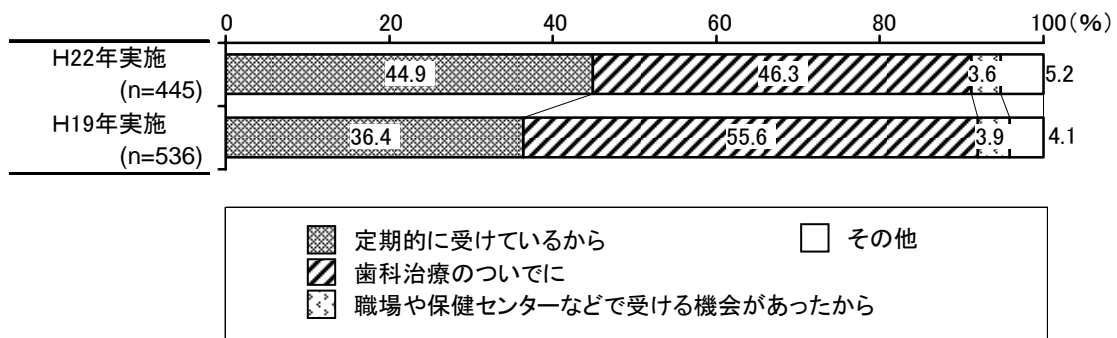
【問23で「受けた」と答えた方に対して】

問24 どのような理由で受診しましたか？(1つに〇)

歯の健康診査を受診した理由を聞いたところ、「歯科治療のついでに」が46.3%、次いで、「定期的に受けているから」が44.9%の順となっている。

前回調査との推移をみると、“ついで”受診は9.3ポイント減少し、定期的受診は8.5ポイント増加している。自分の意思で定期的に受診している傾向がみられる。

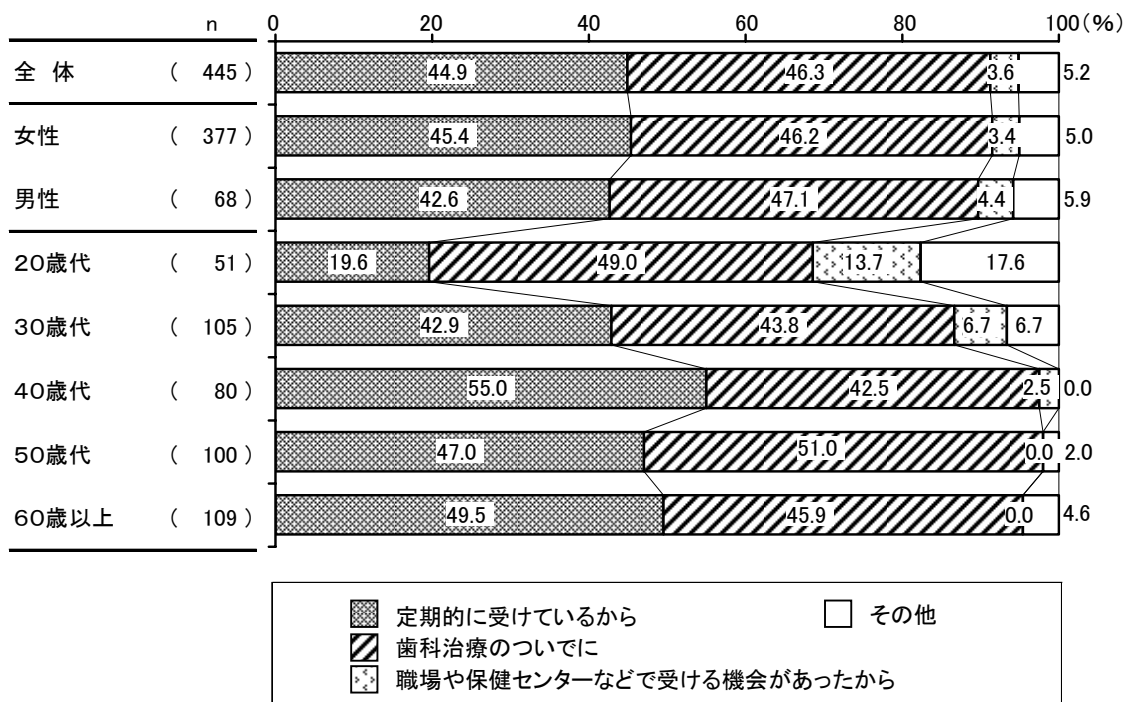
図 4-5-3



性別では、受診理由に差はみられず、“ついで”受診が多くなっている。

年齢別では、定期的受診は40歳代で他の世代と比較して高くなっている。一方、20歳代では2割弱しかなく、自発的に受診しない傾向がみられる。

図 4-5-4 性別・年齢別



4-6 口腔内の健康状態

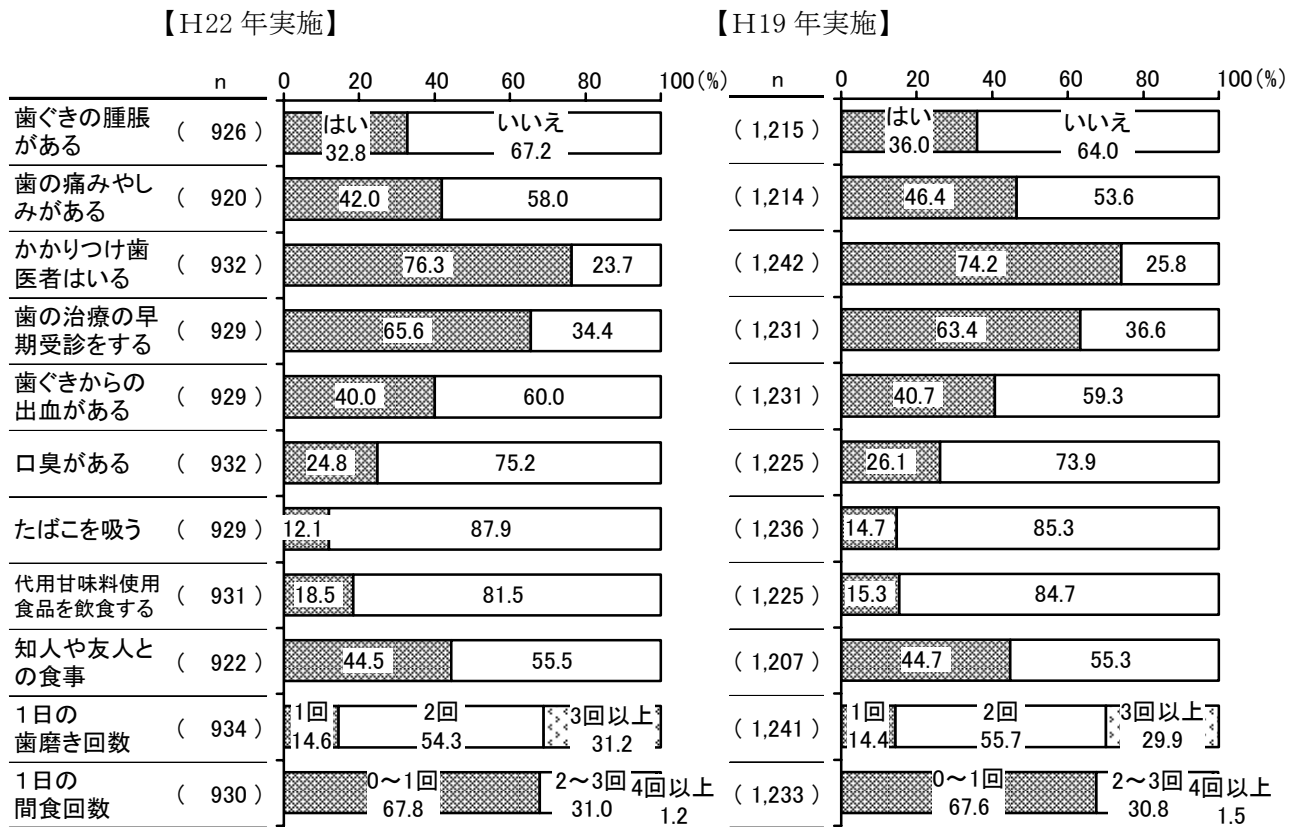
◎ かかりつけ歯医者がある割合は7割半ば

問25. あなたのお口の健康状態について以下の質問に回答ください。(それぞれ1つに○)

口腔内の健康状態について聞いたところ、7割半ばの人がかかりつけ医を持ち、6割以上が歯の治療の早期受診をしている。また、たばこを吸う人は1割程度である。

前回調査との推移をみると、「かかりつけ歯医者はある」「歯の治療の早期受診をする」が増加し、「歯ぐきの腫脹がある」「歯の痛みやしみがある」が減少している。

図 4-6-1



性別では、女性は男性よりも「かかりつけ歯医者はいる」が 18.5 ポイント、「歯の治療の早期受診をする」が 16.0 ポイント高くなっている。また、9 割が一日の歯磨き回数が 2 回以上となっている。一方、男性は 3 割が「たばこを吸う」となっている。

年齢別では、年齢とともに「かかりつけ歯医者はいる」と「歯の治療の早期受診をする」が増加傾向となっている。20 歳代は「代用甘味料使用食品を飲食する」が他の年代と比較して多く、歯ぐきの腫脹は少ないが、歯の痛みやしみを感じる人が多くなっている。

40 歳以上は 40 歳未満より「かかりつけ歯医者はいる」が 18.2 ポイント、「歯の治療の早期受診をする」が 16.0 ポイント高く、40 歳未満は 40 歳以上より「代用甘味料使用食品を飲食する」が 13.1 ポイント高くなっている。

図 4-6-2 性別・年齢別（「はい」の割合）

	歯ぐきの腫脹がある	歯の痛みやしみがあ	かかりつけ歯医者はいる	歯の治療の早期受診をする	歯ぐきからの出血がある	口臭がある	たばこを吸う	代用甘味料使用食品を飲食する	知人や友人との食事	一日の歯磨き回数（2 回以上）	一日の間食回数（2 回以上）
全体	32.8	42.0	76.3	65.6	40.0	24.8	12.1	18.5	44.5	85.4	32.2
女性	32.9	42.6	79.9	68.6	41.0	24.6	7.5	18.1	45.1	90.0	35.5
男性	32.2	39.3	61.4	52.6	35.6	25.9	31.8	20.1	41.5	66.5	18.3
20 歳代	26.9	45.4	56.3	47.1	44.5	27.7	16.0	31.1	48.7	84.9	35.6
30 歳代	32.7	45.1	69.3	60.0	46.5	24.2	14.0	24.7	46.0	88.4	31.1
40 歳代	32.8	42.2	73.9	66.1	42.2	24.4	11.7	18.9	39.9	86.7	23.9
50 歳代	35.4	44.0	85.8	69.4	39.0	31.0	10.9	14.3	43.1	88.2	38.8
60 歳以上	33.5	34.3	87.9	78.0	29.4	17.9	9.3	8.7	45.5	79.3	31.8
40 歳未満	30.6	45.2	64.7	55.4	45.8	25.4	14.7	26.9	47.0	87.1	32.7
40 歳以上	34.0	40.2	82.9	71.4	36.7	24.5	10.6	13.8	42.9	84.6	31.9

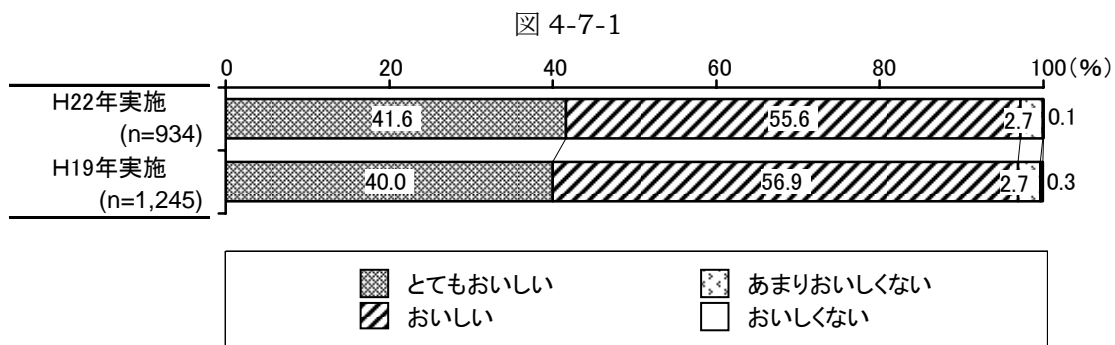
4-7 食事の満足度

◎ おいしいと感じるが9割後半。

問26. 食事がおいしいと感じていますか。(1つに○)

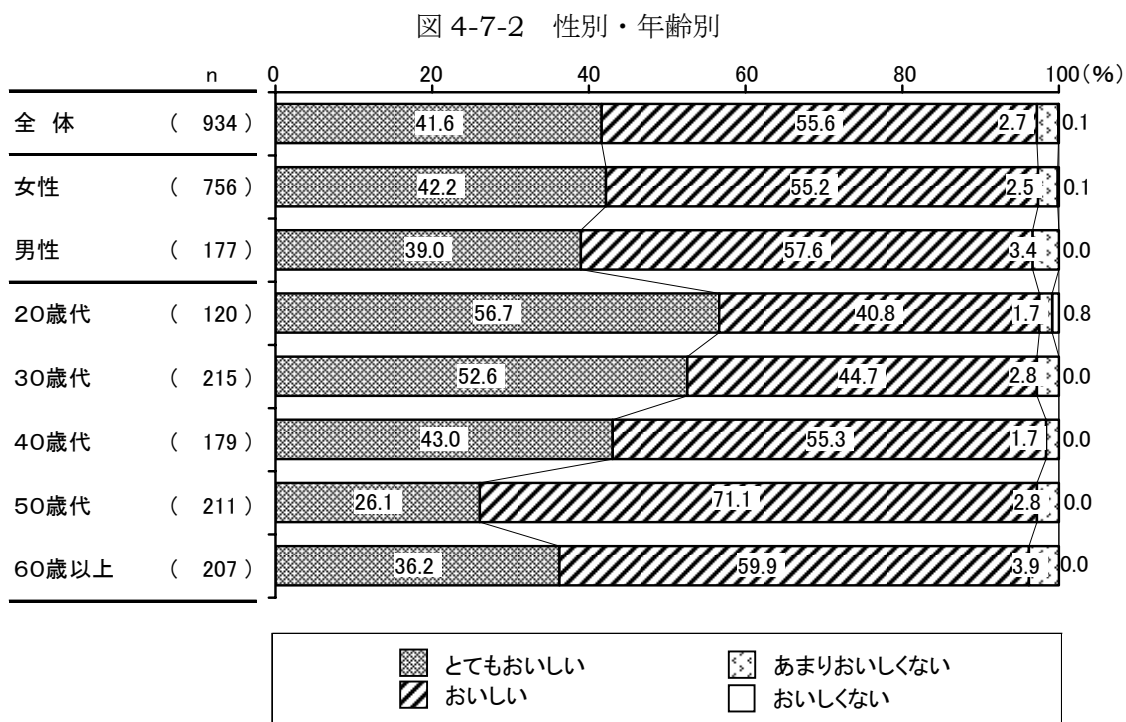
食事がおいしく感じることにについて聞いたところ、「おいしい」が55.6%で、「とてもおいしい」と合わせると、97.2%が食事への満足感を得ている。

前回調査との推移をみると、満足感を感じることに差はみられない。



性別では、男女間で満足感に大きな差はみられない。

年齢別では、20歳代と30歳代は他の年代と比較して食事を「とてもおいしい」と感じる傾向がみられる。



4-8 噛みにくい食品

◎ 噛みにくい食品は「りんご丸かじり」、「するめ」、「堅焼きせんべい」。

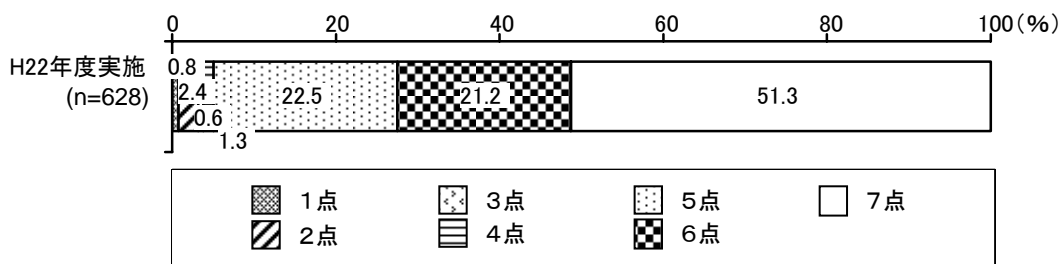
問 27. 以下の食品について噛みにくいのはどれですか。(該当するもの全てに○)

指数	食品名
1点	スープ
2点	おかゆ、とうふ、プリン
3点	ごはん、煮魚、はんぺん、うなぎのかばやき、まぐろのさしみ
4点	おこわ、ちくわ、固いビスケット、かまぼこ、こんにやく、ハム、いかのさしみ
5点	フランスパン、ビーフステーキ、とり貝、おこし、なまこ、するめ、いか、らっきょう、貝柱の干物、酢だこ、くらげの酢の物
6点	ピーナッツ、雑煮もち、生あわび、たくわん、堅焼きせんべい
7点	チューイングガム、りんご丸かじり、みかんの袋

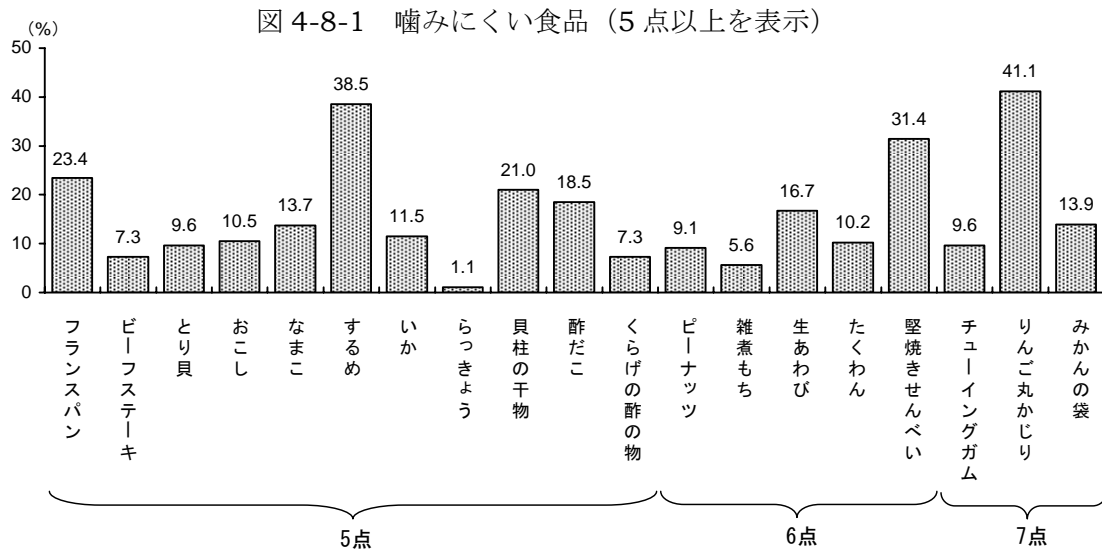
※ 指数 1 点から 7 点の食品は、山本式咀嚼能率判定食品の分類を利用している。指数が高いグループほど噛みにくいと考える。

山本式咀嚼能率判定食品の分類を参考にし、噛みにくい食品の最高点を算出したところ、「7点」が5割を占めている。次いで、「5点」「6点」の順となっている。

図 4-8-3 噛みにくい食品の最高点



35 品目で噛みにくい食品について聞いたところ、「りんご丸かじり」が 41.1%で多く、次いで、「するめ」が 38.5%、「堅焼きせんべい」が 31.4%の順となっている。



年齢別では、「りんご丸かじり」「するめ」「フランスパン」「堅焼きせんべい」が噛みにくいとする食品の上位 3 位を占めている。

図 4-8-2 年齢別噛みにくい食品

	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上	
	順位	(%)	順位	(%)	順位	(%)	順位	(%)	順位	(%)
りんご丸かじり 指数7点	1位(同数)	33.3	1位	32.3	1位	36.9	1位	40.5	2位	54.5
するめ 指数5点	1位(同数)	33.3	2位	30.6	2位	29.7	2位	36.1	1位	55.1
フランスパン 指数5点	2位	24.2	3位	22.6	4位	18.9	4位	22.8	5位	27.5
堅焼きせんべい 指数6点	3位	19.7	4位	19.4	3位	28.8	3位	34.8	3位	43.7

5 点から 7 点の食品に関して年齢別に噛みにくさをみると、

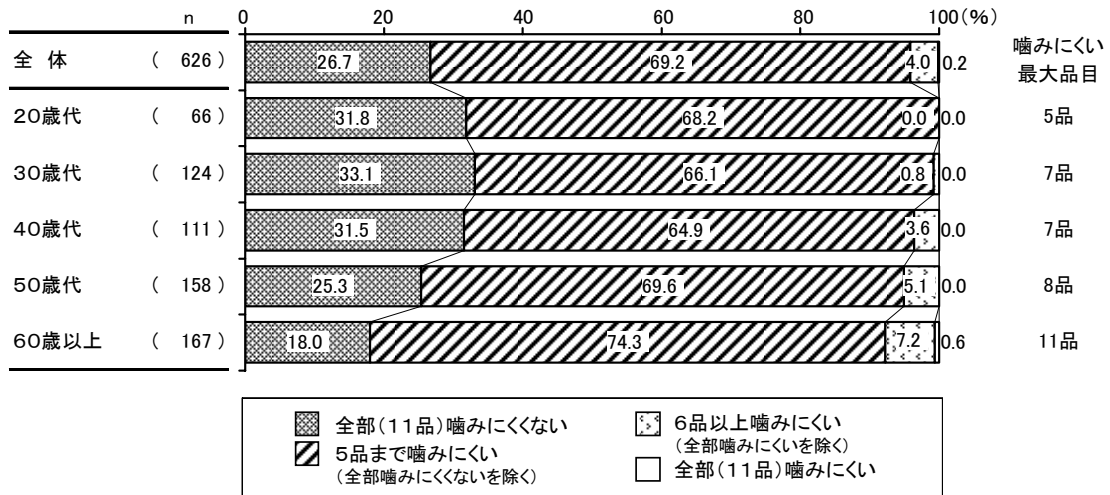
5 点の品目を「全部 (11 品目) 噛みにくくない」は 26.7%で、30 歳代が 33.1%で多く、次いで、20 歳代、40 歳代の順となっている。20 歳代では噛みにくい品目の最大値が 5 品と少ない。

6 点の品目を「全部 (5 品目) 噛みにくくない」は 53.7%で、20 歳代が 69.7%で多く、次いで、30 歳代、40 歳代の順となっている。20 歳代から 40 歳代では噛みにくい品目の最大値が 3 品となっている。

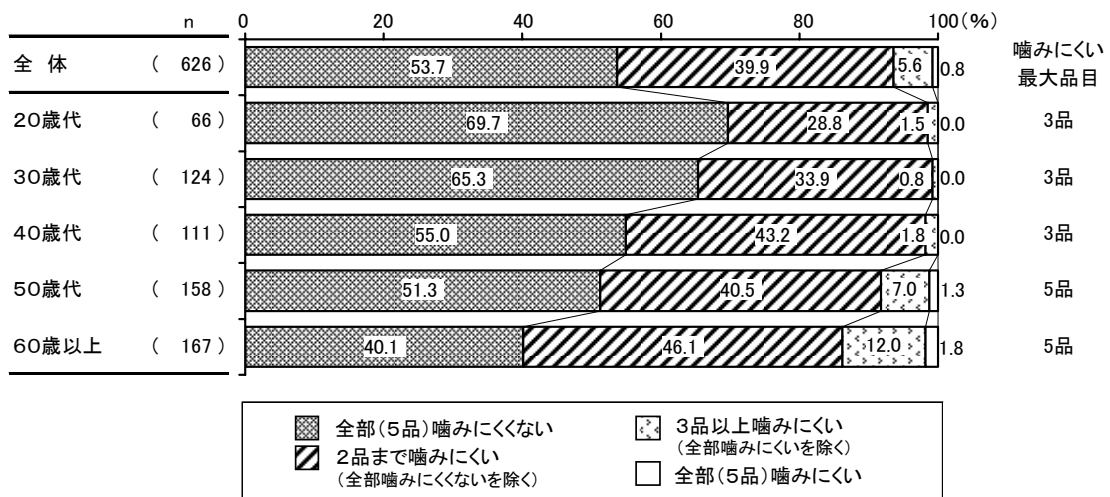
7 点の品目を「全部 (3 品目) 噛みにくくない」は 48.7%で、20 歳代から 50 歳代では 5 割以上となっている。一方、60 歳以上は「全部 (3 品目) 噛みにくくない」が 3 割半ばとなっている。

図 4-8-4 年齢別噛みにくさ

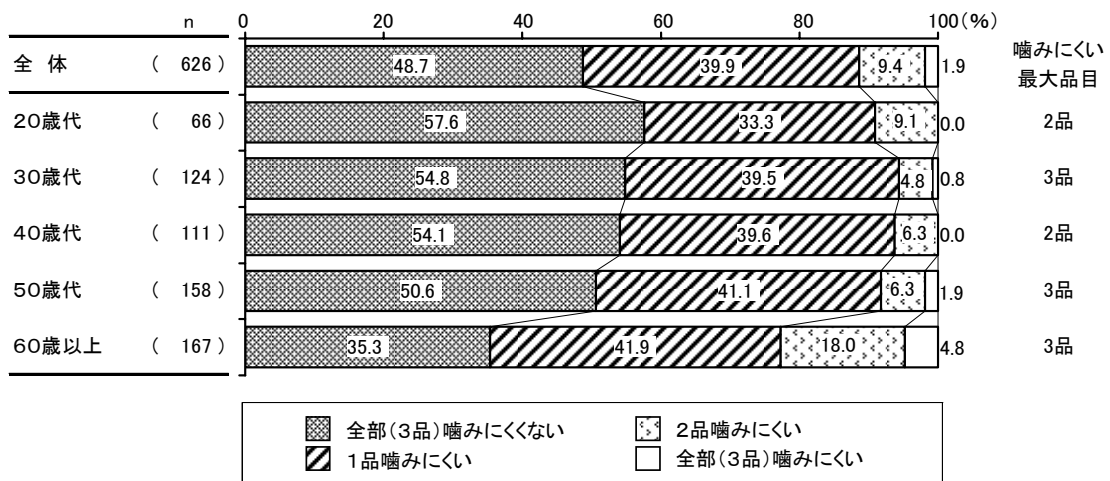
[5点]



[6点]



[7点]



第5節 環境問題への意識

5-1 家庭ごみの排出量

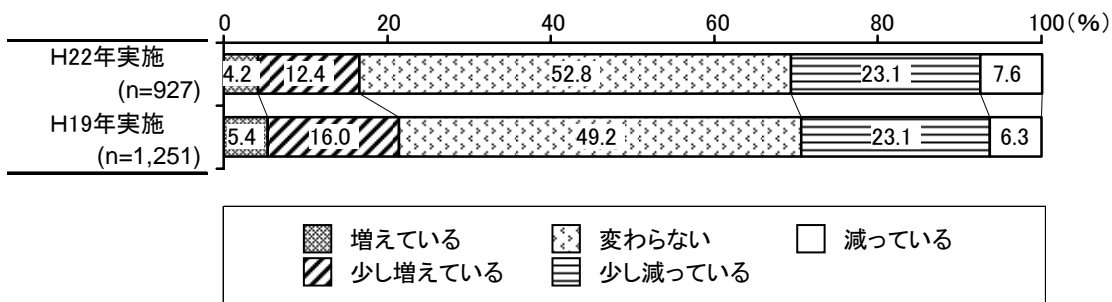
◎ 「変わらない」が5割。

問28. 以前に比べて（1人当たりの）家庭ごみを出す量は変わりましたか。
（1つに○）

家庭ごみの排出量を聞いたところ、『減少』は3割となっている。

前回調査との推移をみると、『増加』が4.8ポイント減少している。

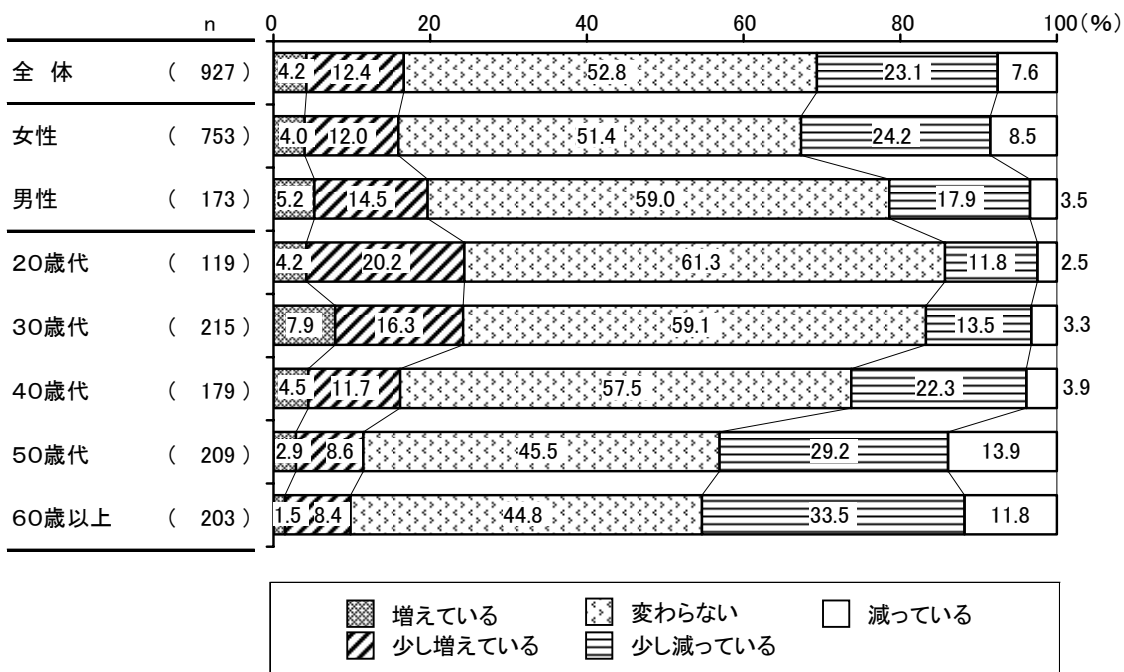
図 5-1-1



性別では、女性は男性より家庭ごみの排出量が減少している。

年齢別では、年齢とともに家庭ごみの排出量について減少している人が増えている。

図 5-1-2 性別・年齢別



5-2 燃やせるごみの1週間あたりの排出量

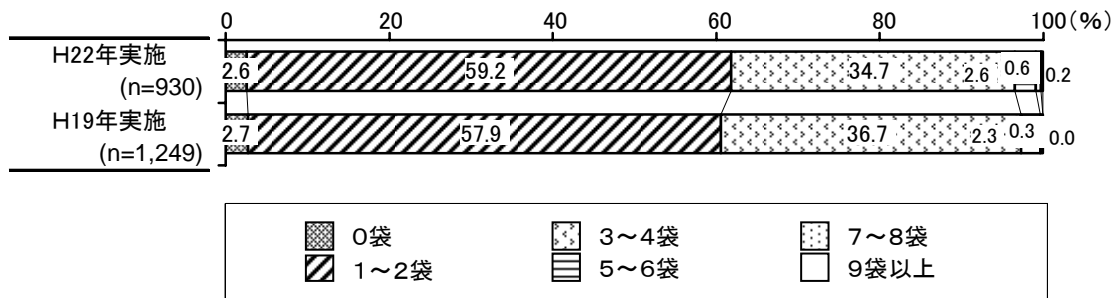
◎ 「1~2袋」が約6割。

問29. 普段、「燃やせるごみ」は1週間に何袋ぐらい出していますか。
(1つに○)

1週間あたりの燃やせるごみの排出量を聞いたところ、「1~2袋」が59.2%と最も多くなっている。

前回調査との推移をみてもあまり差はみられない。

図 5-2-1



年齢別では、30歳代と40歳代は他の年代と比較して燃やせるごみの排出量が多い。

世帯別では、二世帯家族以上では「3~4袋」が4割で、夫婦のみ・一人暮らしと比較して13.9ポイント高くなっている。

図 5-2-2 性別・年齢別・世帯別

	全体 (人)	(%)					
		0袋	1~2袋	3~4袋	5~6袋	7~8袋	9袋以上
全体	930	2.6	59.2	34.7	2.6	0.6	0.2
女性	755	1.9	58.5	36.6	2.4	0.5	0.1
男性	174	5.7	62.1	27.0	3.4	1.1	0.6
20歳代	117	4.3	65.0	27.4	2.6	0.9	-
30歳代	215	2.3	52.6	40.9	3.3	0.5	0.5
40歳代	180	1.7	57.2	36.7	3.3	0.6	0.6
50歳代	210	1.9	61.4	33.8	2.9	-	-
60歳以上	206	3.4	62.1	32.0	1.0	1.5	-
夫婦のみ・一人暮らし	368	4.6	66.8	26.6	1.6	0.3	0.0
二世帯家族以上	541	1.1	54.0	40.5	3.1	0.9	0.4

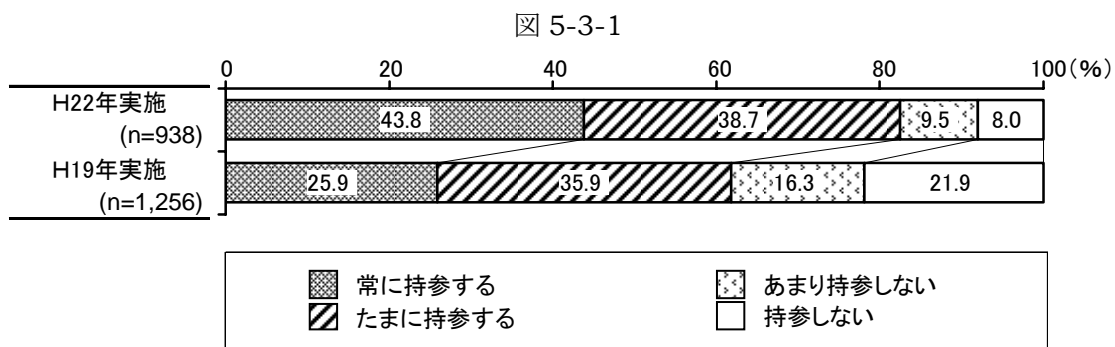
5-3 買い物袋の持参

◎ 持参率は8割で増加傾向。

問30. 買い物袋は持参しますか。(1つに〇)

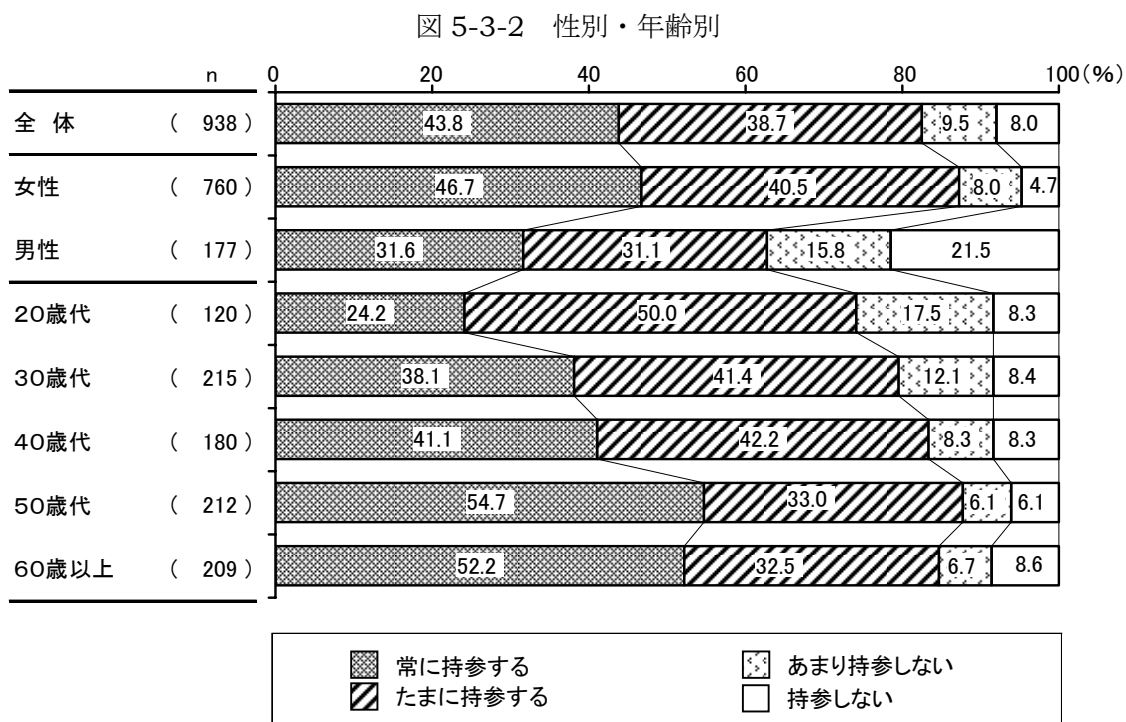
買い物袋の持参を聞いたところ、「常に持参する」が43.8%で、「たまに持参する」と合わせた持参率は82.5%と高くなっている。

前回調査との推移をみると、持参率は20.7ポイント増加している。マイバッグの利用が増加した。



性別では、男性の持参率は低く、6割にとどまっている。

持参率は全ての年代で7割以上となっている。



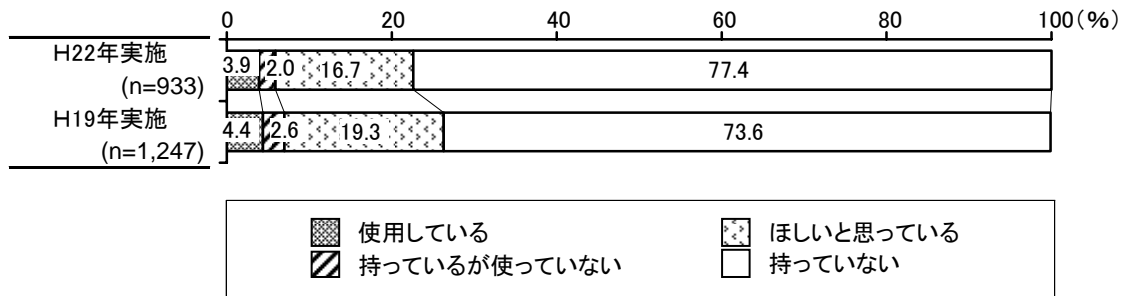
5-4 生ごみ処理容器の使用の有無

◎ 使用頻度は1割未満。購入の際に市の補助金を利用した割合は4割。

問31. あなたは生ごみ処理容器（コンポスト）等を使用していますか。
（1つに○）

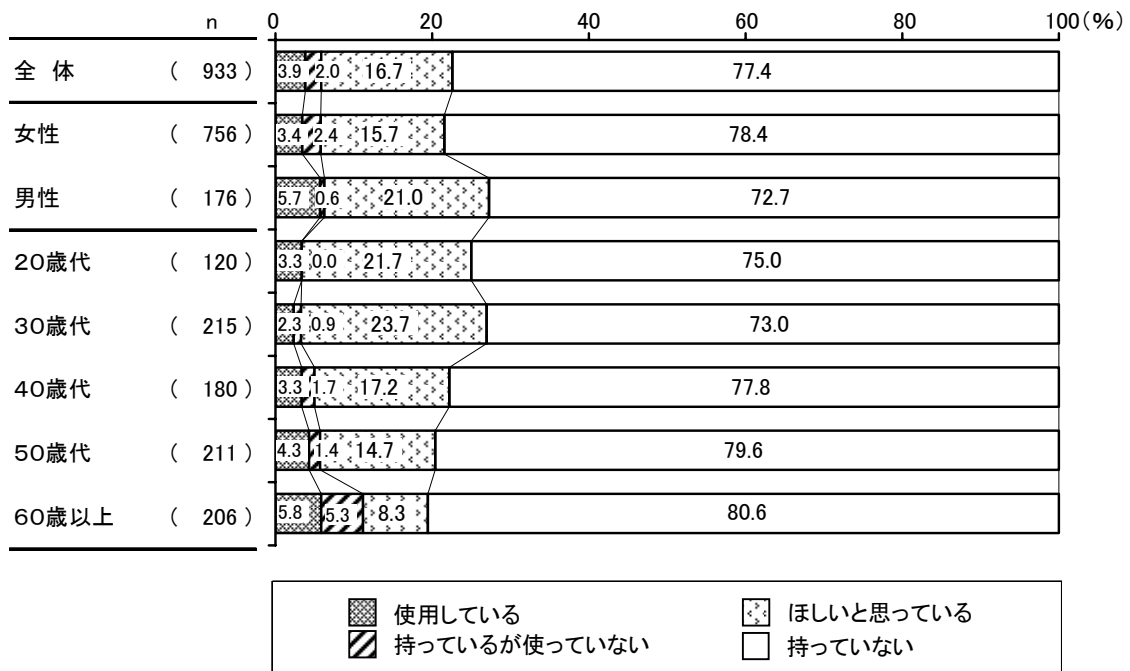
生ごみ処理容器の使用について聞いたところ、「使用している」はわずかに3.9%で、「持っているが使っていない」を合わせても1割に満たないほど使用頻度は低い。前回調査との推移をみると、「持っていない」が3.8ポイント増加している。

図 5-4-1



性別では、男性は女性よりも「ほしいと思っている」が5.3ポイント高い。年齢別では、20歳代と30歳代は約2割の人が生ごみ処理容器を欲しいと思っている。

図 5-4-2 性別・年齢別



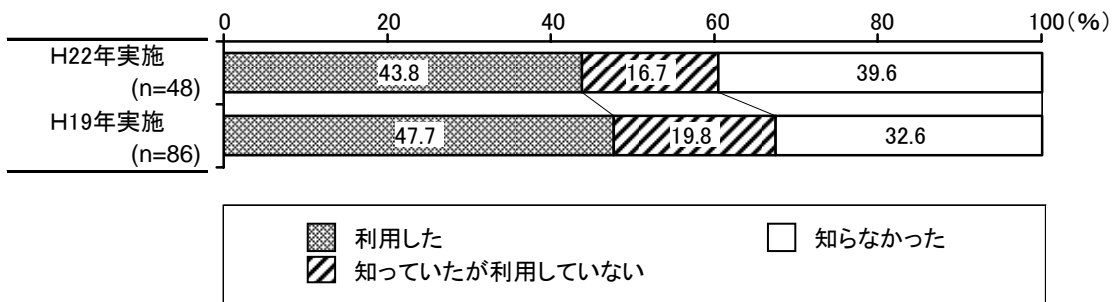
【問31で「使用している」「持っているが使ってない」と答えた方に対して】

問32. 購入の際に市の補助金制度を利用しましたか。(1つに〇)

生ごみ処理容器を購入した際に市の補助金を利用したことについて聞いたところ、利用率は4割となっている。

前回調査との推移をみると、利用率が3.9ポイント減少している。

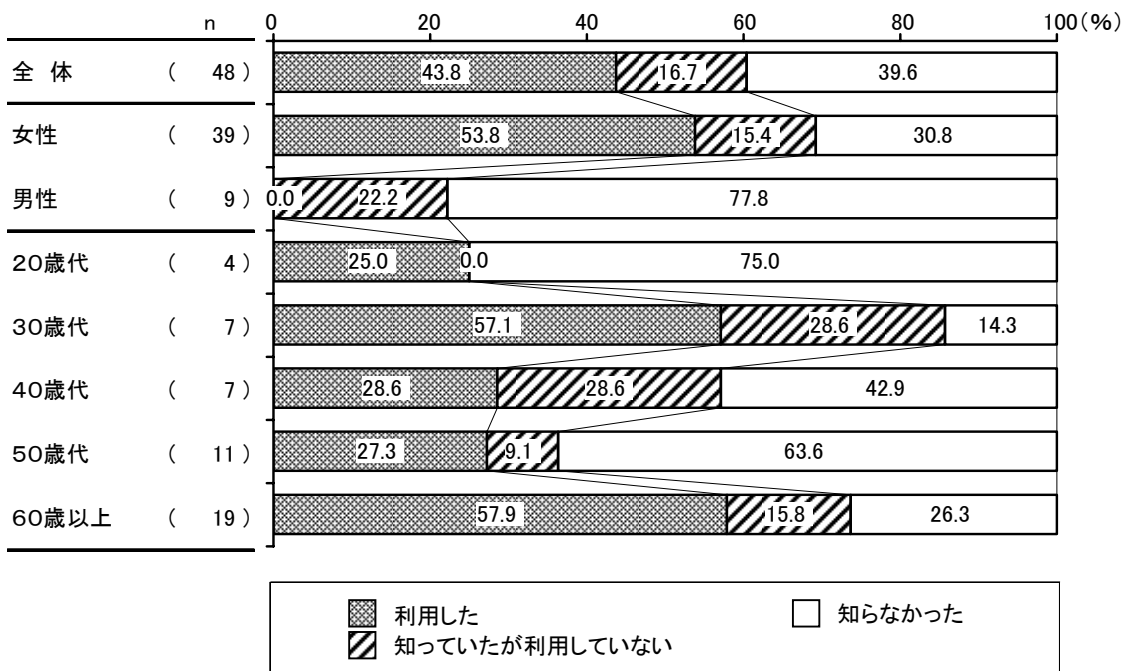
図 5-4-3



性別では、女性の利用率は5割となっている。

年齢別では、30歳代と60歳以上の利用率は5割以上となっている。

図 5-4-4 性別・年齢別



第6節 生活について

6-1 家を出る時刻と帰宅時刻

◎ 家を出る時刻は「8時17分」、帰宅時刻は「18時19分」。

問33. あなたと配偶者の家を出る時刻と帰宅時刻を教えてください。

回答者と配偶者の家を出る時刻と帰宅時刻を聞いたところ、回答者のほうが配偶者よりも遅く家を出て、早く帰宅している。これは、回答者の多くが女性であり、配偶者に男性が多いためと思われる。

前回調査との推移をみると、家を出る時刻に大きな差はみられないが、帰宅時刻が回答者・配偶者とも30分ほど早くなっている。

※およその平均時刻		(H19実施)
・あなた(働いている場合)	の家を出る時刻 : 8時17分	8時20分
	帰宅時刻 : 18時19分	18時52分
・配偶者(いらっしゃる場合)	の家を出る時刻 : 7時33分	7時40分
	帰宅時刻 : 19時23分	20時07分

男女別では、「あなた」が女性の場合、「配偶者」の家を出る時刻は早く、帰宅時刻は遅くなっている。また、「あなた」が男性の場合、「配偶者」の家を出る時刻は遅く、帰宅時刻が早くなっている。男性は女性よりも早く家を出て、遅く帰宅していることがわかる。

年齢別では、「あなた」の場合、40歳未満は40歳以上よりも早く家を出て遅く帰宅している。

図 6-1-2 性別・年齢別 (平均の時刻)

	あなた		配偶者	
	家を出る時刻	帰宅時刻	家を出る時刻	帰宅時刻
全体	8時17分	18時19分	7時33分	19時23分
女性	8時26分	18時17分	7時28分	19時30分
男性	7時48分	18時22分	8時29分	18時13分
40歳未満	8時12分	18時27分	7時40分	19時47分
40歳以上	8時20分	18時13分	7時29分	19時07分

6-2 地域の活動への参加

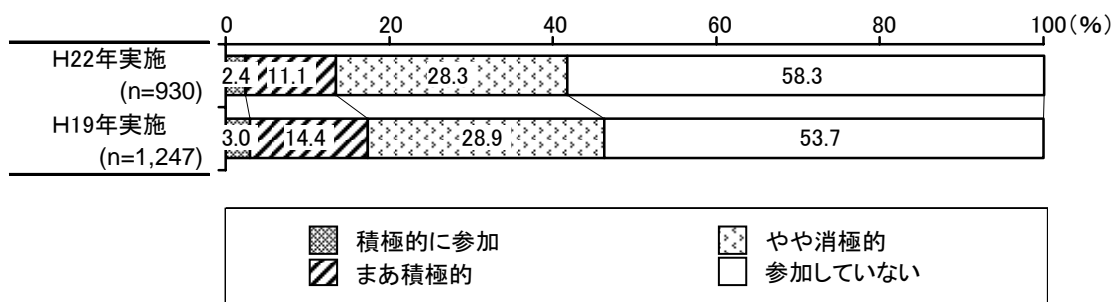
◎ 「参加していない」が5割半ば。

問34. あなたは地域の活動に参加していますか。(1つに○)

地域の活動への参加の有無を聞いたところ、「積極的に参加」がわずかに2.4%で、「まあ積極的」とあわせても1割程となっている。

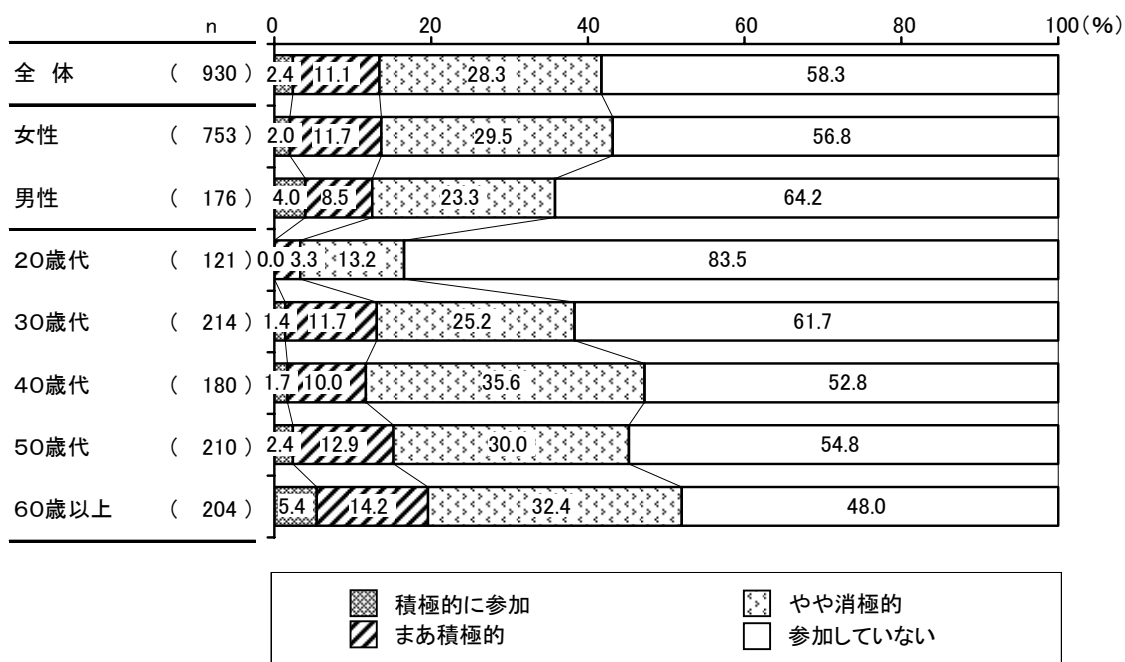
前回調査との推移をみると、「参加していない」が4.6ポイント増加している。地域の活動に消極的な傾向がみられる。

図6-2-1



性別では、男性は女性よりも「参加していない」が7.4ポイント高くなっている。年齢別では、20歳代は「参加していない」が8割以上を占めている。

図6-2-2 性別・年齢別



6-3 農山漁村への旅行

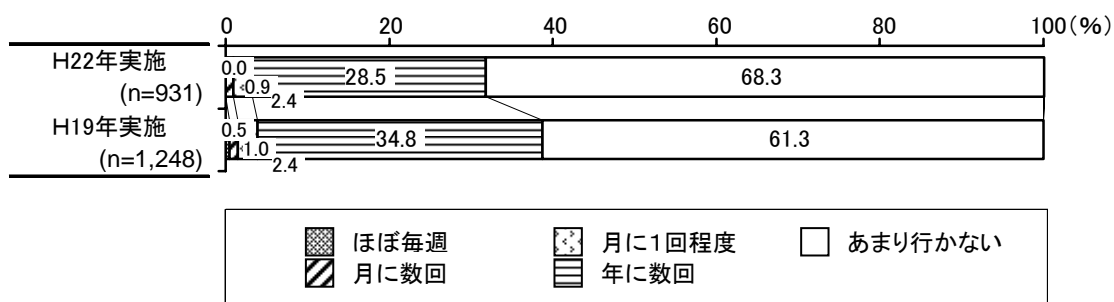
◎ 「あまり行かない」が6割後半。

問35. 旅行やキャンプなどで、家族や友人と農山漁村へ行くことはありますか（1つに○）

家族や友人と農山漁村へ行くことがあるか聞いたところ、「あまり行かない」が68.3%と多くなっている。

前回調査との推移をみると、「年に数回」が6.3ポイント減少している。

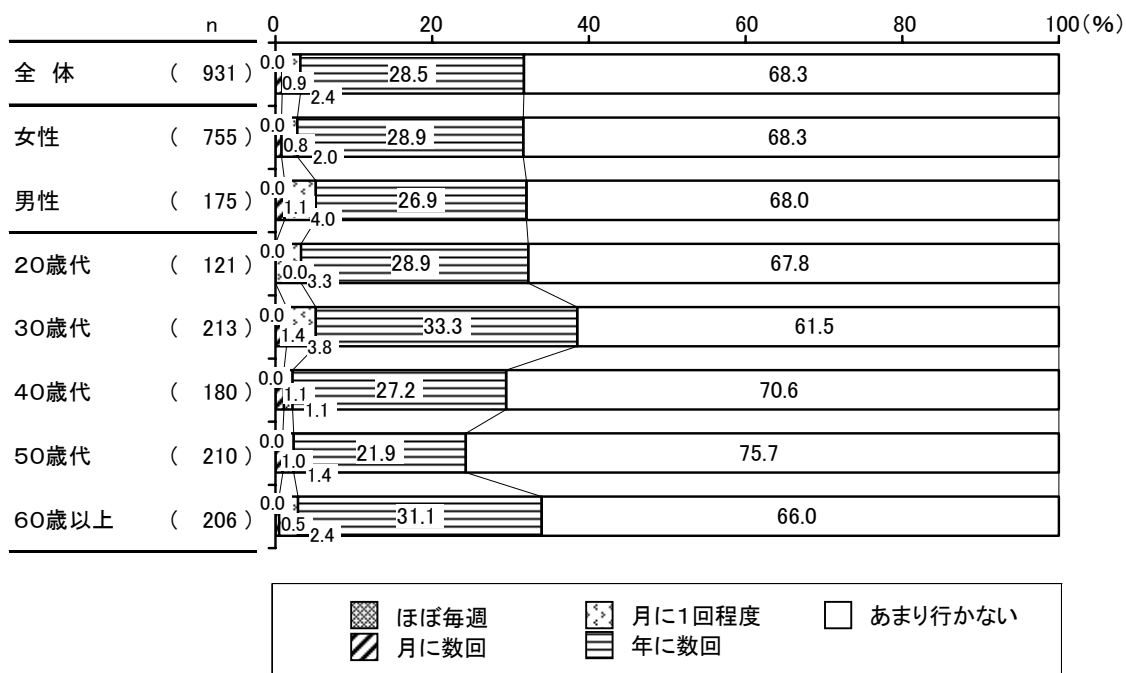
図 6-3-1



性別では、男女間で差はみられない。

年齢別では、30歳代は他の年代と比較して旅行に出かける傾向がみられる。

図 6-3-2 性別・年齢別



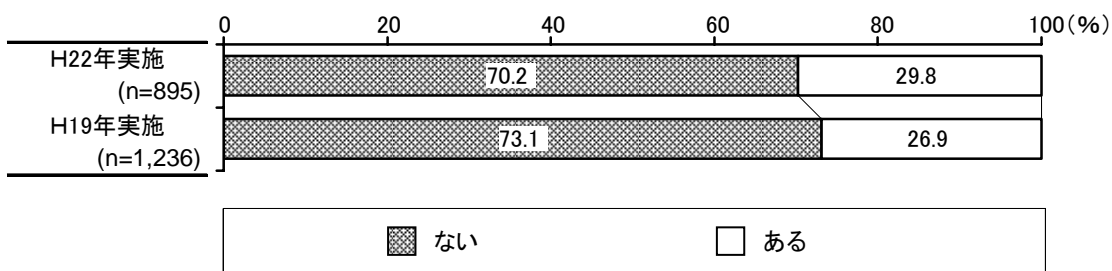
6-4 農作業体験

◎ 「ある」が3割。

問36. あなたは趣味として、野菜や果物の栽培などの農作業をすることはありますか。(1つに〇)

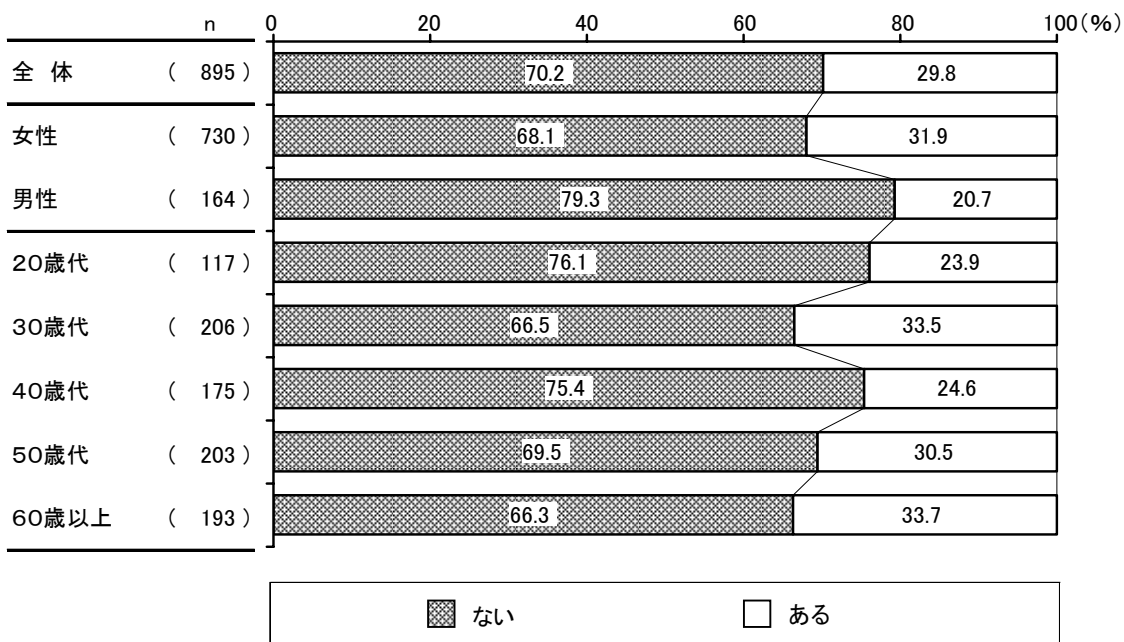
趣味としての農作業体験を聞いたところ、「ある」が29.8%となっている。
 前回調査との推移をみると、若干ではあるが、農作業経験の割合が増加している。

図 6-4-1



性別では、女性は男性よりも「ある」が11.2ポイント高くなっている。
 年齢別では、30歳代と60歳以上は農作業経験の割合が高くなっている。

図 6-4-2 性別・年齢別



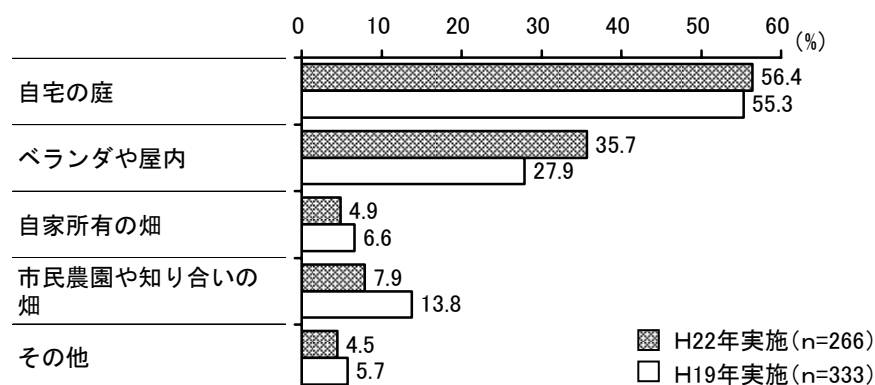
【問36で「ある」と答えた方に対して】

問37. 農作業の場所はどのようなところですか。(該当場所全てに○)

農作業経験者に農作業の場所を聞いたところ、「自宅の庭」が56.4%、次いで、「ベランダや屋内」が35.7%の順となっている。

前回調査との推移をみると、「ベランダや屋内」が7.8ポイント増加している。

図 6-4-3



年齢別では、20歳代や30歳代はベランダや屋内栽培が多く、40歳代以上では自宅の庭での作業が多くなっている。

図 6-4-4 性別・年齢別

	全 体 (人)	(%)				
		自宅 の 庭	ベ ラ ン ダ や 屋 内	自 家 所 有 の 畑	市 民 農 園 や 知 り 合 い の 畑	そ の 他
全 体	226	56.4	35.7	4.9	7.9	4.5
女性	232	58.2	36.6	4.3	7.3	3.9
男性	34	44.1	29.4	8.8	11.8	8.8
20歳代	28	35.7	57.1	14.3	-	10.7
30歳代	69	44.9	49.3	1.4	10.1	2.9
40歳代	43	62.8	37.2	2.3	-	4.7
50歳代	62	67.7	25.8	3.2	11.3	1.6
60歳以上	64	62.5	20.3	7.8	10.9	6.3

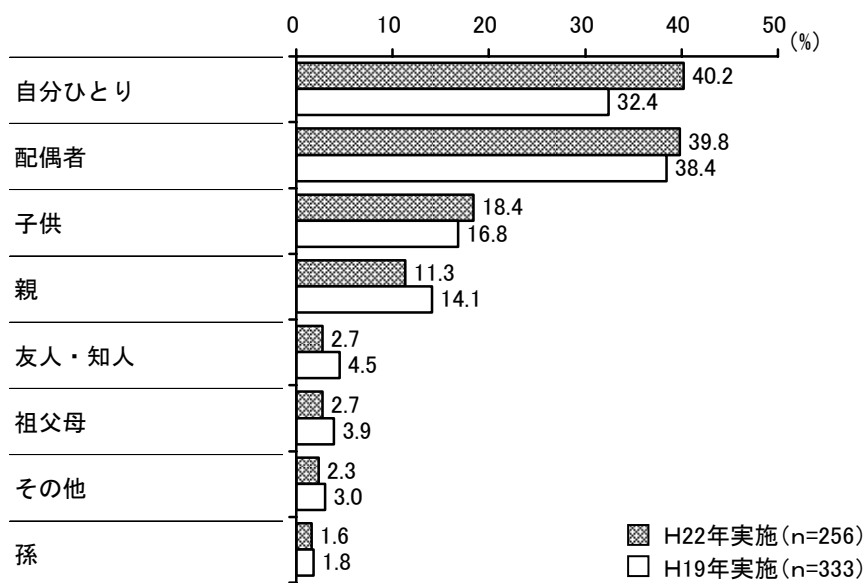
【問36で「ある」と答えた方に対して】

問38. だれと一緒に作業していますか。(該当場所全てに○)

農作業経験者に一緒に作業をする人を聞いたところ、「自分ひとり」が40.2%、次いで、「配偶者」が39.8%の順となっている。

前回調査との推移をみると、「自分ひとり」が7.8ポイント増加している。

図 6-4-5



性別では、男性は「自分ひとり」が多くなっている。

年齢別では、30歳代と40歳代では「子供」が他の年代よりも多くなっている。

図 6-4-6 性別・年齢別

	全体 (人)	配偶者	子供	孫	友人・知人	自分ひとり	親	祖父母	その他
全体	256	39.8	18.4	1.6	2.7	40.2	11.3	2.7	2.3
女性	223	40.4	20.6	0.9	2.7	38.6	11.7	3.1	2.7
男性	33	36.4	3.0	6.1	3.0	51.5	9.1	-	-
20歳代	27	14.8	3.7	-	3.7	44.4	37.0	11.1	11.1
30歳代	66	39.4	43.9	-	3.0	27.3	19.7	6.1	-
40歳代	42	31.0	33.3	-	-	42.9	9.5	-	4.8
50歳代	56	42.9	3.6	-	1.8	50.0	3.6	-	-
60歳以上	65	53.8	1.5	6.2	4.6	41.5	-	-	1.5

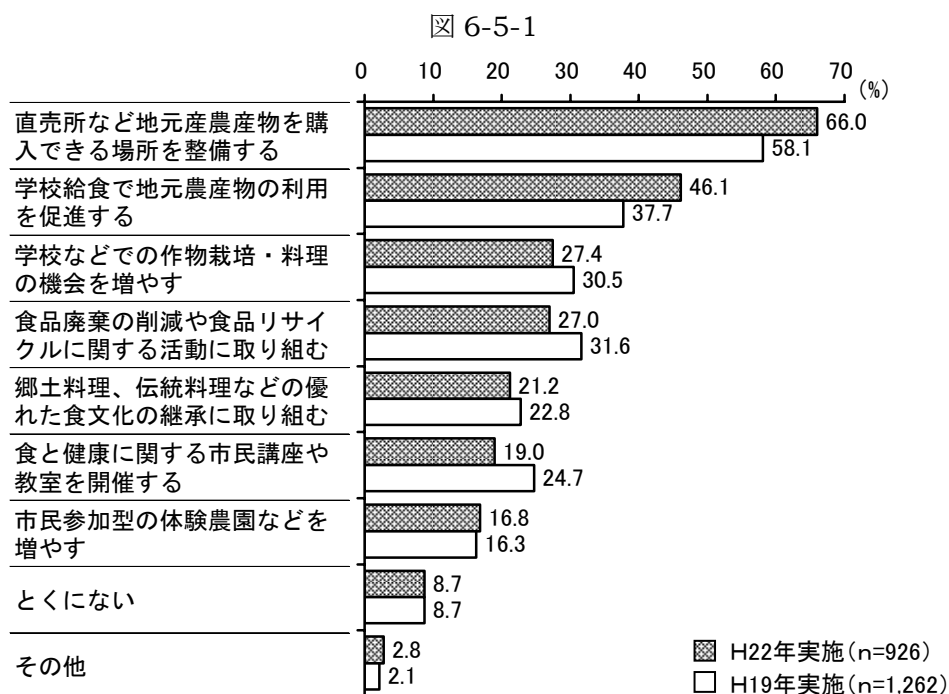
6-5 食育に関して市に期待する施策

◎ 「直売所など地元産農産物を購入できる場所を整備する」が6割半ば。

問39. 食育に関して市に期待する施策は何ですか。(3つまで○)

食育に関して市に期待する施策を聞いたところ、「直売所など地元産農産物を購入できる場所を整備する」が66.0%と最も多く、次いで、「学校給食で地元農産物の利用を促進する」が46.1%の順となっている。

前回調査との推移をみると、「食や健康に関する市民講座や教室を開催する」が5.7ポイント減少している。直売所の整備や学校給食への地元農産物の利用に関する施策が求められている。



第2章. 調査結果の分析

性別では、男女共に「直売所など地元産農産物を購入できる場所を整備する」が6割以上となっていた。次も共に学校給食での地元農作物の利用促進についてポイントが高かった。

年齢別では、20歳代と30歳代は、「学校などでの作物栽培・料理の機会を増やす」が4割で他の年代よりも多くなっている。

図 6-5-2 性別・年齢別

	全体 (人)	食と健康に関する 市民講座	学校給食で地元 農産物の	直売所など地元 産農産物を	市民参加型の 体験農園など	学校などでの 作物栽培・	料理の機会を 増やす	取り組む	食品廃棄物の 削減や食品	優れた食文化 の継承に	郷土料理、伝 統料理などの	とくはない	その他
全体	926	19.0	46.1	66.0	16.8	27.4	27.0	21.2	8.7	2.8			
女性	751	19.0	48.7	67.2	16.2	28.2	28.1	20.5	7.3	2.7			
男性	174	19.0	35.1	60.9	19.5	24.1	22.4	23.6	14.9	3.4			
20歳代	120	17.5	50.8	50.0	17.5	40.8	24.2	25.0	10.8	0.8			
30歳代	215	9.3	53.5	66.0	23.3	41.4	23.3	19.5	3.7	4.2			
40歳代	179	18.4	53.1	68.7	15.6	26.3	32.4	20.1	5.6	2.2			
50歳代	209	21.5	41.1	69.4	16.7	21.1	33.0	23.0	6.7	3.3			
60歳以上	202	28.2	34.7	69.8	10.9	12.4	21.8	19.3	17.8	2.5			

第7節 子供の食育に関する意識

(小学生から18歳以下の子供のいる人が対象)

7-1 子供の食事内容

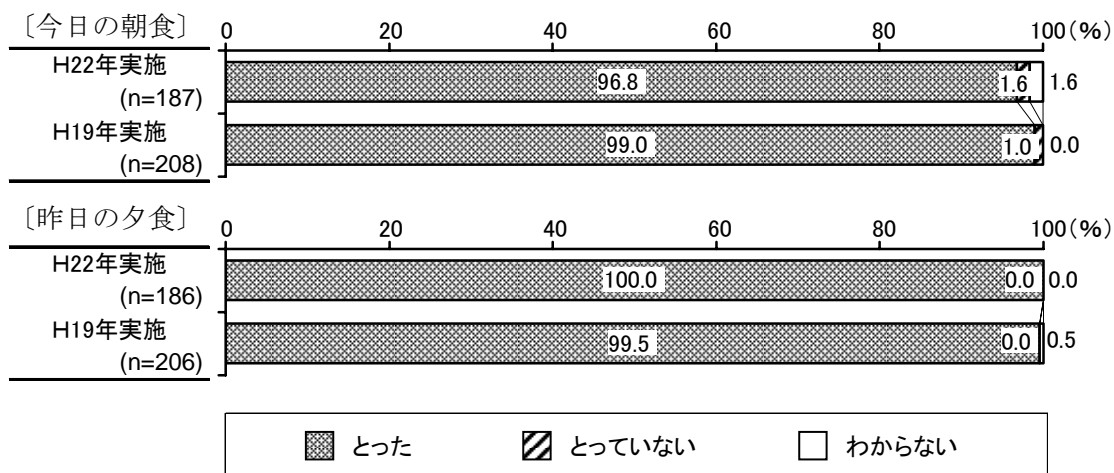
◎ 朝食も夕食も摂取率はほぼ100%。

問48. お子様の食事で、今日の朝食、昨日の夕食についておうかがいます。
(それぞれ1つに○)

朝食の摂取および夕食の摂取を聞いたところ、朝食は9割半ばの摂取率、夕食は100%の摂取率となっている。

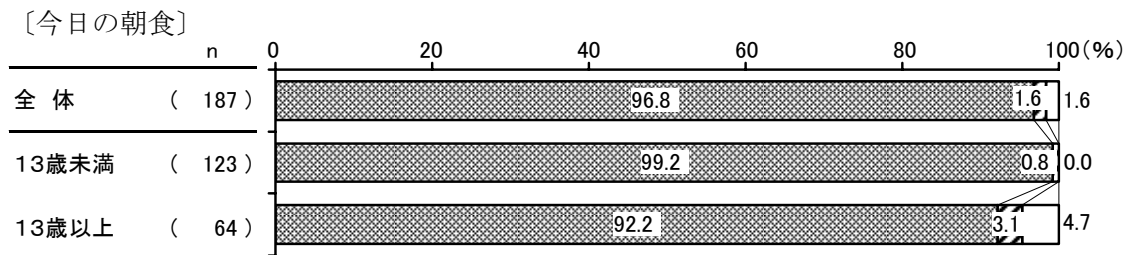
前回調査との推移をみると、朝食の摂取率は若干減少したが、夕食の摂取率は変わっていない。

図7-1-1



子供の年齢別では、13歳未満の朝食摂取率は13歳以上よりも、7.0ポイント高くなっている。

図7-1-2 子供の年齢別



子供の朝食の内容について自由記述で聞いた。ただし、複数の子供を有する家庭においては、一番年下の子供の食事内容に限定した。

当日の朝食の内容では、親が40歳未満と40歳以上の両世代において、パン類、ご飯、牛乳、フルーツが上位5位となっている。親が40歳未満では、卵の調理方法が玉子焼きや目玉焼き、ゆで玉子であるのに対して、親が40歳以上ではスクランブルエッグやベーコンエッグ、オムレツ等バラエティ豊かである。また、野菜いためや肉料理等が確認できることから、親が40歳以上は手間をかけたメニューを出しているといえる。

図7-1-3 食の個別品目（2件以上のみ）

〔今日の朝食〕

親が40歳未満				親が40歳以上			
	内容	件数	比率		内容	件数	比率
1	パン類	20	37.74%	1	パン類	51	37.50%
2	お茶	18	33.96%	2	ご飯	45	33.09%
3	牛乳	16	30.19%	3	牛乳	43	31.62%
4	ご飯	15	28.30%	4	フルーツ	33	24.26%
5	フルーツ	15	28.30%	5	ヨーグルト	28	20.59%
6	野菜・サラダ	13	24.53%	6	お茶	26	19.12%
7	ヨーグルト	11	20.75%	7	野菜・サラダ	24	17.65%
8	ウィンナー	11	20.75%	8	味噌汁	22	16.18%
9	おにぎり	9	16.98%	9	ウィンナー	14	10.29%
10	味噌汁	7	13.21%	10	スープ	11	8.09%
11	玉子焼き	6	11.32%	11	スクランブルエッグ	11	8.09%
12	目玉焼き	5	9.43%	12	ジュース	9	6.62%
13	納豆	5	9.43%	13	目玉焼き	8	5.88%
14	ジュース	4	7.55%	14	ゆで卵	8	5.88%
15	ゆで卵	4	7.55%	15	玉子焼き	7	5.15%
16	キムチ	4	7.55%	16	乳酸飲料	7	5.15%
17	スープ	3	5.66%	17	野菜いため	7	5.15%
18	のり（佃煮）	3	5.66%	18	おにぎり	6	4.41%
19	ベーコンエッグ	3	5.66%	19	納豆	6	4.41%
20	揚げ物	3	5.66%	20	野菜ジュース	6	4.41%
21	乳酸飲料	2	3.77%	21	キムチ	5	3.68%
22	サンドイッチ	2	3.77%	22	サンドイッチ	4	2.94%
23	梅干し	2	3.77%	23	のり（佃煮）	3	2.21%
24	水	2	3.77%	24	ベーコンエッグ	3	2.21%
25	ソーセージ	2	3.77%	25	チャーハン	3	2.21%
26	お茶漬	2	3.77%	26	ふりかけ	3	2.21%
27	チーズ	2	3.77%	27	漬け物	3	2.21%
				28	肉料理	3	2.21%
				29	ベーコン	3	2.21%
				30	梅干し	2	1.47%
				31	水	2	1.47%
				32	ソーセージ	2	1.47%
				33	魚	2	1.47%
				34	コーヒー カフェオレ 紅茶	2	1.47%
				35	煮物	2	1.47%
				36	オムレツ	2	1.47%
				37	コーンフレーク	2	1.47%

※ Kendall's τの順位相関係数=0.58 (1%有意)

〔順位相関係数については
62 ページ参照〕

第2章. 調査結果の分析

前日の夕食の内容では、親が40歳未満と40歳以上の両世代において、野菜・サラダ、ご飯、味噌汁が上位3位となっている。野菜・サラダが1番多く、煮物(野菜)が7番目に多くなっていることから、健康を気遣い野菜を多く摂取できる食事内容となっているといえる。親が40歳以上ではキンピラやハンバーグ、シュウマイ等親が40歳未満よりもバラエティのあるメニューを出している。

なお、両世代間のケンドールの順位相関係数は、二つの順位(40歳未満と40歳以上)の間の相関の強さを表すものである。朝食の世代間の係数がR=0.58、夕食の係数がR=0.73となり、両世代ともおおむね似たような品目が出されていることが確認された。

図7-1-4 食の個別品目(2件以上のみ)

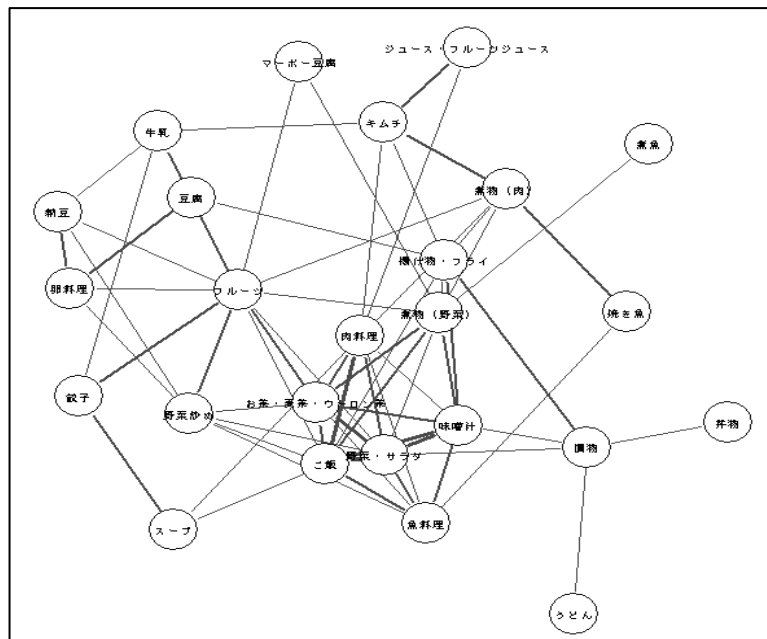
[昨日の夕食]

親が40歳未満				親が40歳以上			
	内容	件数	比率		内容	件数	比率
1	野菜・サラダ	37	69.81%	1	野菜・サラダ	89	65.44%
2	ご飯	29	54.72%	2	ご飯	80	58.82%
3	味噌汁	21	39.62%	3	味噌汁	45	33.09%
4	お茶・麦茶・ウーロン茶	19	35.85%	4	肉料理	44	32.35%
5	肉料理	15	28.30%	5	お茶・麦茶・ウーロン茶	36	26.47%
6	魚料理	12	22.64%	6	魚料理	27	19.85%
7	煮物(野菜)	7	13.21%	7	煮物(野菜)	19	13.97%
8	フルーツ	7	13.21%	8	フルーツ	19	13.97%
9	野菜炒め	6	11.32%	9	漬物	17	12.50%
10	漬物	5	9.43%	10	豆腐	17	12.50%
11	揚げ物・フライ	5	9.43%	11	野菜炒め	11	8.09%
12	スープ	5	9.43%	12	牛乳	11	8.09%
13	牛乳	4	7.55%	13	納豆	11	8.09%
14	餃子	4	7.55%	14	揚げ物・フライ	10	7.35%
15	焼き魚	3	5.66%	15	カレーライス	10	7.35%
16	キムチ	3	5.66%	16	お刺身	10	7.35%
17	お寿司	3	5.66%	17	焼き魚	9	6.62%
18	豆腐	2	3.77%	18	煮物(肉)	9	6.62%
19	納豆	2	3.77%	19	スープ	8	5.88%
20	カレーライス	2	3.77%	20	キムチ	8	5.88%
21	煮物(肉)	2	3.77%	21	餃子	7	5.15%
22	卵料理	2	3.77%	22	卵料理	7	5.15%
23	ジュース・フルーツジュース	2	3.77%	23	ジュース・フルーツジュース	6	4.41%
24	煮魚	2	3.77%	24	煮魚	5	3.68%
25	丼物	2	3.77%	25	丼物	5	3.68%
26	うどん	2	3.77%	26	水	5	3.68%
27	マーボー豆腐	2	3.77%	27	海苔・海草	3	2.21%
				28	お好み焼き	3	2.21%
				29	ヨーグルト	3	2.21%
				30	キンピラ	3	2.21%
				31	ハム・ベーコン	3	2.21%
				32	ハンバーグ	3	2.21%
				33	お寿司	2	1.47%
				34	シュウマイ	2	1.47%
				35	パスタ	2	1.47%
				36	ハヤシライス	2	1.47%

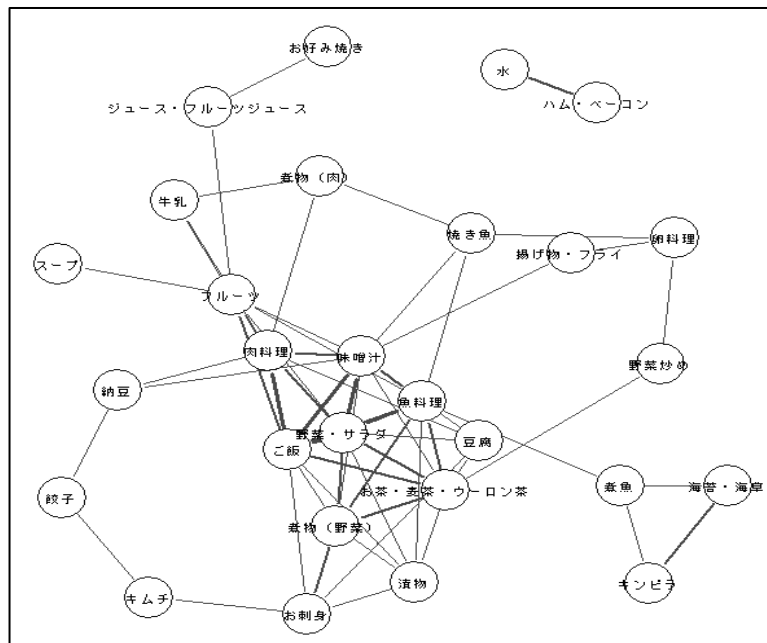
※ケンドールの順位相関係数=0.73 (1%有意)

図は夕食メニューを関連性の強いもの同士を近くにマッピング*) したものである。これを見ると、どちらの世代も「ご飯」と「味噌汁」、「野菜・サラダ」、「肉料理」、「お茶・麦茶・ウーロン茶」というように、「ご飯」を中心とした組み合わせが多くなっている。逆に「パン類」は、両世代とも入っていないことから、「パン類」は朝食に食べるものという考え方が確立されていることがわかる。また、栄養のバランス面をみても、どちらの世代とも「ご飯」と「肉料理」と「野菜・サラダ」が定番の組み合わせとなっていることから、比較的栄養バランスを考慮しているといえる。

親が 40 歳未満



親が 40 歳以上



*) マッピング

「スプリングモデル・シミュレーション」という手法で作成される。

従来の相関図同様、自由記入方式の回答データからキーワード単語のみを取り出し、単語の出現頻度や、特定の単語との相関関係を分析し、その関連性をバネに見立て、全てのバネの引力を釣り合う位置に配置する手法である。

よって、この相関図では、朝食あるいは夕食として組み合わせられる品目において、ある家庭で同時に出される品目同士は近い場所に配置され、その度数（同時に出す家庭）が多いほど線が太くなる。

7-2 一緒に食事を食べる人

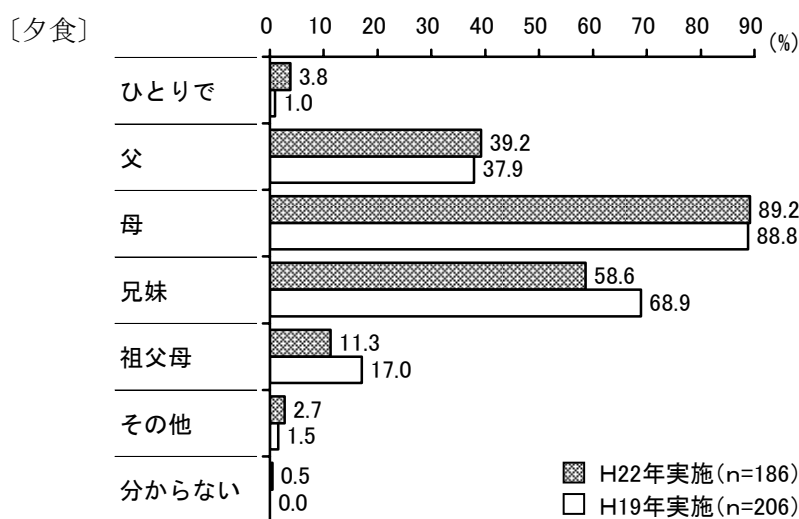
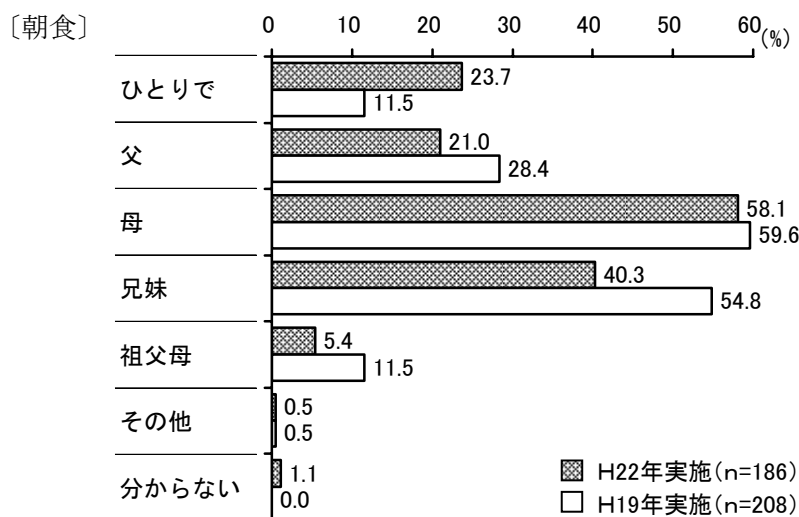
◎ 一緒に食事を食べるのは母親。

問49. そのお子様は誰と一緒に食べていましたか。(それぞれ該当する者全てに○)

朝食及び夕食時に一緒に食事をする人を聞いたところ、朝食は「母」が 58.1%、「兄妹」が 40.3%、「ひとりで」が 23.7%の順となっている。夕食は「母」が 89.2%、「兄妹」が 58.6%、「父」が 39.2%の順となっている。

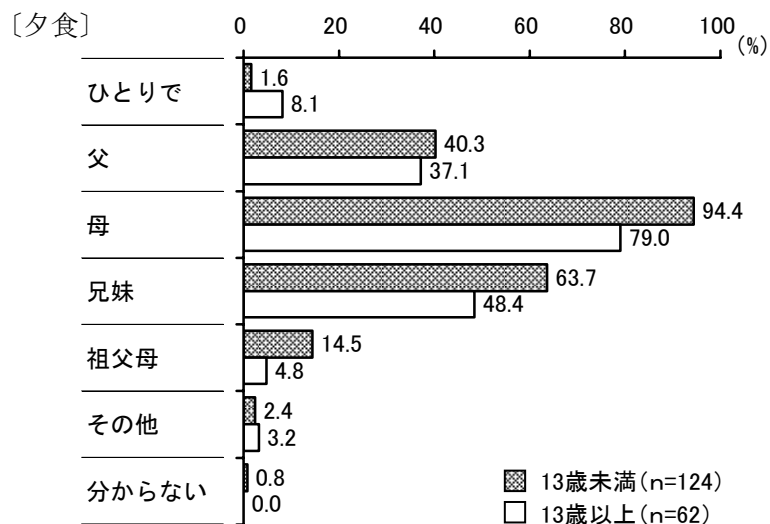
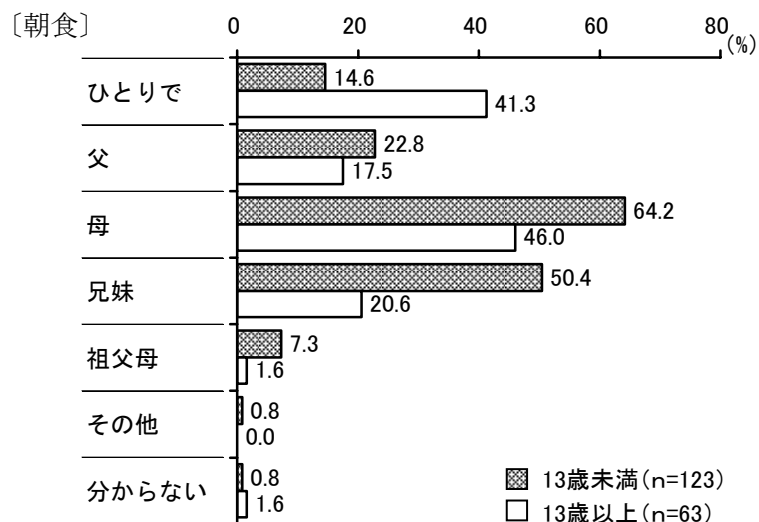
前回調査との推移をみると、朝食・夕食ともに母親と食事をする割合に変化はみられない。しかし、朝食においては「ひとりで」が 12.2 ポイント増加している。家族と一緒に食事をするよりもひとりで食事する傾向が増加しているといえる。

図 7-2-1



子供の年齢別では、13歳未満は朝食・夕食を家族と一緒にとっている。一方、13歳以上は、夕食を家族と一緒にとるが、朝食はひとりでとる傾向がみられる。

図 7-2-2 子供の年齢別



7-3 食事場所

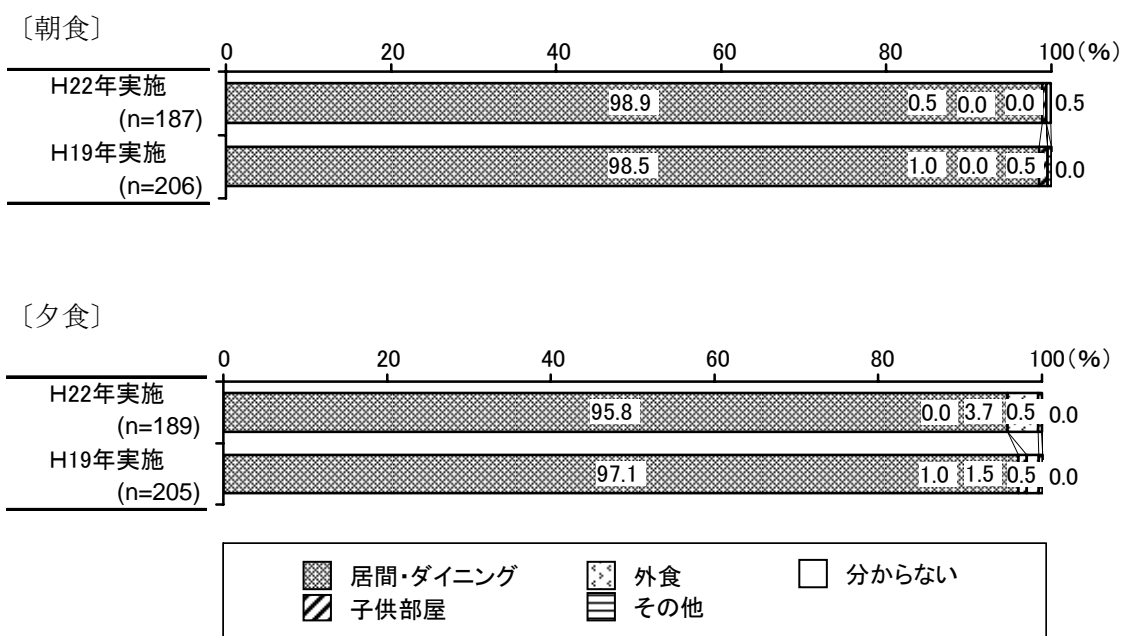
◎ 朝食も夕食も「居間・ダイニング」が9割後半。

問50. そのお子様はどこで食べていましたか。(それぞれ1つに○)

朝食及び夕食時の食事場所を聞いたところ、朝食・夕食ともに「居間・ダイニング」が最も多くなっている。

前回調査との推移をみると、朝食は前回との差がみられないが、夕食は「外出」が2.2ポイント増加している。

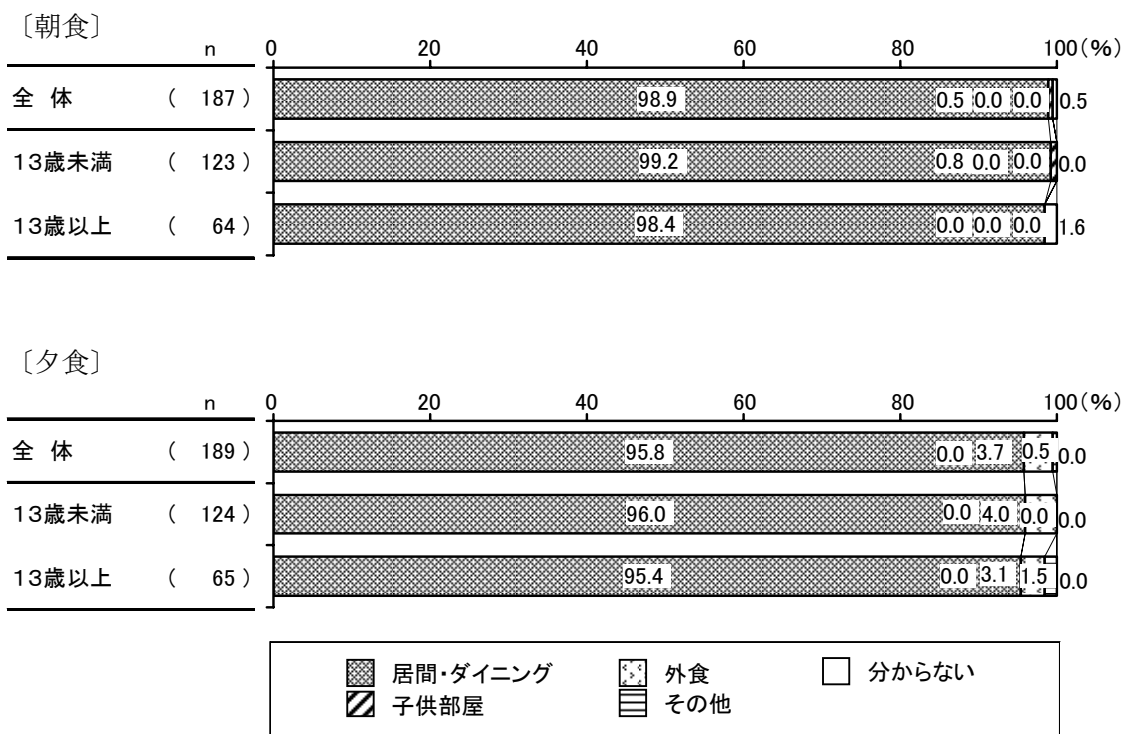
図 7-3-1



第2章. 調査結果の分析

子供の年齢別では、13歳未満も13歳以上も「居間・ダイニング」で朝食をとっている。夕食は「居間・ダイニング」が9割半ばを占めているが、「外食」の割合も多くなっている。

図 7-3-2 子供の年齢別



7-4 食事時間

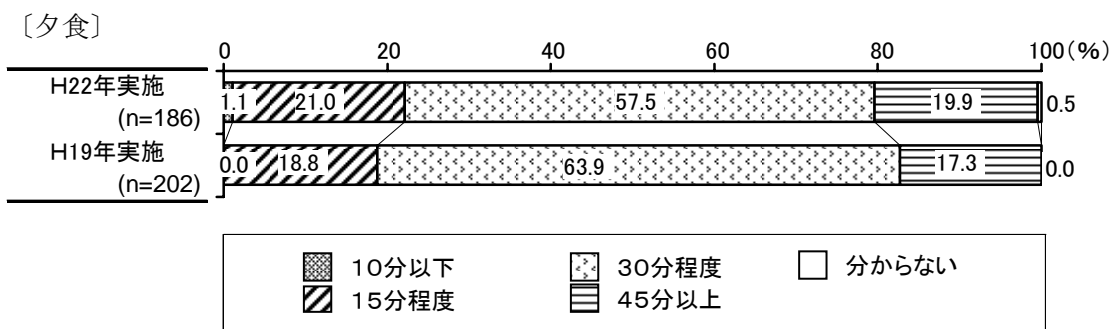
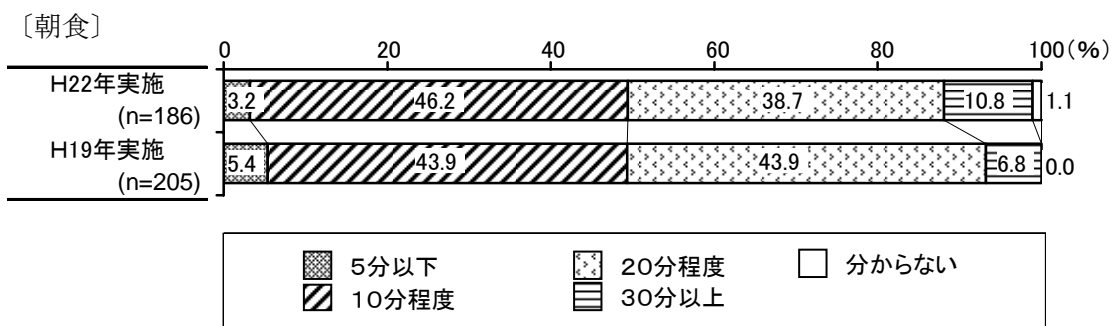
◎ 朝食は「10分程度」が4割半ば、夕食は「30分程度」が5割半ば。

問51. どの程度時間をかけていましたか。(それぞれ1つに○)

朝食及び夕食にかける時間を聞いたところ、朝食は「10～20分程度」が84.9%、夕食は「30分程度」が57.5%となっている。

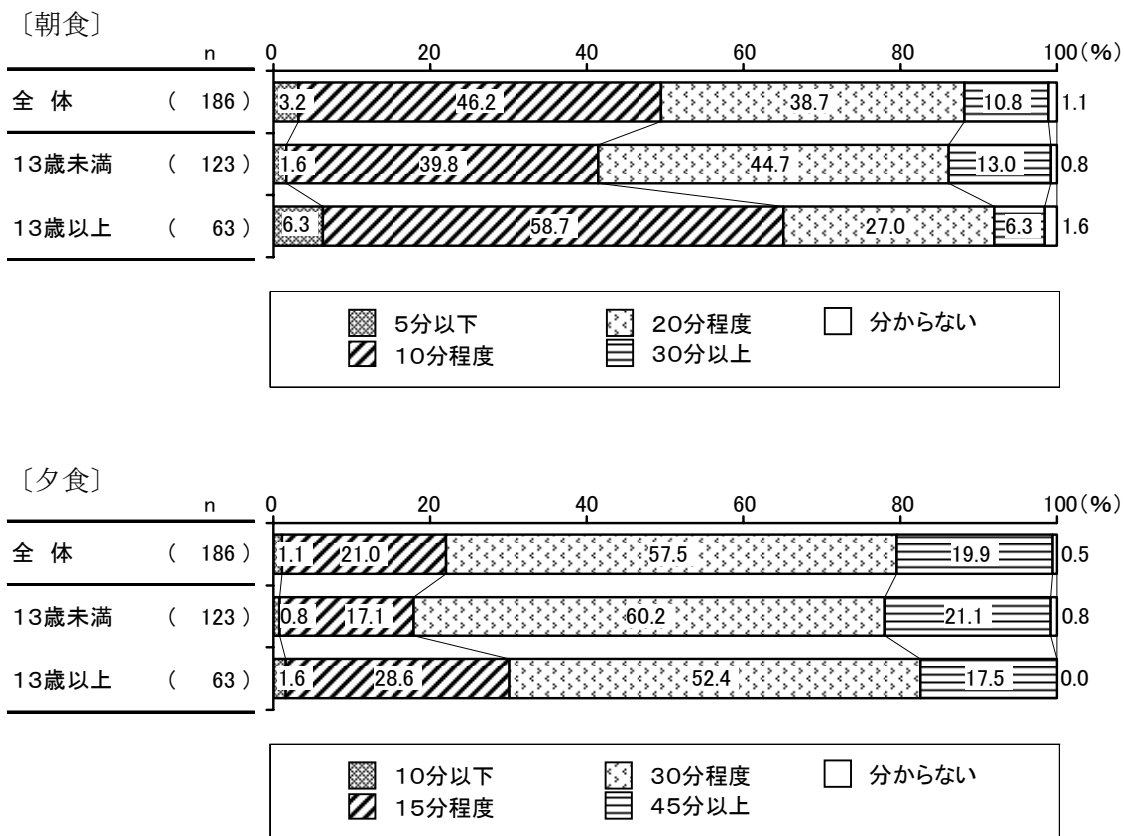
前回調査との推移をみると、朝食は「30分以上」が4.0ポイント増加している。夕食は「30分程度」が6.4ポイント減少し、「15分程度」が2.2ポイント、「45分以上」が2.6ポイント増加している。

図 7-4-1



子供の年齢別では、13歳未満は朝食も夕食も時間をかけて食べる傾向がみられる。13歳以上は、朝食において「10分程度」が半数以上を占め、13歳未満よりも18.9ポイント高く、夕食においても「15分程度」が11.5ポイント高くなっている。13歳以上では13歳未満より食事にかかる時間が短い傾向がみられる。

図 7-4-2 子供の年齢別



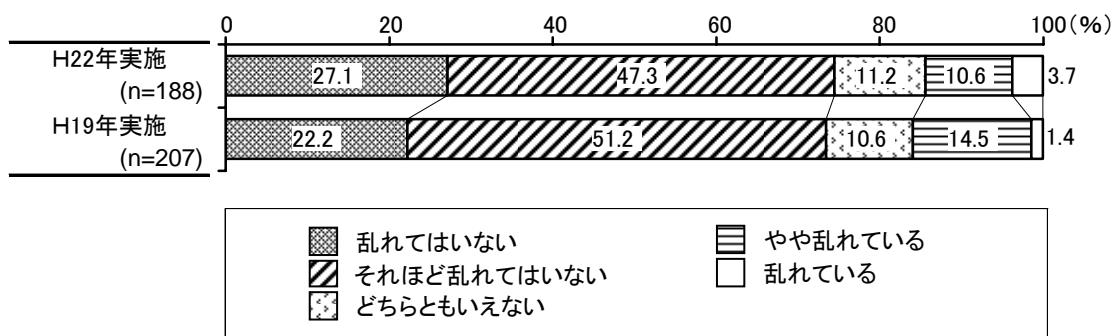
7-5 子供の食生活の乱れ

◎ 「乱れていない」が7割半ば。「好き嫌いの激しさ」が乱れの原因。

問52. あなたのお子様の食は乱れているとお考えですか。(1つに○)

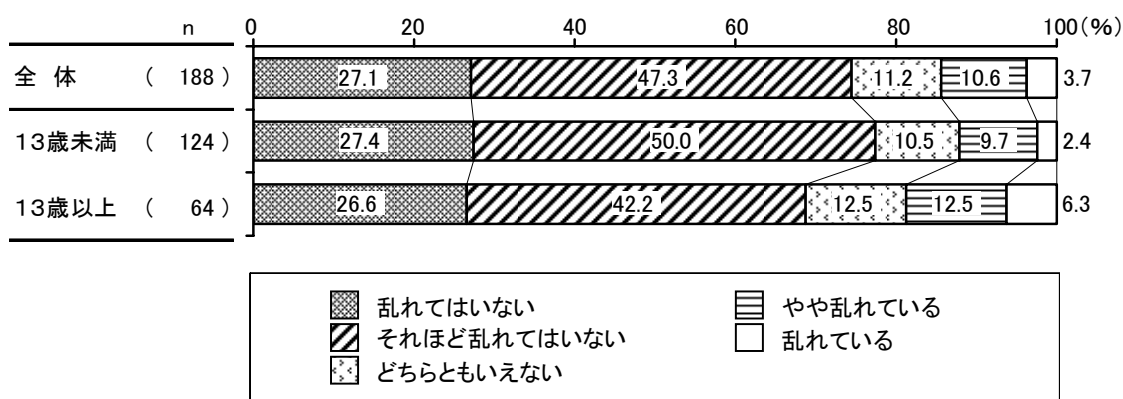
子供の食事の乱れを聞いたところ、「それほど乱れていない」が47.3%で、「乱れてはいない」を合わせると74.4%が規則正しい食生活をしていると考えている。前回調査との推移をみると、『乱れていない』と考える割合に差はみられない。

図 7-5-1



子供の年齢別では、13歳以上は13歳未満よりも『乱れている』が6.7ポイント高くなっている。

図 7-5-2 子供の年齢別



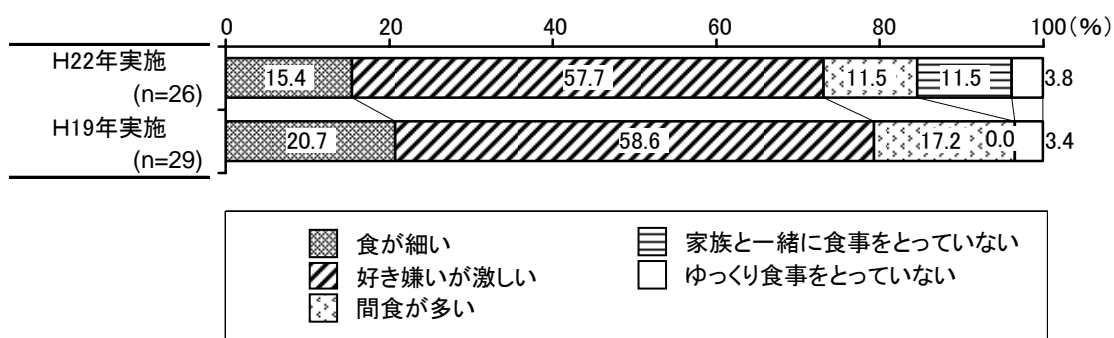
【問52で「やや乱れている」「乱れている」と答えた方に対して】

問53. どのような点で食事の乱れを感じていますか。(1つに〇)

乱れていると感じる理由を聞いたところ、「好き嫌いが激しい」が半数以上を占めている。

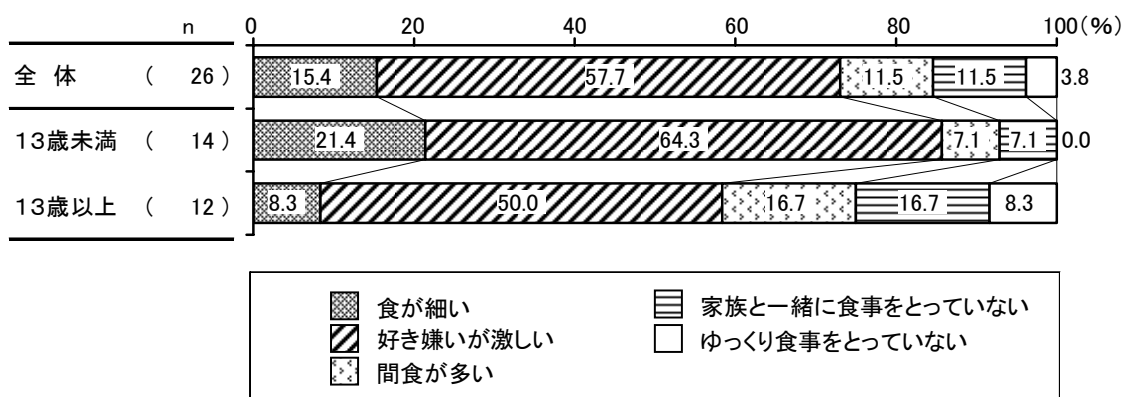
前回調査との推移をみると、「家族と一緒に食事をとっていない」が11.5ポイント増加している。

図 7-5-3



子供の年齢別では、13歳未満は13歳以上よりも「好き嫌いが激しい」が14.3ポイント、「食が細い」が13.1ポイント高く、13歳以上は13歳未満よりも「間食が多い」と「家族と一緒に食事をとっていない」がそれぞれ9.6ポイント高くなっている。

図 7-5-4 子供の年齢別

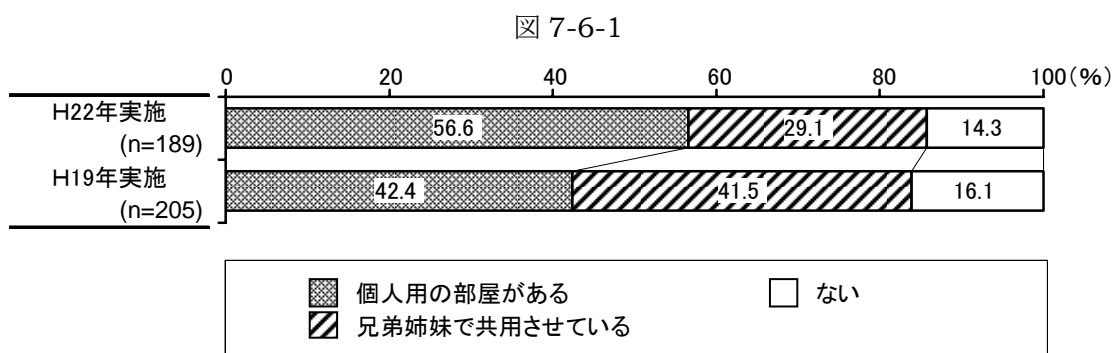


7-6 子供部屋の有無

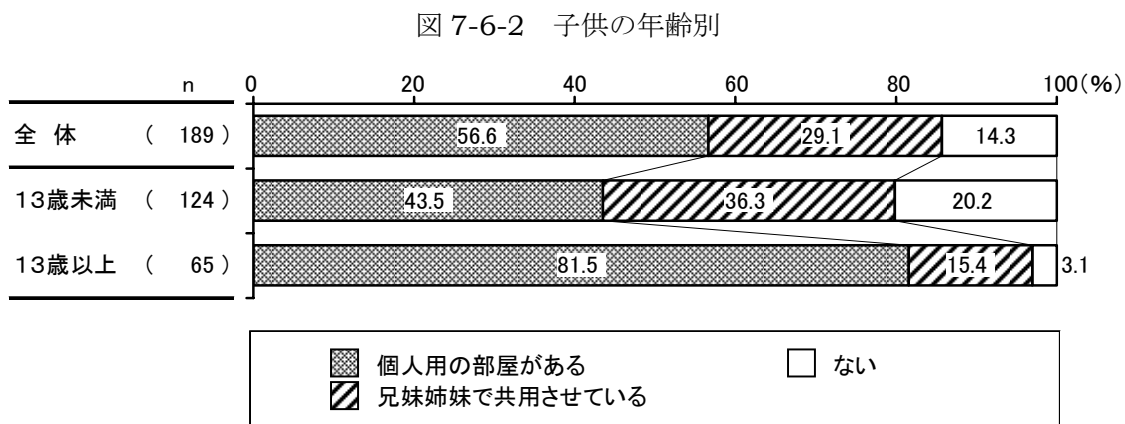
◎ 「個人用の部屋がある」が5割半ば。

問54. 子供部屋はありますか。(1つに〇)

子供部屋の所有を聞いたところ、「個人用の部屋がある」が56.6%となっている。前回調査との推移をみると、「個人用の部屋がある」は14.2ポイント増加している。兄弟姉妹で部屋を共有するよりも、ひとり部屋を所有する傾向が増加しているとみられる。



子供の年齢別では、13歳以上の個室率が高くなっている。



7-7 子供の心身の状態

◎ 心身の状態は9割が良好。

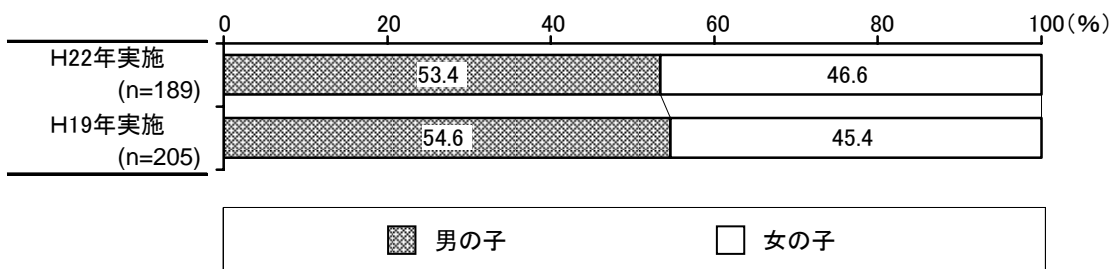
問55. お子様の心身の状態をお聞かせ下さい。(1つに○)

子供の健康状態について、体の状態は9割以上が『良好』となっている。心の状態についても「特に問題はない」が8割となっている。前回調査との推移をみると、「落ち着きがない」が6.0ポイント減少している。

虫歯になった時には、「すぐに治療する」が9割で、前回調査よりも増加傾向がみられる一方、虫歯以外では歯科定期健診に行かない割合は半数を占めている。

*性別

図 7-7-1



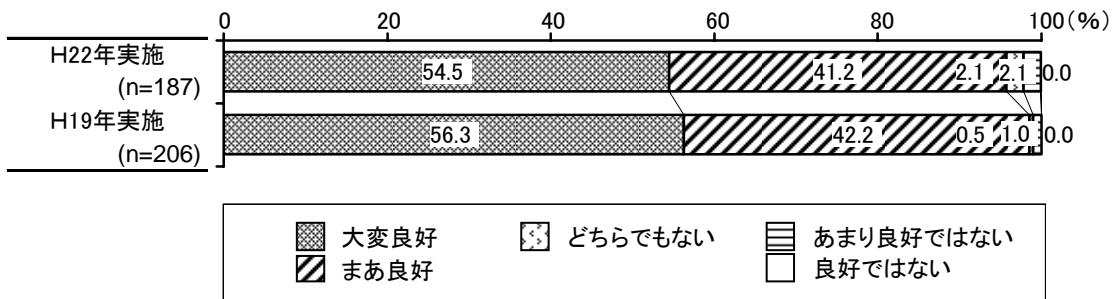
*年齢・身長・体重 の平均値

図 7-7-2

	H22年実施	H19年実施
・年齢 (歳)	11.2	9.4
・身長 (c m)	144.9	134.9
・体重 (k g)	38.9	31.7

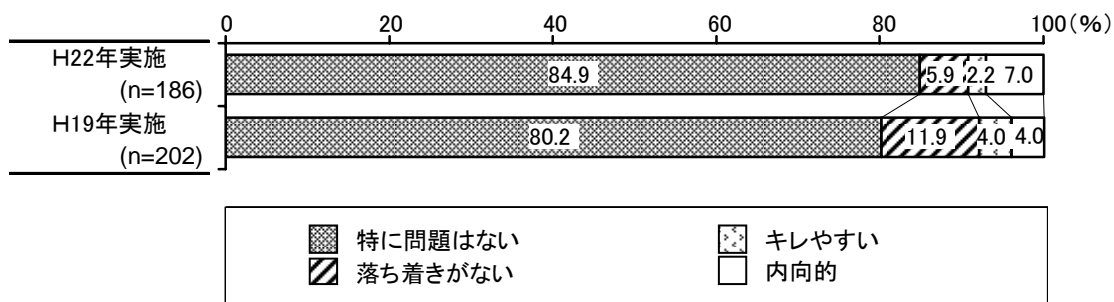
*体の状態

図 7-7-3



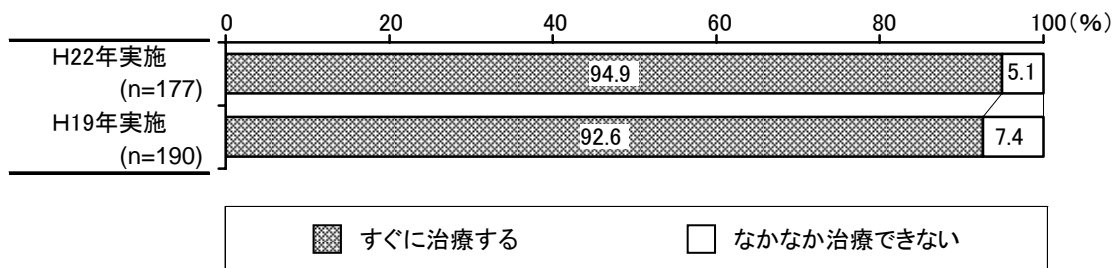
*心の状態

図 7-7-4



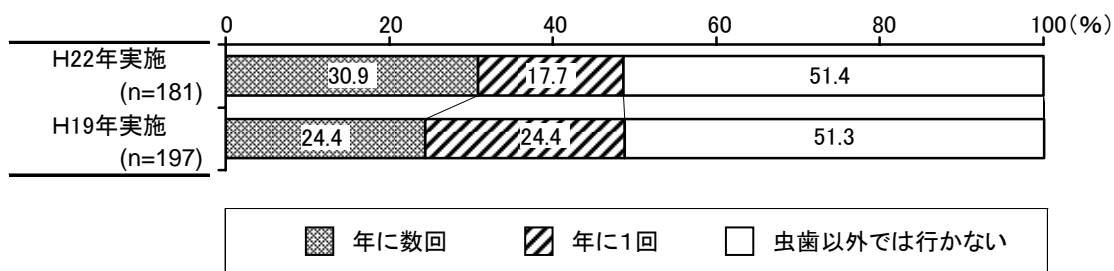
虫歯になった時

図 7-7-5



*学校以外での歯科定期健診

図 7-7-6



7-8 食べ過ぎの規制

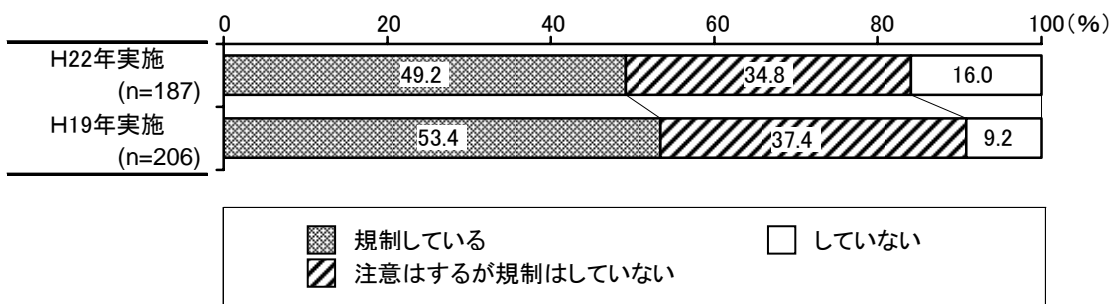
◎ ジャンクフードの規制は約5割。

問56. インスタントラーメンや炭酸飲料、菓子類の食べ過ぎを規制していますか。(1つに〇)

ジャンクフードの規制の有無を聞いたところ、「規制している」が49.2%となっている。

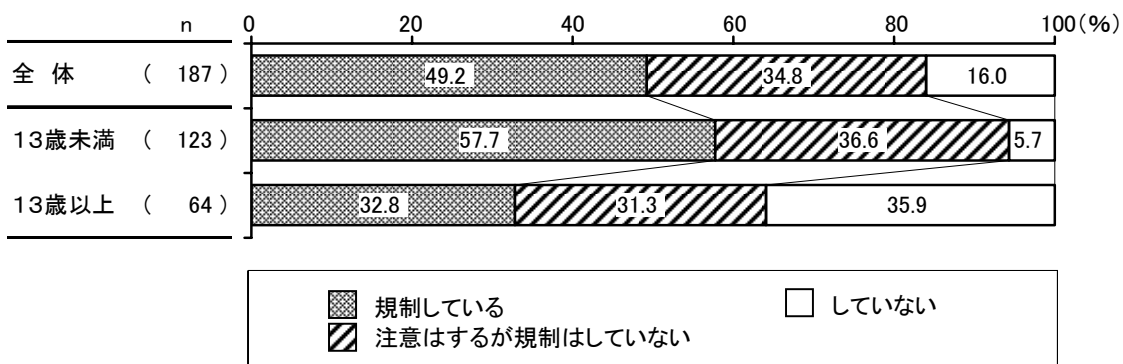
前回調査との推移をみると、「規制している」は4.2ポイント減少し、「していない」が6.8ポイント増加している。ジャンクフードに対する規制が減少している。

図 7-8-1



子供の年齢別では、13歳未満の規制率は5割以上であるが、13歳以上では、規制していない割合が高くなり、個人にゆだねられている傾向がみられる。

図 7-8-2 子供の年齢別



7-9 テレビ・漫画・ゲームの規制

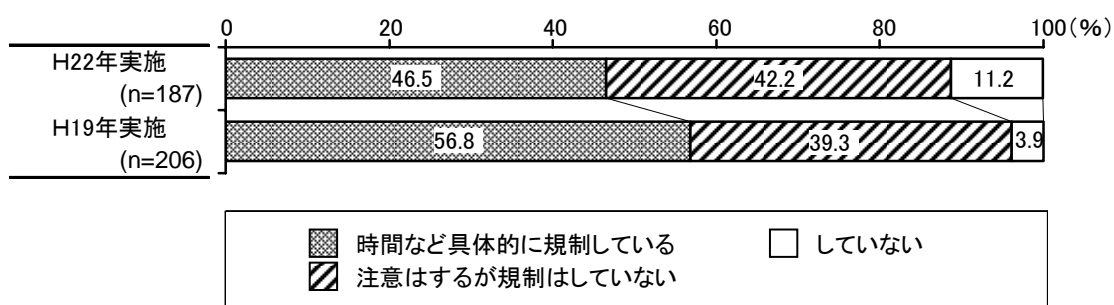
◎ 「規制している」が4割半ば。

問57. テレビや漫画、ゲームについての規制をしていますか。(1つに〇)

テレビや漫画、ゲームの規制の有無を聞いたところ、「時間など具体的に規制している」が46.5%となっている。

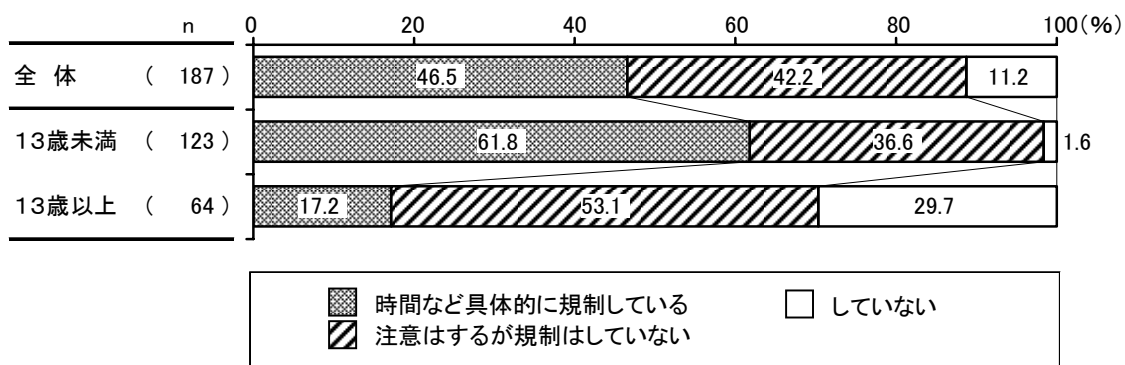
前回調査との推移をみると、「時間など具体的に規制している」が10.3ポイント減少し、「していない」が7.3ポイント増加している。

図 7-9-1



子供の年齢別では、13歳未満の規制率は6割以上と高いが、13歳以上ではわずか1割となっている。規制していない割合も13歳以上では高く、年齢による対応の違いがみられる。

図 7-9-2 子供の年齢別



7-10 子供の就寝時刻と起床時刻

◎ 就寝時刻は「21時43分」、起床時刻は「6時33分」。

問58. お子様の就寝時刻と起床時刻をお聞きします

子供の就寝時刻と起床時刻を聞いたところ、前回調査との推移をみると、就寝時刻は約20分遅くなり、起床時刻は約10分早くなっている。

※平均	(H19実施)
・就寝時刻 : 21時43分	21時25分
・起床時刻 : 6時33分	6時45分

子供の年齢別では、13歳未満と13歳以上で起床時間に差はみられないが、就寝時刻では1時間弱の差がみられる。

図7-10-1 子供の年齢別 (平均の時刻)

	就寝時刻	起床時刻
全 体	21時43分	6時33分
13歳未満	21時19分	6時34分
13歳以上	22時08分	6時31分

7-11 家事への参加状況

◎ 調理の参加率は4割、準備・後片付けの参加率は8割半ば。

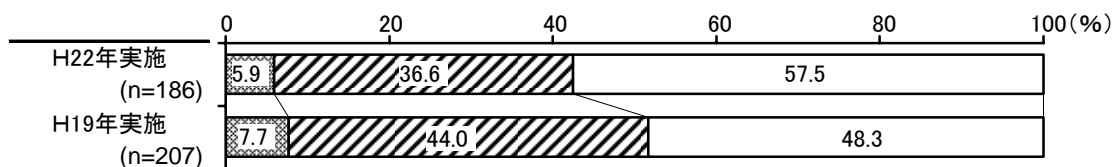
問59. お子様の家事への参加状況をお教え下さい。(それぞれ1つに○)

子供の家事への参加状況を聞いたところ、調理では、「していない」が5割以上を占める一方、準備・後片付けでは8割以上が手伝いをしている。

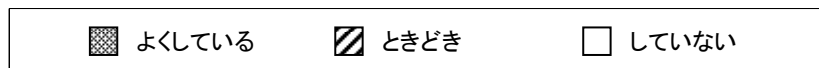
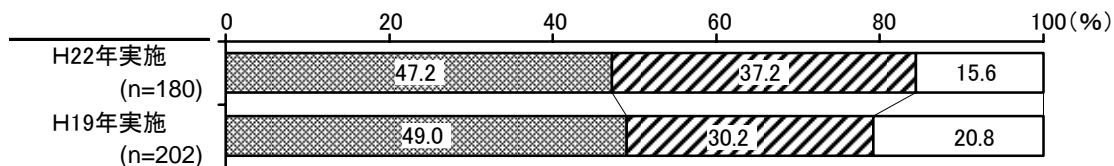
前回調査との推移をみると、調理での家事参加率は9.2ポイント減少し、準備・後片付けでの家事参加率は5.2ポイント増加している。

図 7-11-1

[調理]



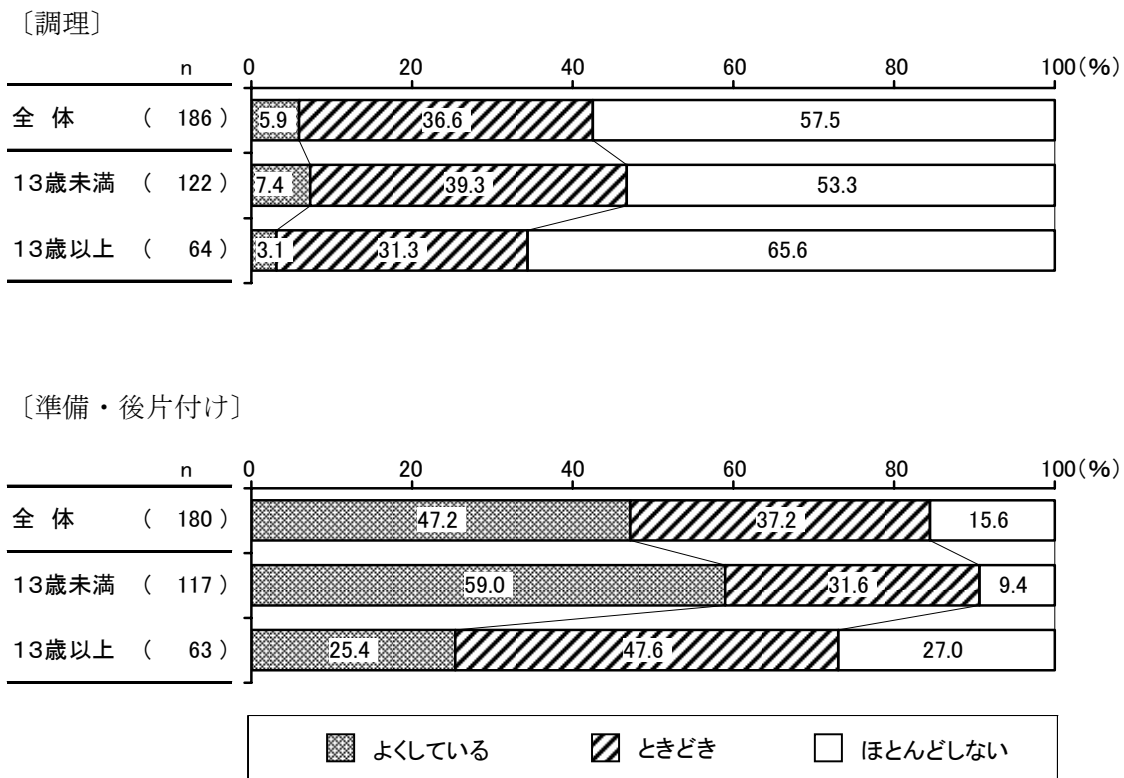
[準備・後片付け]



第2章. 調査結果の分析

子供の年齢別では、調理では、13歳未満の参加率が4割半ばであるのに対して、13歳以上は3割半ばとなっている。準備・後片付けでは、13歳未満は約6割が積極的に参加しているのに対して、13歳以上は参加率が低くなっている。

図 7-11-2 子供の年齢別



7-12 外食の頻度

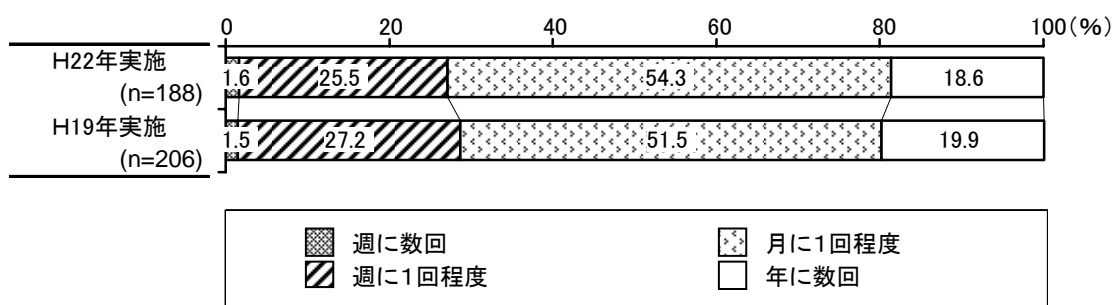
◎ 「月に1回程度」が5割半ば。

問60. お子様と一緒に外食をされる頻度についてお聞かせ下さい。(1つに○)

子供との外食する頻度を聞いたところ、「月に1回程度」が54.3%と多くなっている。

前回調査との推移をみると、大きな差はみられない。

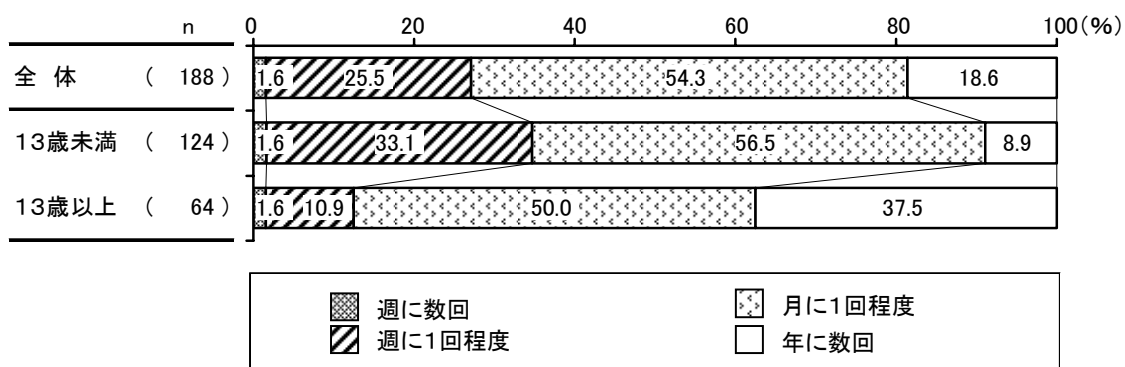
図 7-12-1



子供の年齢別では、13歳未満は13歳以上と比較して「週に1回程度」外食する割合が22.2ポイント高くなっている。

13歳以上は家族と一緒に外食しない傾向がみられる。

図 7-12-2 子供の年齢別



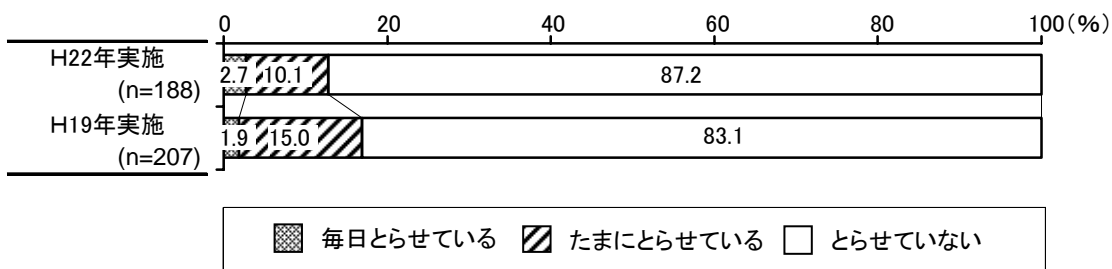
7-13 サプリメントの摂取

◎ 「とらせていない」が8割半ば。

問6 1. ビタミン剤などのサプリメント類をお子様にとらせていますか。(1つに〇)

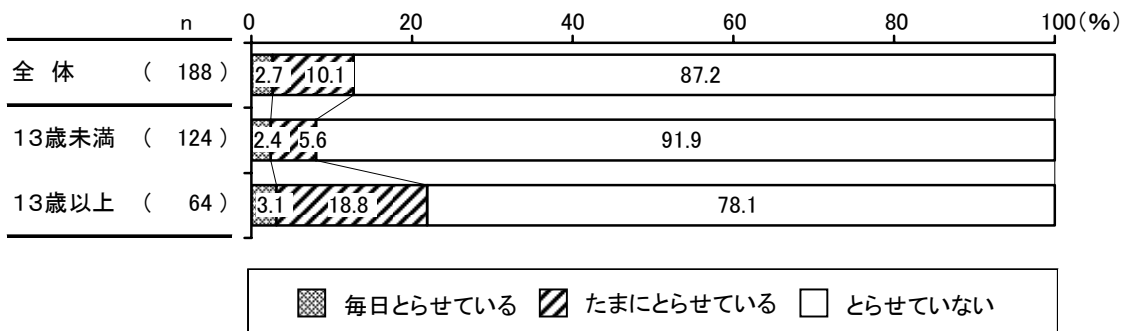
サプリメントの摂取を聞いたところ、「とらせていない」が87.2%となっている。前回調査との推移をみると、「とらせていない」が4.1ポイント増加している。

図 7-13-1



子供の年齢別では、13歳以上の摂取率は13歳未満よりも13.9ポイント高くなっている。

図 7-13-2 子供の年齢別



7-14 学校給食で希望する食材

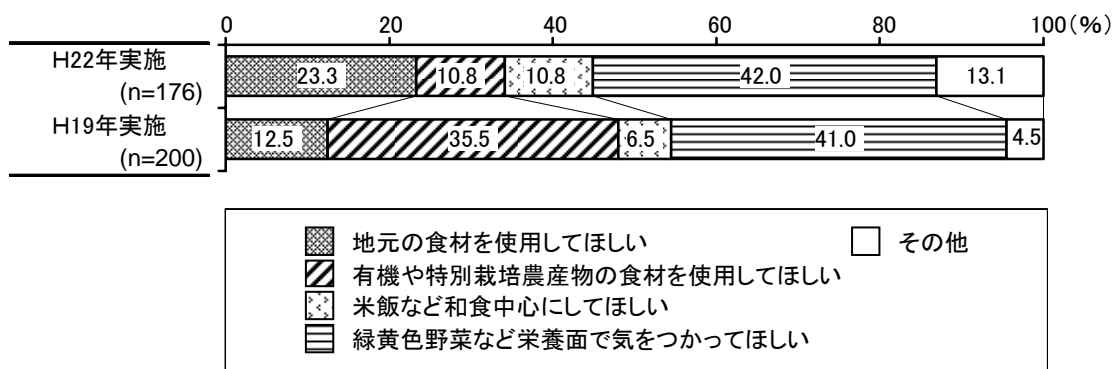
◎ 「栄養面で気をつけてほしい」が4割。

問62. 学校給食の食材についてのご意見をお聞かせ下さい。(1つに〇)

学校給食での食材について聞いたところ、「緑黄色野菜など栄養面で気をつけてほしい」が42.0%、「地元の食材を使用してほしい」が23.3%の順となっている。

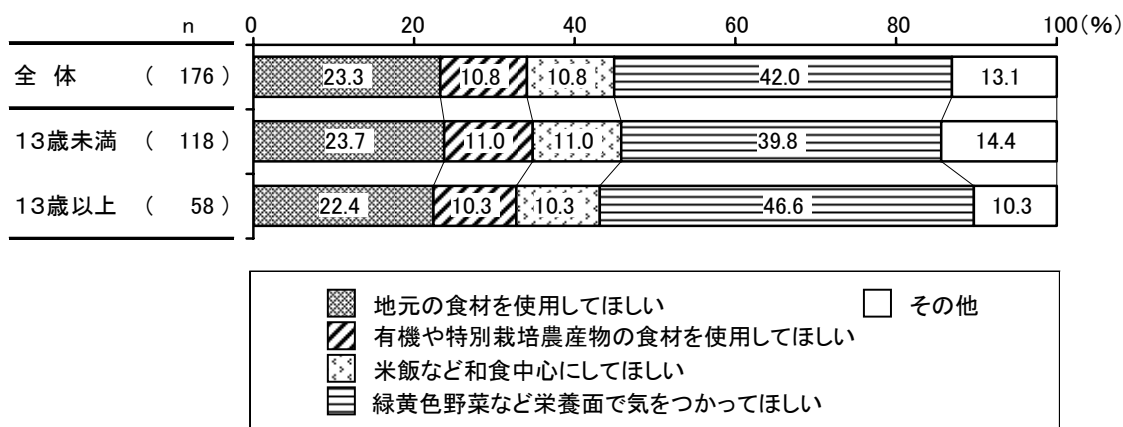
前回調査との推移をみると、「有機や特別栽培農産物の食材を使用してほしい」が24.7ポイント減少、「地元の食材を使用してほしい」が10.8ポイント増加している。学校給食での地元食材の使用を望む人が増えた。

図 7-14-1



子供の年齢別では、13歳以上は13歳未満よりも栄養面に関する要望が6.8ポイント高くなっている。

図 7-14-2 子供の年齢別



7-15 子供に対する食育の重要性

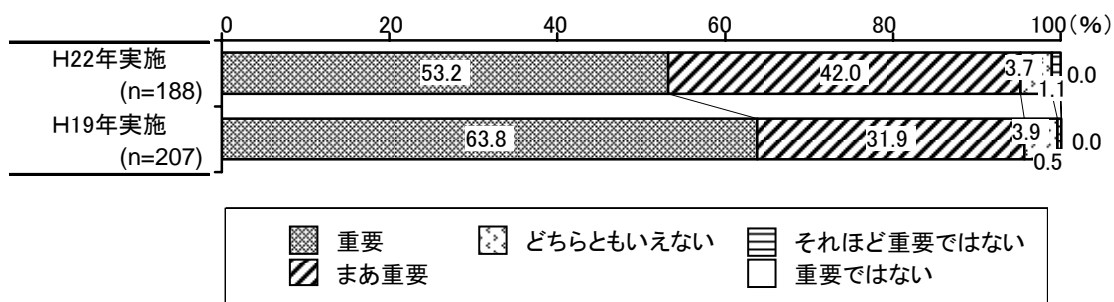
◎ 子供の食育に重要なものは「自然や生産者への感謝」。

問63. 子供に対する食育は、全般的にどのくらい重要だと思いますか。(1つに〇)

子供に対する食育の重要性を聞いたところ、「重要」が53.2%で、「やや重要」と合わせて95.2%が子供の食育の重要性を実感している。

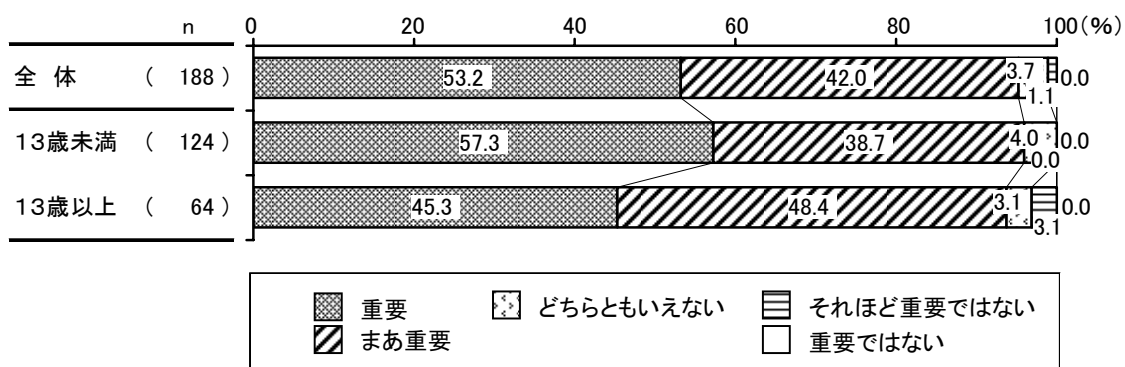
前回調査との推移をみると、重要と考える割合に違いがあるものの、全体的には差がみられない。

図 7-15-1



子供の年齢別では、13歳未満は13歳以上よりも「重要」が12.0ポイント高く、重要性を感じているといえる。

図 7-15-2 子供の年齢別



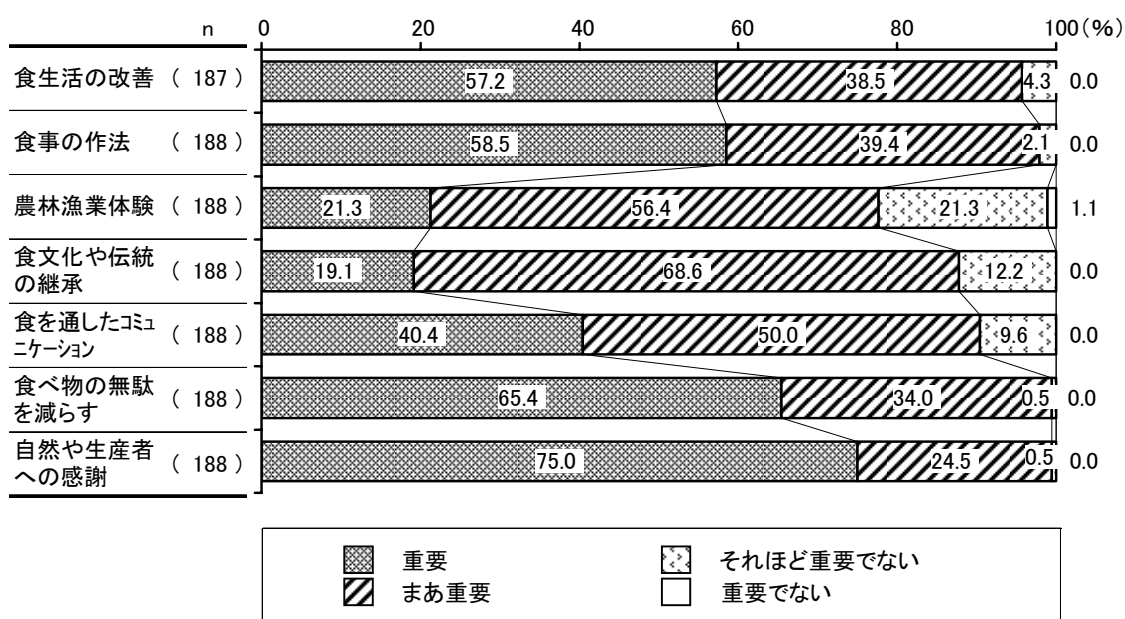
問64. 子供に対する以下の食育については、どのくらい重要だと思いますか。
(それぞれ1つに○)

子供の食育に重要なものを聞いたところ、「重要」が最も多かったのは「自然や生産者への感謝」、「食べ物の無駄を減らす」の順となっている。

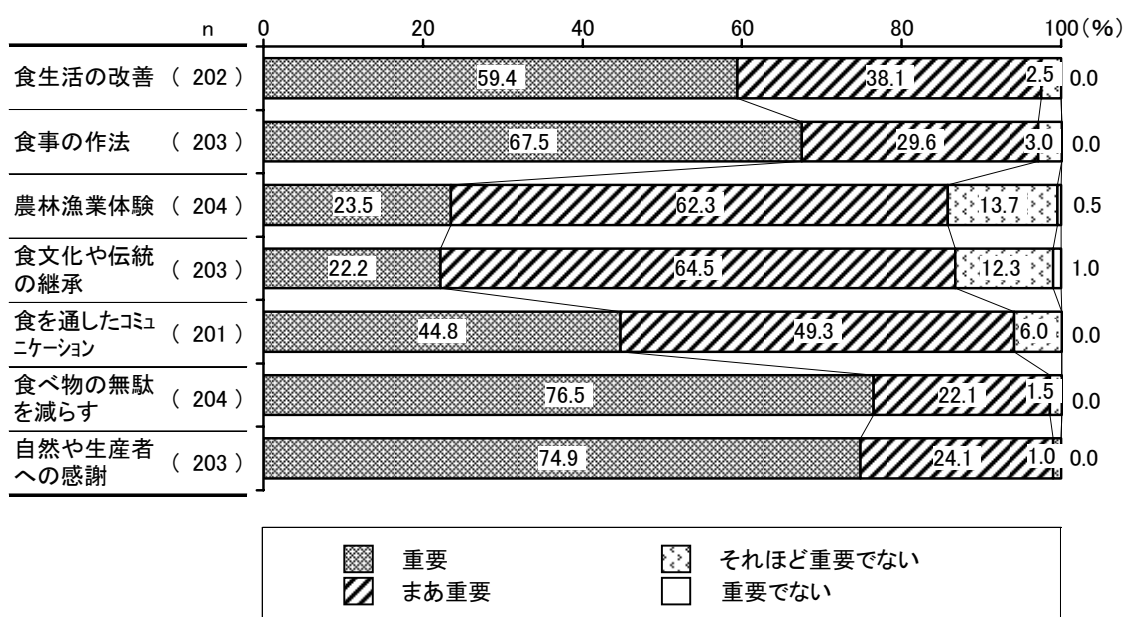
前回調査との推移をみると、「食事の作法」が9.0ポイント減少しているが、食生活の改善や無駄の減少等、食に直接かかわる事項に関して重要度が高いとみられる。

図 7-15-3

【H22年実施】



【H19年実施】



第2章. 調査結果の分析

性別では、男女共に、自然や生産者への感謝や食べ物の無駄の減少、食事の作法などに重要性を感じていたが「食生活の改善」と「食を通じたコミュニケーション」においては女性のほうが男性より重要性を感じている。

年齢別では、親が40歳未満は40歳以上よりも「食を通じたコミュニケーション」の「重要」が12.1ポイント高くなっている。

子供の年齢別では、13歳未満は13歳以上よりも「農林漁業体験」の「重要」が13.3ポイント高くなっている。

図7-15-4 性別・年齢別・子供の年齢別

〔食生活の改善〕

	全 体 (人)	(%)				
		重要	まあ重要	それほど重要ではない	重要ではない	
全体	187	57.2	38.5	4.3	-	
女性	170	57.6	39.4	2.9	-	
男性	17	52.9	29.4	17.6	-	
40歳未満	53	56.6	37.7	5.7	-	
40歳以上	134	57.5	38.8	3.7	-	
子供	13歳未満	124	60.5	35.5	4.0	-
	13歳以上	63	50.8	44.4	4.8	-

〔食事の作法〕

	全 体 (人)	(%)				
		重要	まあ重要	それほど重要ではない	重要ではない	
全体	188	58.5	39.4	2.1	-	
女性	171	57.9	39.8	2.3	-	
男性	17	64.7	35.3	-	-	
40歳未満	53	64.2	32.1	3.8	-	
40歳以上	135	56.3	42.2	1.5	-	
子供	13歳未満	124	60.5	37.1	2.4	-
	13歳以上	64	54.7	43.8	1.6	-

〔農林漁業体験〕

	全 体 (人)	(%)				
		重要	まあ重要	それほど重要ではない	重要ではない	
全体	188	21.3	56.4	21.3	1.1	
女性	171	21.1	57.3	20.5	1.2	
男性	17	23.5	47.1	29.4	-	
40歳未満	53	26.4	45.3	26.4	1.9	
40歳以上	135	19.3	60.7	19.3	0.7	
子供	13歳未満	124	25.8	54.0	19.4	0.8
	13歳以上	64	12.5	60.9	25.0	1.6

〔食文化や伝統の継承〕

	全 体 (人)	(%)				
		重要	まあ重要	それほど重要ではない	重要ではない	
全体	188	19.1	68.6	12.2	-	
女性	171	19.3	69.0	11.7	-	
男性	17	17.6	64.7	17.6	-	
40歳未満	53	20.8	67.9	11.3	-	
40歳以上	135	18.5	68.9	12.6	-	
子供	13歳未満	124	20.2	70.2	9.7	-
	13歳以上	64	17.2	65.6	17.2	-

〔食を通じたコミュニケーション〕

(%)

	全 体 (人)	重 要	ま あ 重 要	そ れ ほ ど 重 要 で は な い	重 要 で は な い	
全 体	188	40.4	50.0	9.6	-	
女性	171	42.1	49.7	8.2	-	
男性	17	23.5	52.9	23.5	-	
40歳未満	53	49.1	41.5	9.4	-	
40歳以上	135	37.0	53.3	9.6	-	
子 供	13歳未満	124	43.5	50.0	6.5	-
	13歳以上	64	34.4	50.0	15.6	-

〔食べ物の無駄を減らす〕

(%)

	全 体 (人)	重 要	ま あ 重 要	そ れ ほ ど 重 要 で は な い	重 要 で は な い	
全 体	188	65.4	34.0	0.5	-	
女性	171	65.5	33.9	0.6	-	
男性	17	64.7	35.3	-	-	
40歳未満	53	71.7	26.4	1.9	-	
40歳以上	135	63.0	37.0	-	-	
子 供	13歳未満	124	67.7	31.5	0.8	-
	13歳以上	64	60.9	39.1	-	-

〔自然や生産者への感謝〕

(%)

	全 体 (人)	重 要	ま あ 重 要	そ れ ほ ど 重 要 で は な い	重 要 で は な い	
全 体	188	75.0	24.5	0.5	-	
女性	171	76.0	23.4	0.6	-	
男性	17	64.7	35.3	-	-	
40歳未満	53	81.1	17.0	1.9	-	
40歳以上	135	72.6	27.4	-	-	
子 供	13歳未満	124	75.0	24.2	0.8	-
	13歳以上	64	75.0	25.0	-	-

第8節 農産物の購買行動

8-1 購入意識

◎ まず「国産標準栽培」、次に「地元産」を購入。

問65. 仮に、あなたが長ネギを買いに行った時、以下のような長ネギが売られていたとします。あなたは、どの長ネギを購入しますか。なお、値段はための長ネギ3本あたりの価格です。(1つに○)

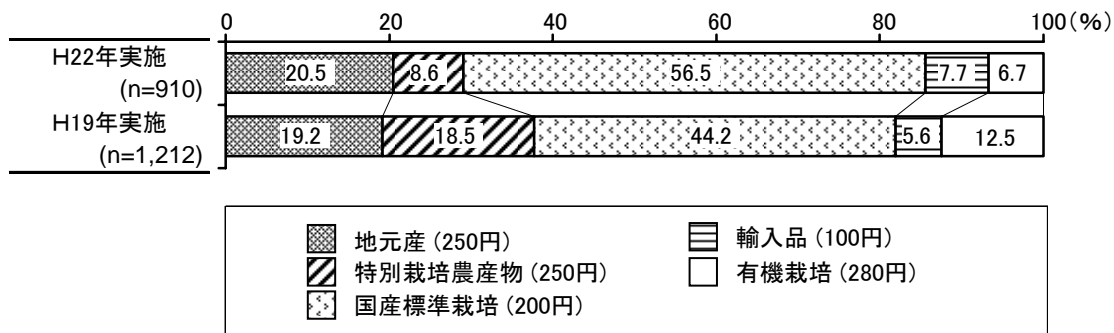
地元産 (250円)	特別栽培農産物 (250円)	国産標準栽培 (200円)	輸入品 (100円)	有機栽培 (280円)
---------------	-------------------	------------------	---------------	----------------

※特別栽培農産物とは、その農産物が生産された地域の慣行レベルに比べて節減対象農薬が5割以下、化学肥料の窒素分量が5割以下で栽培された農産物のことを言います。

栽培方法の異なる長ネギの購入意欲を聞いたところ、「国産標準栽培」が56.5%と最も多くなっている。

前回調査との推移をみると、「国産標準栽培」が12.3ポイント増加し、「特別栽培農産物」や「有機栽培」が減少している。

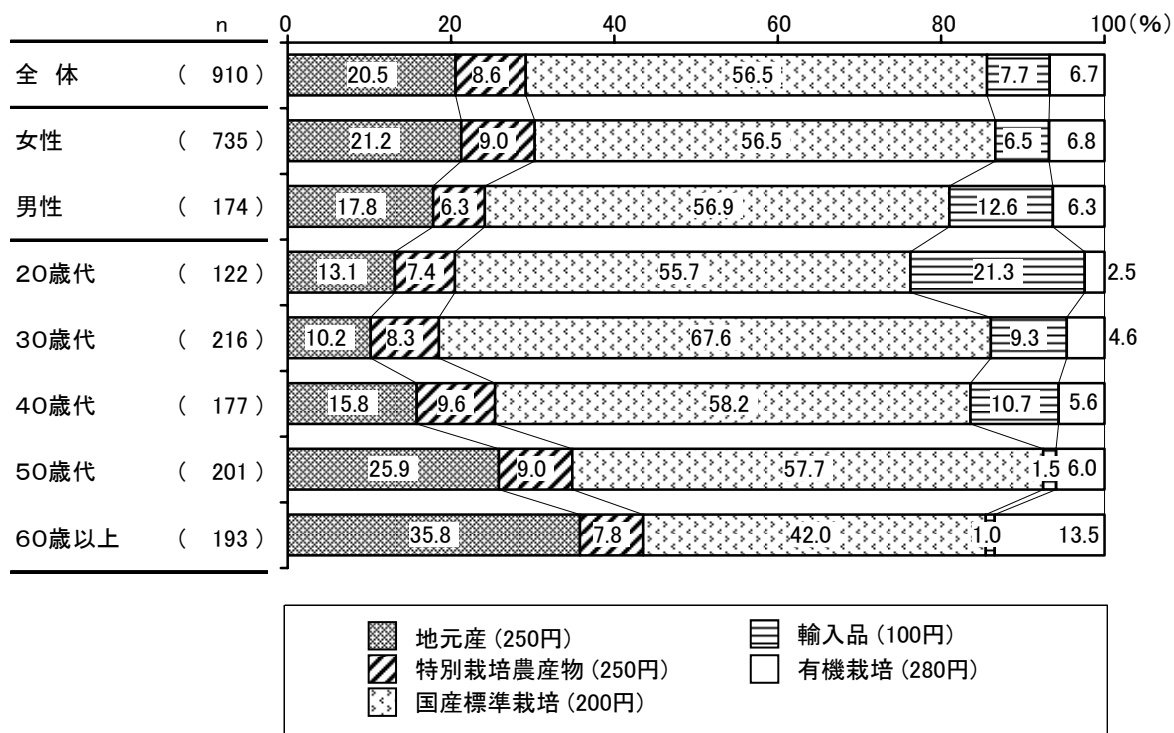
図8-1-1



性別では、女性は男性よりも「地元産」が 3.4 ポイント、男性は女性よりも「輸入品」が 6.1 ポイント高くなっている。

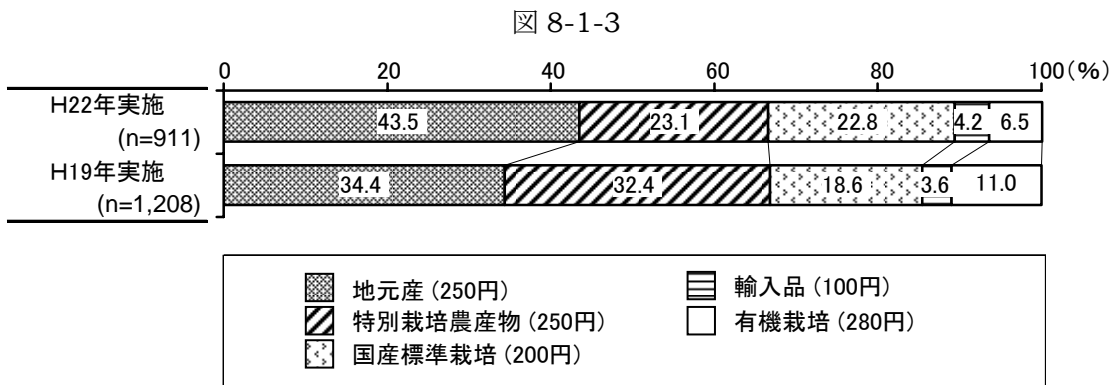
年齢別でみると、年齢が上がると共に「地元産」の購入が多くなり 60 歳以上では 3 割半ばとなる。

図 8-1-2 性別・年齢別



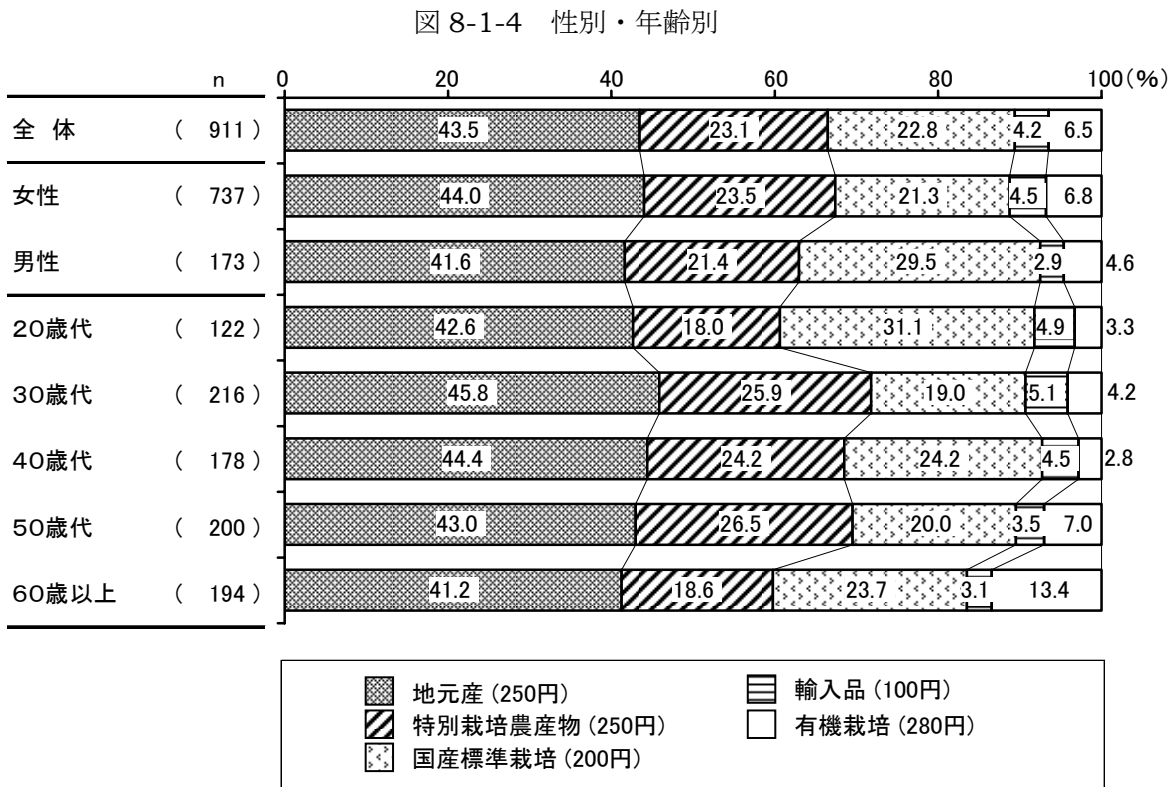
問66. もし、その長ネギが売り切れていたら、次はどの長ネギを選びますか。
(1つに○)

2番目に購入したい長ネギを聞いたところ、「地元産」が4割となっている。
前回調査との推移をみると、「地元産」が9.3ポイント増加し、「特別栽培農産物」や「有機栽培」が減少している。



性別では、女性は男性よりも「特別栽培農産物」や「有機栽培」が若干高くなっている。

年齢別では、30歳代から50歳代は「特別栽培農産物」を購入する割合が他の年代よりも多くなっている。



8-2 農産物の安全性の考え方

◎ 「地元産」は約7割が安全と考えている。

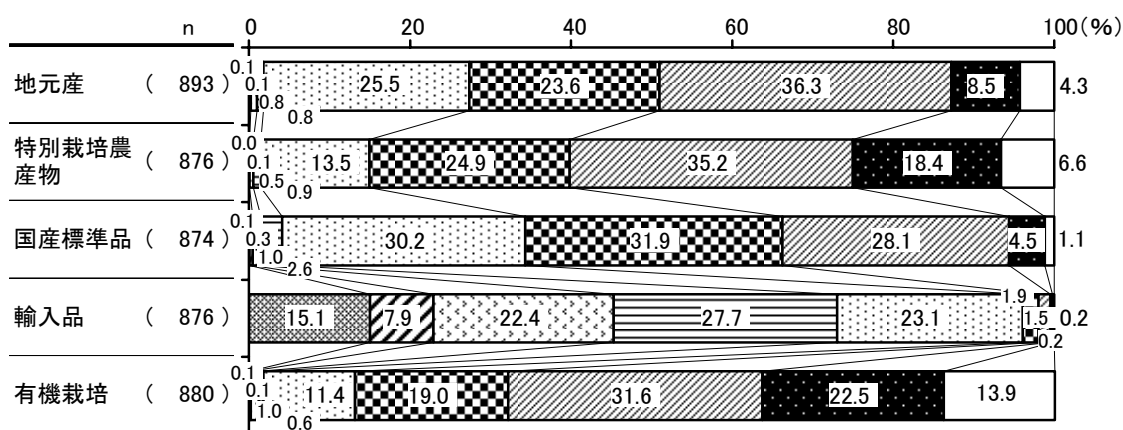
問67. それぞれの長ネギの安全性についてどう思いますか。以下の項目について、該当すると思われる数字に○を付けて下さい。

栽培方法の異なる長ネギの安全性を聞いたところ、安全とされている栽培農産物は「有機栽培」が87.0%、「特別栽培農産物」が85.1%、「地元産」が72.7%の順となっている。

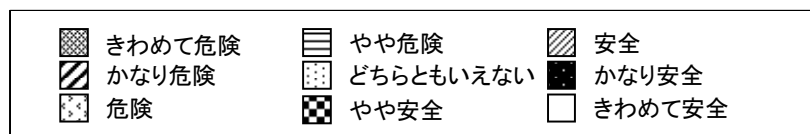
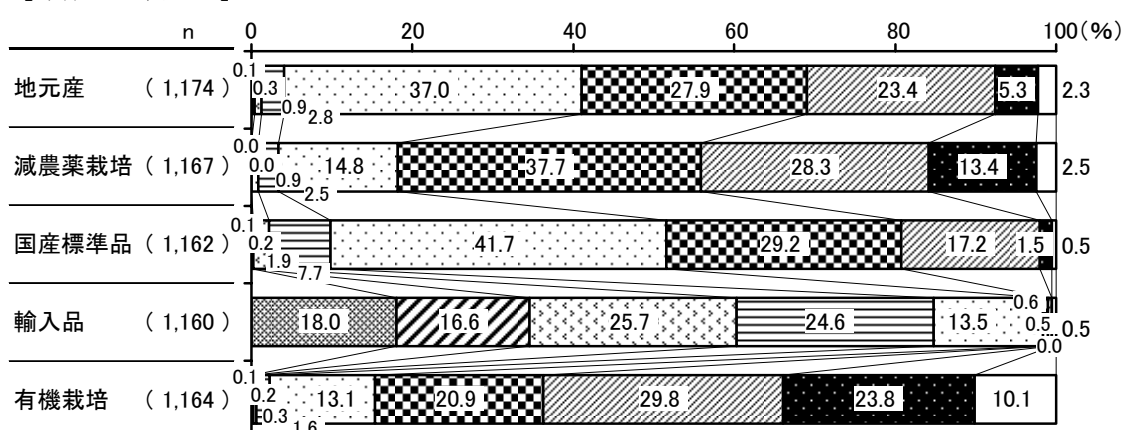
前回調査との推移をみると、「地元産」の安全性が13.8ポイント増加している。また、「輸入品」については危険性を感じている割合が前回より11.8ポイント減少し、「どちらともいえない」が9.6ポイント増加している。

図8-2-1

【平成22年実施】



【平成19年実施】



第2章. 調査結果の分析

性別では、女性は男性よりも「輸入品」に対して、危険性を感じている。
 年齢別では、年配のほうが「輸入品」に対して危険性を感じている。

図 8-2-2 性別・年齢別

〔地元産〕

	全 体 (人)	き わ め て 危 険	か な り 危 険	危 険	や や 危 険	ど ち ら と も い え な い	や や 安 全	安 全	か な り 安 全	き わ め て 安 全
全 体	893	0.1	0.1	0.8	0.8	25.5	23.6	36.3	8.5	4.3
女性	721	0.1	0.1	0.6	0.6	26.4	25.0	34.8	8.7	3.7
男性	171	-	-	1.8	1.8	22.2	18.1	42.1	7.6	6.4
20歳代	119	-	-	1.7	-	22.7	21.8	36.1	12.6	5.0
30歳代	213	-	-	0.9	0.9	23.0	25.8	39.4	8.0	1.9
40歳代	177	-	-	-	0.6	29.4	18.1	37.9	7.9	6.2
50歳代	199	-	0.5	0.5	-	28.1	27.1	33.2	7.5	3.0
60歳以上	184	0.5	-	1.1	2.2	23.9	23.9	34.2	8.2	6.0

〔特別栽培農産物〕

	全 体 (人)	き わ め て 危 険	か な り 危 険	危 険	や や 危 険	ど ち ら と も い え な い	や や 安 全	安 全	か な り 安 全	き わ め て 安 全
全 体	876	-	0.1	0.5	0.9	13.5	24.9	35.2	18.4	6.6
女性	710	-	0.1	0.3	1.1	12.8	25.4	35.1	18.6	6.6
男性	165	-	-	1.2	-	16.4	23.0	35.2	17.6	6.7
20歳代	119	-	-	1.7	1.7	12.6	21.0	40.3	16.8	5.9
30歳代	212	-	-	-	2.4	9.0	25.5	34.4	21.2	7.5
40歳代	178	-	-	-	-	15.2	21.3	37.1	19.1	7.3
50歳代	196	-	-	-	0.5	14.3	28.1	34.2	17.3	5.6
60歳以上	170	-	0.6	1.2	-	17.1	27.1	31.2	16.5	6.5

〔国産標準栽培〕

(%)

	全 体 (人)	き わ め て 危 険	か な り 危 険	危 険	や や 危 険	ど ち ら と も い え な い	や や 安 全	安 全	か な り 安 全	き わ め て 安 全
全 体	874	0.1	0.3	1.0	2.6	30.2	31.9	28.1	4.5	1.1
女性	708	0.1	0.4	0.7	2.7	29.9	34.3	27.0	3.7	1.1
男性	165	-	-	2.4	2.4	31.5	21.2	33.3	7.9	1.2
20歳代	118	-	-	1.7	1.7	26.3	29.7	33.1	5.9	1.7
30歳代	212	-	-	0.9	2.8	30.2	28.8	32.1	4.2	0.9
40歳代	176	-	-	-	1.7	33.0	26.7	32.4	5.1	1.1
50歳代	196	0.5	1.0	1.0	2.6	32.1	37.8	21.4	2.6	1.0
60歳以上	171	-	0.6	1.8	4.1	28.1	35.7	23.4	5.3	1.2

〔輸入品〕

(%)

	全 体 (人)	き わ め て 危 険	か な り 危 険	危 険	や や 危 険	ど ち ら と も い え な い	や や 安 全	安 全	か な り 安 全	き わ め て 安 全
全 体	876	15.1	7.9	22.4	27.7	23.1	1.9	1.5	0.2	0.2
女性	710	16.3	8.5	23.2	27.3	21.7	2.1	0.8	-	-
男性	165	9.7	5.5	18.8	29.1	29.1	1.2	4.2	1.2	1.2
20歳代	119	8.4	3.4	20.2	30.3	29.4	1.7	5.0	0.8	0.8
30歳代	212	15.6	8.0	19.3	25.9	25.5	4.7	0.9	-	-
40歳代	177	11.9	6.2	26.6	28.2	24.9	1.1	0.6	0.6	-
50歳代	196	17.9	11.7	23.0	27.6	18.9	0.5	0.5	-	-
60歳以上	171	19.3	8.2	22.8	27.5	18.7	1.2	1.8	-	0.6

第2章. 調査結果の分析

[有機栽培]

	全 体 (人)	き わ め て 危 険	か な り 危 険	危 険	や や 危 険	ど ち ら と も い え な い	や や 安 全	安 全	か な り 安 全	き わ め て 安 全
全 体	880	0.1	0.1	1.0	0.6	11.4	18.9	31.6	22.5	13.9
女性	714	0.1	0.1	0.8	0.3	10.6	20.0	31.7	22.7	13.6
男性	165	-	-	1.8	1.8	14.5	13.9	30.9	21.8	15.2
20歳代	120	-	-	2.5	0.8	7.5	14.2	30.0	21.7	23.3
30歳代	212	0.5	-	0.5	-	10.4	14.2	32.5	25.0	17.0
40歳代	176	-	-	-	0.6	13.6	16.5	34.1	24.4	10.8
50歳代	197	-	0.5	0.5	1.5	12.7	27.9	28.9	18.3	9.6
60歳以上	174	-	-	2.3	-	11.5	20.1	31.6	23.0	11.5

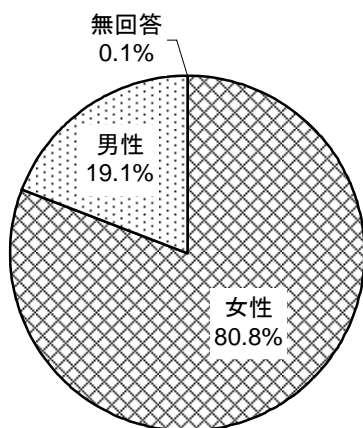
第3章. 質問と回答（単純集計結果）

・ 回収結果

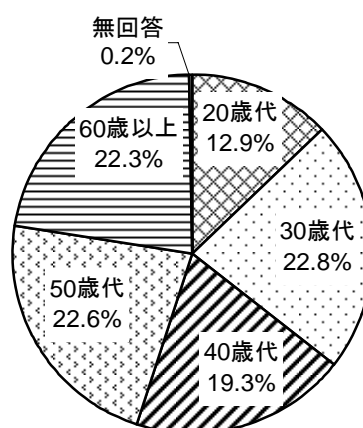
		(H19実施)
調査票配布数	3,000 人	3,000 人
調査票回収数	948 人	1,262 人
回収率	31.6 %	42.1 %

・ 回答者の基本属性

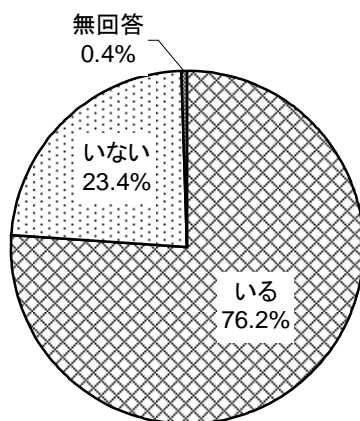
【性別】



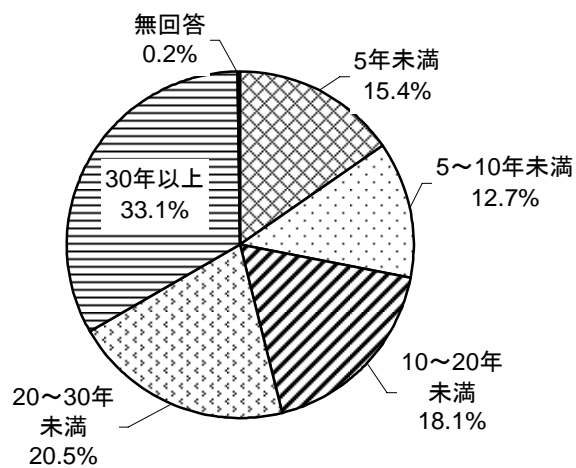
【年齢】



【配偶者の有無】

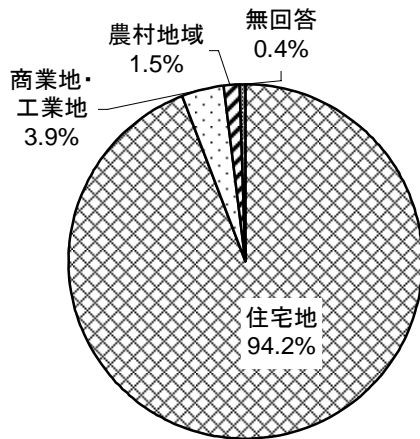


【居住年数】

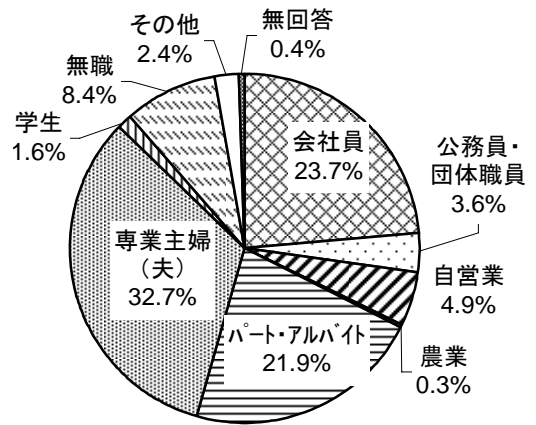


第3章. 質問と回答 (単純集計結果)

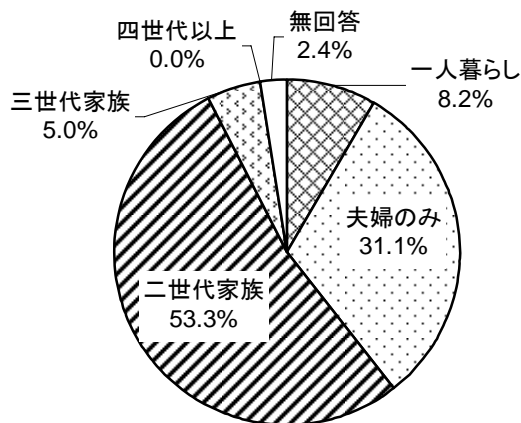
【居住地域】



【職業】



【家族構成】



問1 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていましたか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
言葉も意味も知っていた	524	55.3%	50.2%
言葉は知っていたが、意味は知らなかった	341	36.0%	38.4%
言葉も意味も知らなかった	78	8.2%	10.8%
無回答	5	0.5%	0.6%
全体	948	100.0%	100.0%

問2 あなたは「食育」に関心がありますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
ある	300	31.6%	36.9%
どちらかといえばある	487	51.4%	47.7%
どちらかといえばない	80	8.4%	9.6%
ない	22	2.3%	1.8%
分からない	27	2.8%	2.9%
無回答	32	3.4%	1.1%
全体	948	100.0%	100.0%

問3 問2で「ある」、「どちらかといえばある」と答えた方にお聞きします。

食育に関心がある理由は何ですか？(3つまで○)

	回答数	構成比	H19実施
心身の健全な発育	479	60.9%	62.6%
食生活の乱れ	313	39.8%	42.3%
肥満・痩せの増加	136	17.3%	16.1%
生活習慣病	378	48.0%	49.3%
食の安全確保	358	45.5%	48.2%
食文化や地域の伝統	93	11.8%	10.2%
食料自給率低下	112	14.2%	11.9%
生産者との交流	7	0.9%	1.3%
自然と調和した食料生産	44	5.6%	5.9%
食べ物の無駄	132	16.8%	15.2%
食や自然に対する感謝	137	17.4%	17.3%
その他	14	1.8%	0.8%
無回答	2	0.3%	-
全体	787	100.0%	100.0%

第3章. 質問と回答 (単純集計結果)

問4 食育に関するボランティアに参加したことがありますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
ある	31	3.3%	2.5%
ないが、機会があれば参加してみたい	523	55.2%	58.2%
興味がない	368	38.8%	35.6%
無回答	26	2.7%	3.6%
全体	948	100.0%	100.0%

問5 問4で「ないが、機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きします。
どのような活動に参加してみたいですか？(3つまで○)

	回答数	構成比	H19実施
郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動	209	40.0%	35.4%
農林漁業などに関する体験活動	129	24.7%	18.0%
食生活の改善に関する活動	180	34.4%	39.7%
生活習慣病予防などのための料理教室	269	51.4%	53.2%
食品廃棄や食品リサイクルに関する活動	115	22.0%	21.2%
食品の安全や表示に関する活動	157	30.0%	34.7%
食育に関する国際交流活動	79	15.1%	12.5%
その他	6	1.1%	1.1%
分からない	7	1.3%	2.4%
無回答	12	2.3%	-
全体	523	100.0%	100.0%

問6 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
毎日とっている	775	81.8%	83.9%
平日のみ	36	3.8%	3.2%
週に2～3日	58	6.1%	6.1%
ほとんどとらない	75	7.9%	6.5%
無回答	4	0.4%	0.2%
全体	948	100.0%	100.0%

問7 食事バランスガイド(松戸版を同封しています)を参考に食生活を送っていますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
参考にしている	50	5.3%	11.2%
まあまあ参考にしている	227	23.9%	38.3%
知っているが参考にはしていない	285	30.1%	33.8%
知らなかった	377	39.8%	16.2%
無回答	9	0.9%	0.6%
全体	948	100.0%	100.0%

問8 ご自宅で行事食を伴う伝統的な行事を年間にどの程度行なっていますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
全く行わない	57	6.0%	4.4%
1～2回	170	17.9%	16.2%
3～4回	228	24.1%	24.6%
5～6回	248	26.2%	23.1%
7回以上	238	25.1%	31.3%
無回答	7	0.7%	0.4%
全体	948	100.0%	100.0%

問9 冷凍食品の利用状況についてお聞かせ下さい。(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
普通の食事に積極的に利用している	88	9.3%	8.3%
時々利用している	388	40.9%	43.4%
お弁当などにのみ利用している	157	16.6%	18.9%
あまり利用しない	207	21.8%	19.2%
ほとんど利用しない	100	10.5%	9.6%
無回答	8	0.8%	0.6%
全体	948	100.0%	100.0%

問10 食品を購入するときに、もっとも気をつけていることは何ですか。(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
栄養面	180	19.0%	18.7%
安全性	433	45.7%	44.5%
味や好み	162	17.1%	16.5%
食費	136	14.3%	13.5%
料理の手間	25	2.6%	4.0%
無回答	12	1.3%	2.9%
全体	948	100.0%	100.0%

問11 野菜や肉などの生鮮食品の購入時に産地はチェックしていますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
常にしている	590	62.2%	64.2%
ときどきしている	295	31.1%	29.6%
していない	59	6.2%	5.6%
無回答	4	0.4%	0.6%
全体	948	100.0%	100.0%

第3章. 質問と回答 (単純集計結果)

問12 地元産の食材を購入していますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
積極的に購入するようにしている	136	14.3%	16.1%
目に付けば購入するようにしている	401	42.3%	42.2%
少しでも高ければ購入しない	150	15.8%	12.4%
地元かどうか気にしていない	255	26.9%	28.4%
無回答	6	0.6%	0.9%
全体	948	100.0%	100.0%

問13 あなたは食品の安全性に関する基礎的な知識を持っていますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
持っている	83	8.8%	8.7%
まあ持っている	358	37.8%	41.3%
どちらともいえない	364	38.4%	33.9%
あまり持っていない	102	10.8%	13.0%
持っていない	33	3.5%	2.6%
無回答	8	0.8%	0.5%
全体	948	100.0%	100.0%

問14 普段、生鮮食品は主にどこで購入していますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
スーパー	754	79.5%	78.1%
生協(店舗・共同購入)	121	12.8%	12.7%
各種通販・宅配	3	0.3%	0.3%
デパート	13	1.4%	1.7%
八百屋や精肉店	22	2.3%	3.6%
コンビニエンスストア	4	0.4%	0.4%
その他	25	2.6%	0.9%
無回答	6	0.6%	2.4%
全体	948	100.0%	100.0%

問15 子供達への食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要だと思いますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
学校の方	25	2.6%	0.5%
やや学校の方	20	2.1%	1.2%
同じくらい	293	30.9%	25.9%
やや家庭の方	227	23.9%	25.4%
家庭の方	356	37.6%	45.0%
無回答	27	2.8%	2.0%
全体	948	100.0%	100.0%

問16 あなたは、メタボリックシンドロームという言葉やその意味を知っていましたか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
言葉も意味も良く知っていた	405	42.7%	40.6%
言葉も知っていたし、意味も大体知っていた	462	48.7%	48.6%
言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった	64	6.8%	8.2%
言葉は知っていたが、意味は知らなかった	5	0.5%	1.3%
言葉も意味も知らなかった	8	0.8%	1.0%
無回答	4	0.4%	0.3%
全体	948	100.0%	100.0%

問17 あなたご自身はメタボリックシンドロームに該当すると思いますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
該当する	79	8.3%	10.2%
予備群である	251	26.5%	30.3%
該当しない	566	59.7%	53.6%
分からない	48	5.1%	5.5%
無回答	4	0.4%	0.5%
全体	948	100.0%	100.0%

問18 あなたは散歩や水泳など、定期的に運動をしていますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
毎日している	106	11.2%	11.8%
週に数回している	237	25.0%	24.2%
週に1回程度	152	16.0%	15.6%
あまりしていない	444	46.8%	47.8%
無回答	9	0.9%	0.6%
全体	948	100.0%	100.0%

第3章 質問と回答（単純集計結果）

問19 あなたの歯の数は現在何本ですか？

なお、成人の歯は、親知らずが4本はえて全部で32本です。なお、かぶせた歯（金歯、銀歯など）、さし歯、根だけ残っている歯は含みますが、入れ歯などの歯根がない部分は除きます。（括弧内に本数を数字でご記入下さい）

(27.3)本 ※平均
(27.1)本 ※平均(H19実施)

問20 あなたは入れ歯を使用していますか？（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
はい	146	15.4%	16.0%
いいえ	794	83.8%	82.9%
無回答	8	0.8%	1.1%
全体	948	100.0%	100.0%

問21 あなたの現在のお口の全体的な健康状態はどうか？（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
よい	147	15.5%	13.2%
まあよい	529	55.8%	54.7%
あまりよくない	227	23.9%	27.2%
よくない	29	3.1%	3.5%
無回答	16	1.7%	1.4%
全体	948	100.0%	100.0%

問22 前回、いつ歯科治療を受けましたか？（数を記入）

およそ(2)年(10)ヶ月前 ※平均
およそ(2)年(3)ヶ月前 ※平均(H19実施)

問23 この1年間に歯の健康診査を受けましたか？（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
受けない	478	50.4%	55.5%
受けた	449	47.4%	42.9%
無回答	21	2.2%	1.6%
全体	948	100.0%	100.0%

問24 問23で「受けた」と答えた方にお聞きます。どのような理由で受診しましたか？（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
定期的を受けているから	200	44.5%	36.0%
歯科治療のついでに	206	45.9%	55.0%
職場や保健センターなどで受ける機会があったから	16	3.6%	3.9%
その他	23	5.1%	4.1%
無回答	4	0.9%	1.1%
全体	449	100.0%	100.0%

問25 あなたのお口の健康状態について以下の質問に回答ください？(それぞれ1つに○)

		はい	いいえ	無回答	全体
歯ぐきが腫れることがありますか？	回答数	304	622	22	948
	構成比	32.1%	65.6%	2.3%	100.0%
	H19実施	34.6%	61.6%	3.7%	100.0%
歯が痛んだり、しみたりすることがありますか？	回答数	386	534	28	948
	構成比	40.7%	56.3%	3.0%	100.0%
	H19実施	44.6%	51.6%	3.8%	100.0%
かかりつけの歯医者さんはいますか？	回答数	711	221	16	948
	構成比	75.0%	23.3%	1.7%	100.0%
	H19実施	73.0%	25.4%	1.6%	100.0%
歯の治療は早めに受けるようにしていますか？	回答数	609	320	19	948
	構成比	64.2%	33.8%	2.0%	100.0%
	H19実施	61.8%	35.7%	2.5%	100.0%
歯ぐきから血が出ることがありますか？	回答数	372	557	19	948
	構成比	39.2%	58.8%	2.0%	100.0%
	H19実施	39.7%	57.8%	2.5%	100.0%
口臭が強い(ある)という自覚はありますか？	回答数	231	701	16	948
	構成比	24.4%	73.9%	1.7%	100.0%
	H19実施	25.4%	71.7%	2.9%	100.0%
たばこを吸いますか？	回答数	112	817	19	948
	構成比	11.8%	86.2%	2.0%	100.0%
	H19実施	14.4%	83.5%	2.1%	100.0%
代用甘味料使用の食品を好んで飲食しますか？	回答数	172	759	17	948
	構成比	18.1%	80.1%	1.8%	100.0%
	H19実施	14.9%	82.2%	2.9%	100.0%
知人や友人とよく食事をしますか？	回答数	410	512	26	948
	構成比	43.2%	54.0%	2.7%	100.0%
	H19実施	42.8%	52.9%	4.4%	100.0%

・歯磨きを1日何回しますか？

	回答数	構成比	H19実施
1回	136	14.3%	14.2%
2回	507	53.5%	54.8%
3回以上	291	30.7%	29.4%
無回答	14	1.5%	1.7%
全体	948	100.0%	100.0%

・間食は1日何回とりますか？

	回答数	構成比	H19実施
0～1回	631	66.6%	66.1%
2～3回	288	30.4%	30.1%
4回以上	11	1.2%	1.5%
無回答	18	1.9%	2.3%
全体	948	100.0%	100.0%

問28 以前に比べて、(1人当たりの)家庭ごみを出す量は変わりましたか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
増えている	39	4.1%	5.3%
少し増えている	115	12.1%	15.8%
変わらない	489	51.6%	48.8%
少し減っている	214	22.6%	22.9%
減っている	70	7.4%	6.3%
無回答	21	2.2%	0.9%
全体	948	100.0%	100.0%

問29 普段、「燃やせるごみ」は1週間に何袋ぐらい出していますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
0袋	24	2.5%	2.7%
1～2袋	551	58.1%	57.3%
3～4袋	323	34.1%	36.4%
5～6袋	24	2.5%	2.3%
7～8袋	6	0.6%	0.3%
9袋以上	2	0.2%	0.0%
無回答	18	1.9%	1.0%
全体	948	100.0%	100.0%

問30 買い物袋は持参しますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
常に持参する	411	43.4%	25.8%
たまに持参する	363	38.3%	35.7%
あまり持参しない	89	9.4%	16.2%
持参しない	75	7.9%	21.8%
無回答	10	1.1%	0.5%
全体	948	100.0%	100.0%

問31 あなたは生ごみ処理容器(コンポスト)等を使用していますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
使用している	36	3.8%	4.4%
持っているが使っていない	19	2.0%	2.6%
ほしいと思っている	156	16.5%	19.1%
持っていない	722	76.2%	72.7%
無回答	15	1.6%	1.2%
全体	948	100.0%	100.0%

第3章 質問と回答（単純集計結果）

問32 持っている方にお聞きます。購入の際に市の補助金制度を利用しましたか？（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
利用した	21	38.2%	46.6%
知っていたが利用していない	8	14.5%	19.3%
知らなかった	19	34.5%	31.8%
無回答	7	12.7%	2.3%
全体	55	100.0%	100.0%

問33 あなたと配偶者の家を出る時間と帰宅時刻を教えてください。（それぞれ時刻を記入）

※およその平均時刻	(H19実施)
・あなた(働いている場合) の家を出る時刻 : 8時17分	8時20分
帰宅時刻 : 18時19分	18時52分
・配偶者(いらっしゃる場合) の家を出る時刻 : 7時33分	7時40分
帰宅時刻 : 19時23分	20時07分

問34 あなたは地域の活動に参加していますか？（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
積極的に参加	22	2.3%	2.9%
まあ積極的	103	10.9%	14.2%
やや消極的	263	27.7%	28.6%
参加していない	542	57.2%	53.1%
無回答	18	1.9%	1.2%
全体	948	100.0%	100.0%

問35 旅行やキャンプなどで、家族や友人と農山漁村へ行くことはありますか？（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
ほぼ毎週	0	0.0%	0.5%
月に数回	8	0.8%	1.0%
月に1回程度	22	2.3%	2.4%
年に数回	265	28.0%	34.4%
あまり行かない	636	67.1%	60.6%
無回答	17	1.8%	1.1%
全体	948	100.0%	100.0%

問36 あなたは趣味として、野菜や果物の栽培などの農作業をすることはありますか？（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
ない	628	66.2%	71.6%
ある	267	28.2%	26.4%
無回答	53	5.6%	2.1%
全体	948	100.0%	100.0%

問37 農作業の場所はどのようなところですか？(該当場所全てに○)

	回答数	構成比	H19実施
自宅の庭	150	56.2%	55.3%
ベランダや屋内	95	35.6%	27.9%
自家所有の畑	13	4.9%	6.6%
市民農園や知り合いの畑	21	7.9%	13.8%
その他	12	4.5%	5.7%
無回答	1	0.4%	-
全体	267	100.0%	100.0%

問38 だれと一緒に作業していますか？(該当者全てに○)

	回答数	構成比	H19実施
配偶者	102	38.2%	38.4%
子供	47	17.6%	16.8%
孫	4	1.5%	1.8%
友人・知人	7	2.6%	4.5%
自分ひとり	103	38.6%	32.4%
親	29	10.9%	14.1%
祖父母	7	2.6%	3.9%
その他	6	2.2%	3.0%
無回答	11	4.1%	-
全体	267	100.0%	100.0%

問39 食育に関して市に期待する施策は何ですか？(3つまで○)

	回答数	構成比	H19実施
食と健康に関する市民講座や教室を開催する	176	18.6%	24.7%
学校給食で地元農産物の利用を促進する	427	45.0%	37.7%
直売所など地元産農産物を購入できる場所を整備する	611	64.5%	58.1%
市民参加型の体験農園などを増やす	156	16.5%	16.3%
学校などでの作物栽培・料理の機会を増やす	254	26.8%	30.5%
食品廃棄の削減や食品リサイクルに関する活動に取り組む	250	26.4%	31.6%
郷土料理、伝統料理などの優れた食文化の継承に取り組む	196	20.7%	22.8%
とくにない	81	8.5%	8.7%
その他	26	2.7%	2.1%
無回答	22	2.3%	-
全体	948	100.0%	100.0%

第3章 質問と回答（単純集計結果）

問40 あなたの性別は次のどちらですか？（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
女性	766	80.8%	81.1%
男性	181	19.1%	18.5%
無回答	1	0.1%	0.4%
全体	948	100.0%	100.0%

問41 あなたの年齢は次のどれに該当しますか？（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
20歳代	122	12.9%	13.5%
30歳代	216	22.8%	23.1%
40歳代	183	19.3%	17.9%
50歳代	214	22.6%	24.9%
60歳以上	211	22.3%	20.0%
無回答	2	0.2%	0.6%
全体	948	100.0%	100.0%

問42 配偶者(妻、または夫)はおられますか？（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
いる	722	76.2%	75.8%
いない	222	23.4%	23.7%
無回答	4	0.4%	0.6%
全体	948	100.0%	100.0%

問43 あなたは松戸市に住むようになっておおよそ何年になりますか？（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
5年未満	146	15.4%	16.7%
5～10年未満	120	12.7%	12.1%
10～20年未満	172	18.1%	18.1%
20～30年未満	194	20.5%	24.1%
30年以上	314	33.1%	28.5%
無回答	2	0.2%	0.4%
全体	948	100.0%	100.0%

問44 あなたがお住まいの地域は以下のどれに該当しますか？（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
住宅地	893	94.2%	93.3%
商業地・工業地	37	3.9%	4.2%
農村地域	14	1.5%	1.4%
無回答	4	0.4%	1.1%
全体	948	100.0%	100.0%

問45 あなたの主な職業は次のどれに該当しますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
会社員	225	23.7%	23.8%
公務員・団体職員	34	3.6%	4.7%
自営業	46	4.9%	5.1%
農業	3	0.3%	0.7%
パート・アルバイト	208	21.9%	20.6%
専業主婦(夫)	310	32.7%	32.7%
学生	15	1.6%	1.5%
無職	80	8.4%	7.6%
その他	23	2.4%	2.6%
無回答	4	0.4%	3.5%
全体	948	100.0%	100.0%

問46 同居家族の年齢別人数についてお聞きます。(いるの場合は、あなたを除いた人数を記入)

・0～5歳

	回答数	構成比	H19実施
いない	297	31.3%	63.2%
いる	142	15.0%	15.7%
1人	107	11.3%	11.7%
2人	34	3.6%	3.9%
3人	-	-	0.1%
4人	1	0.1%	-
無回答	509	53.7%	21.2%
全体	948	100.0%	100.0%

・6～14歳

	回答数	構成比	H19実施
いない	280	29.5%	62.6%
いる	156	16.5%	16.8%
1人	98	10.3%	10.2%
2人	51	5.4%	6.1%
3人	6	0.6%	0.5%
無回答	1	0.1%	-
無回答	512	54.0%	20.6%
全体	948	100.0%	100.0%

・15～19歳

	回答数	構成比	H19実施
いない	291	30.7%	64.5%
いる	96	10.1%	12.8%
1人	79	8.3%	10.1%
2人	17	1.8%	2.7%
3人	-	-	0.1%
無回答	561	59.2%	22.7%
全体	948	100.0%	100.0%

第3章. 質問と回答 (単純集計結果)

・20～64歳

	回答数	構成比	H19実施
いない	68	7.2%	14.3%
いる	740	78.1%	79.7%
1人	439	46.3%	46.0%
2人	165	17.4%	19.7%
3人	98	10.3%	10.9%
4人	32	3.4%	2.3%
5人	2	0.2%	0.7%
無回答	4	0.4%	-
無回答	140	14.8%	6.0%
全体	948	100.0%	100.0%

・65歳以上

	回答数	構成比	H19実施
いない	216	22.8%	52.2%
いる	222	23.4%	24.3%
1人	177	18.7%	18.5%
2人	41	4.3%	5.4%
3人	2	0.2%	0.3%
4人	-	-	0.1%
無回答	2	0.2%	-
無回答	510	53.8%	23.5%
全体	948	100.0%	100.0%

問47 あなたの世帯では何世代が同居していますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
一人暮らし	78	8.2%	8.7%
夫婦のみ	295	31.1%	27.6%
二世世代家族	505	53.3%	54.6%
三世世代家族	47	5.0%	5.0%
四世代以上	0	0.0%	0.4%
無回答	23	2.4%	3.7%
全体	948	100.0%	100.0%

問48 お子様の食事についておうかがいします。

お子様が複数いらっしゃる場合は、一番下のお子様についてお答え下さい(ただし、小学生以上)。

本日が週末の場合は、平日の金曜日の朝夕食の内容をお願いします。

・今日の朝食(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
とった	180	95.2%	99.0%
とっていない	3	1.6%	1.0%
分からない	3	1.6%	0.0%
無回答	3	1.6%	0.0%
全体	189	100.0%	100.0%

・昨日の夕食(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
とった	182	96.3%	98.6%
とっていない	1	0.5%	0.0%
分からない	0	0.0%	0.5%
無回答	6	3.2%	1.0%
全体	189	100.0%	100.0%

問49 お子様は誰と一緒に食べていましたか？(それぞれ該当する者全てに○)

・朝食

	回答数	構成比	H19実施
ひとりで	44	23.3%	11.5%
父	39	20.6%	28.4%
母	108	57.1%	59.6%
兄妹	75	39.7%	54.8%
祖父母	10	5.3%	11.5%
その他	1	0.5%	0.5%
分からない	2	1.1%	0.0%
無回答	3	1.6%	-
全体	189	100.0%	100.0%

・夕食

	回答数	構成比	H19実施
ひとりで	7	3.7%	1.0%
父	73	38.6%	37.9%
母	166	87.8%	88.8%
兄妹	109	57.7%	68.9%
祖父母	21	11.1%	17.0%
その他	5	2.6%	1.5%
分からない	1	0.5%	0.0%
無回答	3	1.6%	-
全体	189	100.0%	100.0%

第3章 質問と回答（単純集計結果）

問50 お子様はどこで食べていましたか？（それぞれ1つに○）

・朝食

	回答数	構成比	H19実施
居間・ダイニング	185	97.9%	97.6%
子供部屋	1	0.5%	1.0%
外食	0	0.0%	0.0%
その他	0	0.0%	0.5%
分からない	1	0.5%	0.0%
無回答	2	1.1%	1.0%
全体	189	100.0%	100.0%

・夕食

	回答数	構成比	H19実施
居間・ダイニング	181	95.8%	96.6%
子供部屋	0	0.0%	1.0%
外食	7	3.7%	1.5%
その他	1	0.5%	0.5%
分からない	0	0.0%	0.0%
無回答	0	0.0%	0.5%
全体	189	100.0%	100.0%

問51 どの程度時間をかけていましたか？（それぞれ1つに○）

・朝食

	回答数	構成比	H19実施
5分以下	6	3.2%	5.3%
10分程度	86	45.5%	43.3%
20分程度	72	38.1%	43.3%
30分以上	20	10.6%	6.7%
分からない	2	1.1%	0.0%
無回答	3	1.6%	1.4%
全体	189	100.0%	100.0%

・夕食

	回答数	構成比	H19実施
10分以下	2	1.1%	0.0%
15分程度	39	20.6%	18.4%
30分程度	107	56.6%	62.6%
45分以上	37	19.6%	17.0%
分からない	1	0.5%	0.0%
無回答	3	1.6%	1.9%
全体	189	100.0%	100.0%

問52 あなたのお子様の食は乱れているとお考えですか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
乱れてはいない	51	27.0%	22.1%
それほど乱れてはいない	89	47.1%	51.0%
どちらともいえない	21	11.1%	10.6%
やや乱れている	20	10.6%	14.4%
乱れている	7	3.7%	1.4%
無回答	1	0.5%	0.5%
全体	189	100.0%	100.0%

問53 「やや乱れている」「乱れている」と答えた方にお聞きます。

どのような点で食事の乱れを感じますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
食が細い	4	14.8%	18.2%
好き嫌いが激しい	15	55.6%	51.5%
間食が多い	3	11.1%	15.2%
家族と一緒に食事をとっていない	3	11.1%	0.0%
ゆっくり食事をとっていない	1	3.7%	3.0%
無回答	1	3.7%	12.1%
全体	27	100.0%	100.0%

問54 子供部屋はありますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
個人用の部屋がある	107	56.6%	41.8%
兄弟姉妹で共用させている	55	29.1%	40.9%
ない	27	14.3%	15.9%
無回答	-	-	1.4%
全体	189	100.0%	100.0%

問55 お子様(小学生以上で一番下)の心身の状態をお聞かせ下さい。(1つに○、括弧に数値記入)

・お子様の性別

	回答数	構成比	H19実施
男の子	101	53.4%	53.8%
女の子	88	46.6%	44.7%
無回答	-	-	1.4%
全体	189	100.0%	100.0%

	平均値	H19実施
・お子様の年齢(歳)	11.2	9.4
・お子様の身長(cm)	144.9	134.9
・お子様の体重(kg)	38.9	31.7

第3章. 質問と回答 (単純集計結果)

・体の状態

	回答数	構成比	H19実施
大変良好	102	54.0%	55.8%
まあ良好	77	40.7%	41.8%
どちらでもない	4	2.1%	0.5%
あまり良好ではない	4	2.1%	1.0%
良好ではない	0	0.0%	0.0%
無回答	2	1.1%	1.0%
全体	189	100.0%	100.0%

・心の状態

	回答数	構成比	H19実施
特に問題はない	158	83.6%	77.9%
落ち着きがない	11	5.8%	11.5%
キレやすい	4	2.1%	3.8%
内向的	13	6.9%	3.8%
無回答	3	1.6%	2.9%
全体	189	100.0%	100.0%

・虫歯になった時

	回答数	構成比	H19実施
すぐに治療する	168	88.9%	84.6%
なかなか治療できない	9	4.8%	6.7%
無回答	12	6.3%	8.7%
全体	189	100.0%	100.0%

・学校以外での歯科定期健診

	回答数	構成比	H19実施
年に数回	56	29.6%	23.1%
年に1回	32	16.9%	23.1%
虫歯以外では行かない	93	49.2%	48.6%
無回答	8	4.2%	5.3%
全体	189	100.0%	100.0%

問56 インスタントラーメンや炭酸飲料、菓子類の食べ過ぎを規制していますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
規制している	92	48.7%	52.9%
注意はするが規制はしていない	65	34.4%	37.0%
していない	30	15.9%	9.1%
無回答	2	1.1%	1.0%
全体	189	100.0%	100.0%

問57 テレビや漫画、ゲームについての規制をしていますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
時間など具体的に規制している	87	46.0%	56.3%
注意はするが規制はしていない	79	41.8%	38.9%
していない	21	11.1%	3.8%
無回答	2	1.1%	1.0%
全体	189	100.0%	100.0%

問58 お子様の就寝時刻と起床時刻をお聞きします。(数を記入)

※平均	(H19実施)
・就寝時刻 : 21時43分	21時25分
・起床時刻 : 6時33分	6時45分

問59 お子様の家事への参加状況を教えてください。(それぞれ1つに○)

・調理

	回答数	構成比	H19実施
よくしている (週に数回以上)	11	5.8%	7.7%
ときどき(週1回程度)	68	36.0%	43.8%
ほとんどしない	107	56.6%	48.1%
無回答	3	1.6%	0.5%
全体	189	100.0%	100.0%

・食事の準備・後片付け

	回答数	構成比	H19実施
よくしている	85	45.0%	47.6%
ときどき(週1回程度)	67	35.4%	29.3%
ほとんどしない	28	14.8%	20.2%
無回答	9	4.8%	2.9%
全体	189	100.0%	100.0%

問60 お子様と一緒に外食をされる頻度についてお聞かせ下さい。(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
週に数回	3	1.6%	1.4%
週に1回程度	48	25.4%	26.9%
月に1回程度	102	54.0%	51.0%
年に数回	35	18.5%	19.7%
無回答	1	0.5%	1.0%
全体	189	100.0%	100.0%

第3章. 質問と回答 (単純集計結果)

問61 ビタミン剤などのサプリメント類をお子様にとらせていますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
毎日とらせている	5	2.6%	1.9%
たまにとらせている	19	10.1%	14.9%
とらせていない	164	86.8%	82.7%
無回答	1	0.5%	0.5%
全体	189	100.0%	100.0%

問62 学校給食の食材についてのご意見をお聞かせ下さい。(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
地元の食材を使用してほしい	41	21.7%	12.0%
有機や特別栽培農産物(※)の食材を使用してほしい	19	10.1%	34.1%
米飯など和食中心にしてほしい	19	10.1%	6.3%
緑黄色野菜など栄養面で気をつけてほしい	74	39.2%	39.4%
その他	23	12.2%	4.3%
無回答	13	6.9%	3.8%
全体	189	100.0%	100.0%

問63 子供に対する食育は、全般的にどのくらい重要だと思いますか？(1つに○)

	回答数	構成比	H19実施
重要	100	52.9%	63.5%
まあ重要	79	41.8%	31.7%
どちらともいえない	7	3.7%	3.8%
それほど重要でない	2	1.1%	0.5%
重要でない	0	0.0%	0.0%
無回答	1	0.5%	0.5%
全体	189	100.0%	100.0%

問64 子供に対する以下の食育については、どのくらい重要だと思いますか？(それぞれ1つに○)

		重要	まあ重要	それほど重要でない	重要でない	無回答	全体
食生活の改善	回答数	107	72	8	0	2	189
	構成比	56.6%	38.1%	4.2%	0.0%	1.1%	100.0%
	H19実施	57.7%	37.0%	2.4%	0.0%	2.9%	100.0%
食事の作法	回答数	110	74	4	0	1	189
	構成比	58.2%	39.2%	2.1%	0.0%	0.5%	100.0%
	H19実施	65.9%	28.8%	2.9%	0.0%	2.4%	100.0%
農林漁業体験	回答数	40	106	40	2	1	189
	構成比	21.2%	56.1%	21.2%	1.1%	0.5%	100.0%
	H19実施	23.1%	61.1%	13.5%	0.5%	1.9%	100.0%
食文化や伝統の継承	回答数	36	129	23	0	1	189
	構成比	19.0%	68.3%	12.2%	0.0%	0.5%	100.0%
	H19実施	21.6%	63.0%	12.0%	1.0%	2.4%	100.0%
食を通じたコミュニケーション	回答数	76	94	18	0	1	189
	構成比	40.2%	49.7%	9.5%	0.0%	0.5%	100.0%
	H19実施	43.3%	47.6%	5.8%	0.0%	3.4%	100.0%
食べ物の無駄を減らす	回答数	123	64	1	0	1	189
	構成比	65.1%	33.9%	0.5%	0.0%	0.5%	100.0%
	H19実施	75.0%	21.6%	1.4%	0.0%	1.9%	100.0%
自然や生産者への感謝	回答数	141	46	1	0	1	189
	構成比	74.6%	24.3%	0.5%	0.0%	0.5%	100.0%
	H19実施	73.1%	23.6%	1.0%	0.0%	2.4%	100.0%

第3章 質問と回答（単純集計結果）

問65 仮に、あなたが長ネギを買いに行った時、以下のような長ネギが売られていたとします。

あなたは、どの長ネギを購入しますか？なお、値段は太めの長ネギ3本あたりの価格です。（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
地元産（250円）	187	19.7%	18.5%
特別栽培農産物（250円）（*）	78	8.2%	17.7%
国産標準栽培（200円）	514	54.2%	42.5%
輸入品（100円）	70	7.4%	5.4%
有機栽培（280円）	61	6.4%	12.0%
無回答	38	4.0%	4.0%
全体	948	100.0%	100.0%

問66 もし、上で選んだ長ネギが売り切れていたら、次はどの長ネギを選びますか？（1つに○）

	回答数	構成比	H19実施
地元産（250円）	396	41.8%	33.0%
特別栽培農産物（250円）（*）	210	22.2%	31.0%
国産標準栽培（200円）	208	21.9%	17.8%
輸入品（100円）	38	4.0%	3.4%
有機栽培（280円）	59	6.2%	10.5%
無回答	37	3.9%	4.3%
全体	948	100.0%	100.0%

問67 それぞれの長ネギの安全性についてどう思いますか？

以下の項目について、該当すると思われる数字に○を1つ付けて下さい。

		きわめて危険	かなり危険	危険	やや危険	どちらともいえない	やや安全	安全	かなり安全	きわめて安全	無回答	全体
地元産	回答数	1	1	7	7	228	211	324	76	38	55	948
	構成比	0.1%	0.1%	0.7%	0.7%	24.1%	22.3%	34.2%	8.0%	4.0%	5.8%	100.0%
	H19実施	0.1%	0.3%	0.8%	2.6%	34.4%	26.0%	21.8%	4.9%	2.1%	7.0%	100.0%
特別栽培農産物（*）	回答数	0	1	4	8	118	218	308	161	58	72	948
	構成比	0.0%	0.1%	0.4%	0.8%	12.4%	23.0%	32.5%	17.0%	6.1%	7.6%	100.0%
	H19実施	0.0%	0.0%	0.8%	2.3%	13.7%	34.9%	26.1%	12.4%	2.3%	7.5%	100.0%
国産標準品	回答数	1	3	9	23	264	279	246	39	10	74	948
	構成比	0.1%	0.3%	0.9%	2.4%	27.8%	29.4%	25.9%	4.1%	1.1%	7.8%	100.0%
	H19実施	0.1%	0.2%	1.7%	7.1%	38.4%	26.9%	15.8%	1.4%	0.5%	7.9%	100.0%
輸入品	回答数	132	69	196	243	202	17	13	2	2	72	948
	構成比	13.9%	7.3%	20.7%	25.6%	21.3%	1.8%	1.4%	0.2%	0.2%	7.6%	100.0%
	H19実施	16.6%	15.2%	23.6%	22.6%	12.4%	0.6%	0.5%	0.0%	0.5%	8.1%	100.0%
有機栽培	回答数	1	1	9	5	100	166	278	198	122	68	948
	構成比	0.1%	0.1%	0.9%	0.5%	10.5%	17.5%	29.3%	20.9%	12.9%	7.2%	100.0%
	H19実施	0.1%	0.2%	0.3%	1.5%	12.1%	19.3%	27.5%	21.9%	9.4%	7.8%	100.0%

（*）特別栽培農産物とは、その農産物が生産された地域の慣行レベルに比べて節減対象農薬が5割以下、化学肥料の窒素成分量が5割以下で栽培された農産物のことを言います。

付録. 調査票

「食育」に関する市民アンケート調査 ご協力をお願い

日頃より、市民の皆様には松戸市政にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

松戸市では平成20年3月に松戸市食育推進計画を策定し、「食の大切さと郷土のすばらしさを知り生涯を通じて健やかに生きる」ことができるよう食育を推進しております。本調査は、市民の皆様の食に関する意識や実態を調査し、計画の進行状況の把握及び食育推進施策の参考にさせていただくためのものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査へのご協力をよろしく願いいたします。

なお、この調査票は、平成22年7月末日現在の住民基本台帳をもとに20歳以上の方々から無作為に抽出させていただいた3,000名の市民の皆様にお送りさせていただきました。市の食育推進に利用するのみで、他の用途には使用いたしません。また、皆様のご回答は全て統計的に処理されますので、個人の情報を公表するなどプライバシーを侵害することはありません。

平成22年8月

松戸市長 本郷谷 健次

ご記入にあたっての注意

- この調査は、普段、**食材を購入したり、料理を作られている方**にお願いするものです。もし、宛名の方以外の方(配偶者など)が主に担当されていらっしゃる場合は、その方が記入して下さい。
- 後半のお子様についての質問には、複数のお子様がいいらっしゃる場合は、もっとも年齢の低いお子様(ただし、小学生以上18歳以下)についてご回答下さい。
- ご記入が済みましたら、お手数ですがこの調査票(直接記入して下さい)を同封の返信用封筒に入れて返送して下さい。切手は不要です。匿名式調査ですので差出人の記入も不要です。
- 同封の「松戸版食事バランスガイド」は毎日の食事の参考にご使用下さい(返送不要です)。
- 誠に勝手ながら、**平成22年9月10日(金)までにご投函**下さいますようお願いいたします。



松戸市食育シンボルキャラクター ばくちゃん

* 記入上のご不明な点、調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

松戸市健康福祉本部企画管理室

電話: 047-366-7350

FAX: 047-360-1295

平成17年6月、国会で「食育基本法」が成立しました。この法律では、食育は、生きる上での基本であって、教育の三本の柱である知育、徳育、体育の基礎となるべきものと位置付けられるとともに、様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を修得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるものとして食育の推進が求められるとされています。そして、このような食育の推進に当たっては、健全な食生活の実践としての単なる食生活の改善にとどまらず、食に関する感謝の念と理解を深めることや、伝統のある優れた食文化の継承、地域の特性を生かした食生活に配慮すること等が求められています。

問1 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていましたか？(1つに○)

1. 言葉も意味も知っていた
2. 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
3. 言葉も意味も知らなかった

問2 あなたは「食育」に関心がありますか？(1つに○)

1. ある
2. どちらかといえばある
3. どちらかといえばない
4. ない
5. 分からない

→問3 「1.ある」、「2.どちらかといえばある」と答えた方にお聞きます。
食育に関心がある理由は何ですか？(3つまで○)

1. 心身の健全な発育
2. 食生活の乱れ
3. 肥満・痩せの増加
4. 生活習慣病
5. 食の安全確保
6. 食文化や地域の伝統
7. 食料自給率低下
8. 生産者との交流
9. 自然と調和した食料生産
10. 食べ物の無駄
11. 食や自然に対する感謝
12. その他()

問4 食育に関するボランティアに参加したことがありますか？(1つに○)

1. ある
2. ないが、機会があれば参加してみたい
3. 興味がない

→問5 「2.ないが、機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きます。
どのような活動に参加してみたいですか？(3つまで○)

1. 郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動
2. 農林漁業などに関する体験活動
3. 食生活の改善に関する活動
4. 生活習慣病予防などのための料理教室
5. 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動
6. 食品の安全や表示に関する活動
7. 食育に関する国際交流活動
8. その他()
9. 分からない

問6 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか？(1つに○)

1. 毎日とっている
2. 平日のみ
3. 週に2～3日
4. ほとんどとらない

問7 食事バランスガイド(松戸版を同封しています)を参考に食生活を送っていますか？(1つに○)

1. 参考にしている
2. まあまあ参考にしている
3. 知っているが参考にはしていない
4. 知らなかった

伝統的な行事と行事食の一般的な例示として、次のようなものがあります。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ・正月(1月:おせち、お雑煮、七草粥など) | ・節分(2月:まめなど) |
| ・桃の節句(3月:ひな菓子、五目すしなど) | ・春分の日(3月:ぼた餅など) |
| ・端午の節句(5月:ちまき、かしわ餅など) | ・七夕(7月:素麺など) |
| ・土用(7月:うなぎ、もちなど) | ・お盆(8月:団子など) |
| ・十五夜(9月:月見団子など) | ・秋分の日(9月:おはぎなど) |
| ・七五三(11月:千歳飴など) | ・冬至(12月:かぼちゃ料理など) |
| ・大晦日(12月:そばなど) | |

問8 ご自宅で行事食を伴う伝統的な行事を年間にどの程度行なっていますか？(1つに○)

1. 全く行わない 2. 1～2回 3. 3～4回 4. 5～6回 5. 7回以上

問9 冷凍食品の利用状況についてお聞かせ下さい。(1つに○)

1. 普段の食事に積極的に利用している 2. 時々利用している
3. お弁当などにのみ利用している 4. あまり利用しない 5. ほとんど利用しない

問10 食品を購入するときに、もっとも気をつけていることは何ですか。(1つに○)

1. 栄養面 2. 安全性 3. 味や好み 4. 食費 5. 料理の手間

問11 野菜や肉などの生鮮食品の購入時に産地はチェックしていますか？(1つに○)

1. 常にしている 2. ときどきしている 3. していない

問12 地元産の食材を購入していますか？(1つに○)

1. 積極的に購入するようにしている 2. 目に付けば購入するようにしている
3. 少しでも高ければ購入しない 4. 地元かどうか気にしていない

問13 あなたは食品の安全性に関する基礎的な知識を持っていますか？(1つに○)

1. 持っている 2. まあ持っている 3. どちらともいえない
4. あまり持っていない 5. 持っていない

問14 普段、生鮮食品は主にどこで購入していますか？(1つに○)

1. スーパー 2. 生協(店舗・共同購入) 3. 各種通販・宅配 4. デパート
5. 八百屋や精肉店 6. コンビニエンスストア 7. その他()

問15 子供達への食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要だと思いますか？(1つに○)

1. 学校の方 2. やや学校の方 3. 同じくらい 4. やや家庭の方 5. 家庭の方

内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)とは、「内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常をおこしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態」のことです。

問16 あなたは、メタボリックシンドロームという言葉やその意味を知っていましたか？(1つに○)

1. 言葉も意味も良く知っていた
2. 言葉も知っていたし、意味も大体知っていた
3. 言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった
4. 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
5. 言葉も意味も知らなかった

問17 あなたご自身はメタボリックシンドロームに該当すると思いますか？(1つに○)

1. 該当する
2. 予備群である
3. 該当しない
4. 分からない

問18 あなたは散歩や水泳など、定期的に運動をしていますか？(1つに○)

1. 毎日している
2. 週に数回している
3. 週に1回程度
4. あまりしていない

問19 あなたの歯の数は現在何本ですか？なお、成人の歯は、親知らずが4本はえて全部で32本です。なお、かぶせた歯(金歯、銀歯など)、さし歯、根だけ残っている歯は含みますが、入れ歯などの歯根がない部分は除きます。(括弧内に本数を数字でご記入下さい)

()本

問20 あなたは入れ歯を使用していますか？(1つに○)

1. はい
2. いいえ

問21 あなたの現在のお口の全体的な健康状態はどうか？(1つに○)

1. よい
2. まあよい
3. あまりよくない
4. よくない

問22 前回、いつ歯科治療を受けましたか？(数を記入)

およそ()年()ヶ月前

問23 この1年間に歯の健康診査を受けましたか？(1つに○)

1. 受けない
2. 受けた

▶ 問24 「2. 受けた」と答えた方にお聞きます。どのような理由で受診しましたか？(1つに○)

1. 定期的に受けているから
2. 歯科治療のついでに
3. 職場や保健センターなどで受ける機会があったから
4. その他()

問25 あなたのお口の健康状態について以下の質問に回答ください。(それぞれ1つに○)

- | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|
| ・歯ぐきが腫れることがありますか？ | 1. はい | 2. いいえ | |
| ・歯が痛んだり、しみたりすることがありますか？ | 1. はい | 2. いいえ | |
| ・かかりつけの歯医者さんはいますか？ | 1. はい | 2. いいえ | |
| ・歯の治療は早めに受けるようにしていますか？ | 1. はい | 2. いいえ | |
| ・歯ぐきから血が出ることがありますか？ | 1. はい | 2. いいえ | |
| ・口臭が強い(ある)という自覚はありますか？ | 1. はい | 2. いいえ | |
| ・たばこを吸いますか？ | 1. はい | 2. いいえ | |
| ・代用甘味料使用の食品を好んで飲食しますか？ | 1. はい | 2. いいえ | |
| ・知人や友人とよく食事をしますか？ | 1. はい | 2. いいえ | |
| ・歯磨きを1日何回しますか？ | 1. 1回 | 2. 2回 | 3. 3回以上 |
| ・間食は1日何回とりますか？ | 1. 0～1回 | 2. 2～3回 | 3. 4回以上 |

問26 食事がおいしいと感じていますか？(1つに○)

1. とてもおいしい 2. おいしい 3. あまりおいしくない 4. おいしくない

問27 以下の食品について噛(か)みにくいのはどれですか？(該当するもの全てに○)

- | | | | |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. スープ | 2. おかゆ | 3. とうふ | 4. プリン |
| 5. ごはん | 6. 煮魚 | 7. はんぺん | 8. うなぎかばやき |
| 9. まぐろのさしみ | 10. おこわ | 11. ちくわ | 12. 固いビスケット |
| 13. かまぼこ | 14. こんにやく | 15. ハム | 16. いかのさしみ |
| 17. フランスパン | 18. ビーフステーキ | 19. とり貝 | 20. おこし |
| 21. なまこ | 22. するめ | 23. いか | 24. らっきょう |
| 25. 貝柱の干物 | 26. 酢だこ | 27. くらげの酢の物 | 28. ピーナッツ |
| 29. 雑煮もち | 30. 生あわび | 31. たくわん | 32. 堅焼きせんべい |
| 33. チューイングガム | 34. りんご丸かじり | 35. みかんの袋 | |

問28 以前に比べて、(1人当たりの)家庭ごみを出す量は変わりましたか？(1つに○)

1. 増えている 2. 少し増えている 3. 変わらない 4. 少し減っている 5. 減っている

問29 普段、「燃やせるごみ」は1週間に何袋ぐらい出していますか？(1つに○)

1. 0袋 2. 1～2袋 3. 3～4袋 4. 5～6袋 5. 7～8袋 6. 9袋以上

問30 買い物袋は持参しますか？(1つに○)

1. 常に持参する 2. たまに持参する 3. あまり持参しない 4. 持参しない

問31 あなたは生ごみ処理容器(コンポスト)等を使用していますか？(1つに○)

1. 使用している 2. 持っているが使っていない 3. ほしいと思っている 4. 持っていない

▶ 問32 持っている方にお聞きます。購入の際に市の補助金制度を利用しましたか？(1つに○)

1. 利用した 2. 知っていたが利用していない 3. 知らなかった

問33 あなたと配偶者の家を出る時間と帰宅時刻を教えてください。(それぞれ時刻を記入)

- ・あなた(働いている場合)の家を出る時刻 : (午前・午後) 時ごろ
帰宅時刻 : (午前・午後) 時ごろ
- ・配偶者(いらっしゃる場合)の家を出る時刻 : (午前・午後) 時ごろ
帰宅時刻 : (午前・午後) 時ごろ

問34 あなたは地域の活動に参加していますか?(1つに○)

- 1. 積極的に参加 2. まあ積極的 3. やや消極的 4. 参加していない

問35 旅行やキャンプなどで、家族や友人と農山漁村へ行くことはありますか?(1つに○)

- 1. ほぼ毎週 2. 月に数回 3. 月に1回程度 4. 年に数回 5. あまり行かない

問36 あなたは趣味として、野菜や果物の栽培などの農作業をすることはありますか?(1つに○)

- 1. ない 2. ある

問37 農作業の場所はどのようなところですか?(該当場所全てに○)

- 1. 自宅の庭 2. ベランダや屋内 3. 自家所有の畑
- 4. 市民農園や知合いの畑 5. その他()

問38 だれと一緒に作業していますか?(該当者全てに○)

- 1. 配偶者 2. 子供 3. 孫 4. 友人・知人 5. 自分ひとり
- 6. 親 7. 祖父母 8. その他()

問39 食育に関して市に期待する施策は何ですか?(3つまで○)

- 1. 食と健康に関する市民講座や教室を開催する
- 2. 学校給食で地元農産物の利用を促進する
- 3. 直売所など地元産農産物を購入できる場所を整備する
- 4. 市民参加型の体験農園などを増やす
- 5. 学校などでの作物栽培・料理の機会を増やす
- 6. 食品廃棄の削減や食品リサイクルに関する活動に取り組む
- 7. 郷土料理、伝統料理などの優れた食文化の継承に取り組む
- 8. とくにない
- 9. その他(具体的に)

ここでは、小学生から18歳以下のお子様のいらっしゃる方にお聞きします。該当しない方は、問65へお進み下さい。

問48 お子様の食事についておうかがいします。お子様が複数いらっしゃる場合は、一番下のお子様についてお答え下さい(ただし、小学生以上)。本日が週末の場合は、平日の金曜日の朝夕食の内容をお願いします。

- ・今日の朝食(1つに○): 1. とった 2. とっていない 3. 分からない
 ↳ 内容(飲みものを含む): () () () () ()
- ・昨日の夕食(1つに○): 1. とった 2. とっていない 3. 分からない
 ↳ 内容(飲みものを含む): () () () () ()
 () () () () ()

問49 そのお子様は誰と一緒に食べていましたか？(それぞれ該当する者全てに○)

- ・朝食 : 1. ひとりで 2. 父 3. 母 4. 兄妹 5. 祖父母 6. その他 7. 分からない
 ・夕食 : 1. ひとりで 2. 父 3. 母 4. 兄妹 5. 祖父母 6. その他 7. 分からない

問50 そのお子様はどこで食べていましたか？(それぞれ1つに○)

- ・朝食 : 1. 居間・ダイニング 2. 子供部屋 3. 外食 4. その他 5. 分からない
 ・夕食 : 1. 居間・ダイニング 2. 子供部屋 3. 外食 4. その他 5. 分からない

問51 どの程度時間をかけていましたか？(それぞれ1つに○)

- ・朝食 : 1. 5分以下 2. 10分程度 3. 20分程度 4. 30分以上 5. 分からない
 ・夕食 : 1. 10分以下 2. 15分程度 3. 30分程度 4. 45分以上 5. 分からない

問52 あなたのお子様の食は乱れているとお考えですか？(1つに○)

1. 乱れてはいない 2. それほど乱れてはいない 3. どちらともいえない
 4. やや乱れている 5. 乱れている

↳ 問53 「4. やや乱れている」「5. 乱れている」と答えた方にお聞きします。どのような点で食事の乱れを感じますか？(1つに○)

1. 食が細い 2. 好き嫌いが激しい 3. 間食が多い
 4. 家族と一緒に食事をとっていない 5. ゆっくり食事をとっていない

問54 子供部屋はありますか？(1つに○)

1. 個人用の部屋がある 2. 兄弟姉妹で共用させている 3. ない

問55 お子様(小学生以上で一番下)の心身の状態をお聞かせ下さい。(1つに○、括弧に数値記入)

- ・お子様の**性別**: 1. 男の子 2. 女の子
- ・お子様の**年齢**: ()歳
- ・お子様の**身長**: ()cm **体重**: ()kg
- ・**体**の状態: 1. 大変良好 2. まあ良好 3. どちらでもない
 4. あまり良好ではない 5. 良好ではない
- ・**心**の状態: 1. 特に問題はない 2. 落ち着きがない 3. キレやすい 4. 内向的
- ・**虫歯**になった時: 1. すぐに治療する 2. なかなか治療できない
- ・学校以外での**歯科定期検診**: 1. 年に数回 2. 年に1回 3. 虫歯以外では行かない

問56 インスタントラーメンや炭酸飲料、菓子類の食べ過ぎを規制していますか？(1つに○)

- 1. 規制している 2. 注意はするが規制はしていない 3. していない

問57 テレビや漫画、ゲームについての規制をしていますか？(1つに○)

- 1. 時間など具体的に規制している 2. 注意はするが規制はしていない 3. していない

問58 お子様の就寝時刻と起床時刻をお聞きます。(数を記入)

- ・就寝時刻:()時ごろ ・起床時刻:()時ごろ

問59 お子様の家事への参加状況をお教え下さい。(それぞれ1つに○)

- ・調 理 : 1. よくしている(週に数回以上) 2. ときどき(週1回程度) 3. ほとんどしない
- ・食事の準備・後片付け: 1. よくしている 2. ときどき(週1回程度) 3. ほとんどしない

問60 お子様と一緒に外食をされる頻度についてお聞かせ下さい。(1つに○)

- 1. 週に数回 2. 週に1回程度 3. 月に1回程度 4. 年に数回

問61 ビタミン剤などのサプリメント類をお子様にとらせていますか？(1つに○)

- 1. 毎日とらせている 2. たまにとらせている 3. とらせていない

問62 学校給食の食材についてのご意見をお聞かせ下さい。(1つに○)

- 1. 地元の食材を使用してほしい 2. 有機や特別栽培農産物(※)の食材を使用してほしい
- 3. 米飯など和食中心にしてほしい 4. 緑黄色野菜など栄養面で気をつけてほしい
- 5. その他(具体的に_____)

※特別栽培農産物とは、その農産物が生産された地域の慣行レベルに比べて節減対象農薬が5割以下、化学肥料の窒素分量が5割以下で栽培された農産物のことを言います。

問63 子供に対する食育は、全般的にどのくらい重要だと思いますか？(1つに○)

- 1. 重要 2. まあ重要 3. どちらともいえない 4.それほど重要でない 5. 重要でない

問64 子供に対する以下の食育については、どのくらい重要だと思いますか？(それぞれ1つに○)

- ・食生活の改善: 1. 重要 2. まあ重要 3.それほど重要でない 4. 重要でない
- ・食事の作法: 1. 重要 2. まあ重要 3.それほど重要でない 4. 重要でない
- ・農林漁業体験: 1. 重要 2. まあ重要 3.それほど重要でない 4. 重要でない
- ・食文化や伝統の継承: 1. 重要 2. まあ重要 3.それほど重要でない 4. 重要でない
- ・食を通じたコミュニケーション: 1. 重要 2. まあ重要 3.それほど重要でない 4. 重要でない
- ・食べ物の無駄を減らす: 1. 重要 2. まあ重要 3.それほど重要でない 4. 重要でない
- ・自然や生産者への感謝: 1. 重要 2. まあ重要 3.それほど重要でない 4. 重要でない

最後に、市民の農産物の購買行動を把握するため、仮想的な状況での質問をさせていただきます。

問65 仮に、あなたが長ネギを買いに行った時、以下のような長ネギが売られていたとします。あなたは、どの長ネギを購入しますか？なお、値段は太めの長ネギ3本あたりの価格です。(1つに○)

- 1. 地元産 (250円)
- 2. 特別栽培農産物(※) (250円)
- 3. 国産標準栽培 (200円)
- 4. 輸入品 (100円)
- 5. 有機栽培 (280円)

問66 もし、上で選んだ長ネギが売り切れていたら、次はどの長ネギを選びますか？(1つに○)

- 1. 地元産 (250円)
- 2. 特別栽培農産物(※) (250円)
- 3. 国産標準栽培 (200円)
- 4. 輸入品 (100円)
- 5. 有機栽培 (280円)

※特別栽培農産物とは、その農産物が生産された地域の慣行レベルに比べて節減対象農薬が5割以下、化学肥料の窒素成分量が5割以下で栽培された農産物のことを言います。

問67 それぞれの長ネギの安全性についてどう思いますか？以下の項目について、該当すると思われる数字に○を1つ付けて下さい。

	きわめて危険	かなり危険	危険	やや危険	どちらともいえない	やや安全	安全	かなり安全	きわめて安全
1.地元産	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2.特別栽培農産物	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3.国産標準品	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4.輸入品	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5.有機栽培	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問68 食育についてご意見やご要望がございましたら、ご自由にご記入下さい。

以上で質問は終了です。ありがとうございました。

同封の返信用封筒で 9月10日まで にご投函下さい。切手は不要です。

発行 松戸市

健康福祉本部 企画管理室
松戸市根本387番地の5
電話：047-366-1111（代表）